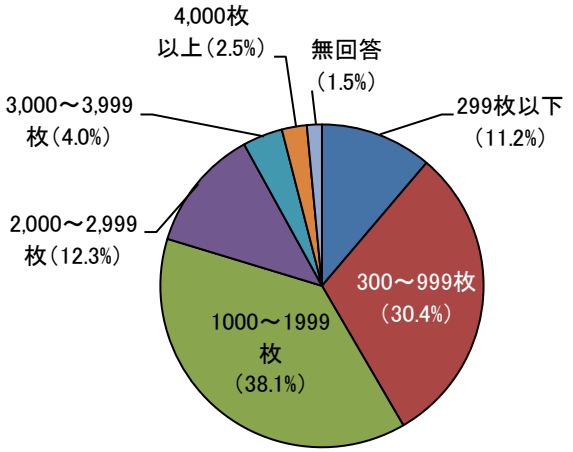
保　険　薬　局　調　査　結　果

回答施設概要

回答施設情報

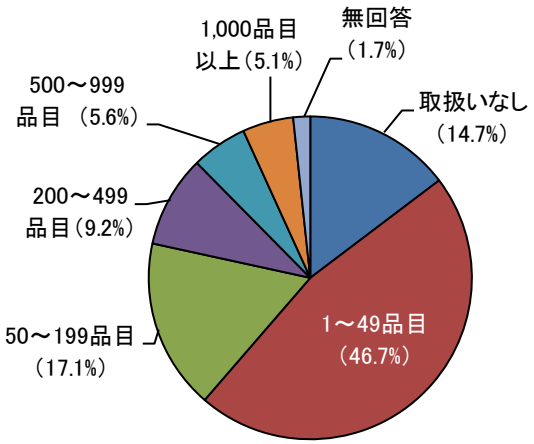
【処方箋応需枚数】



n=17,276

【ＯＴＣの取扱い状況】

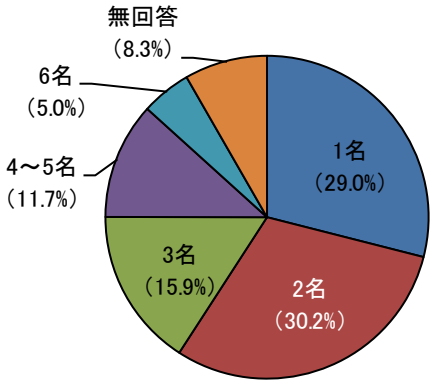
※OTCの取扱品目については、
包装単位が異なるものは別品目と定義した。



n=17,276

【薬剤師数（常勤換算数）】

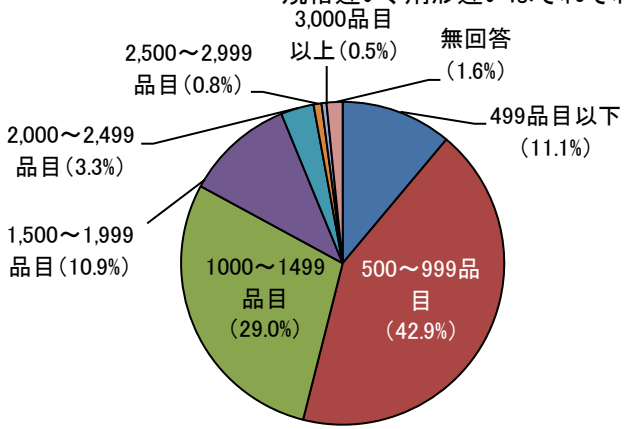
※薬剤師数（常勤換算）は小数点以下は繰り下げ



n=17,276

【常時在庫している医療用医薬品数】

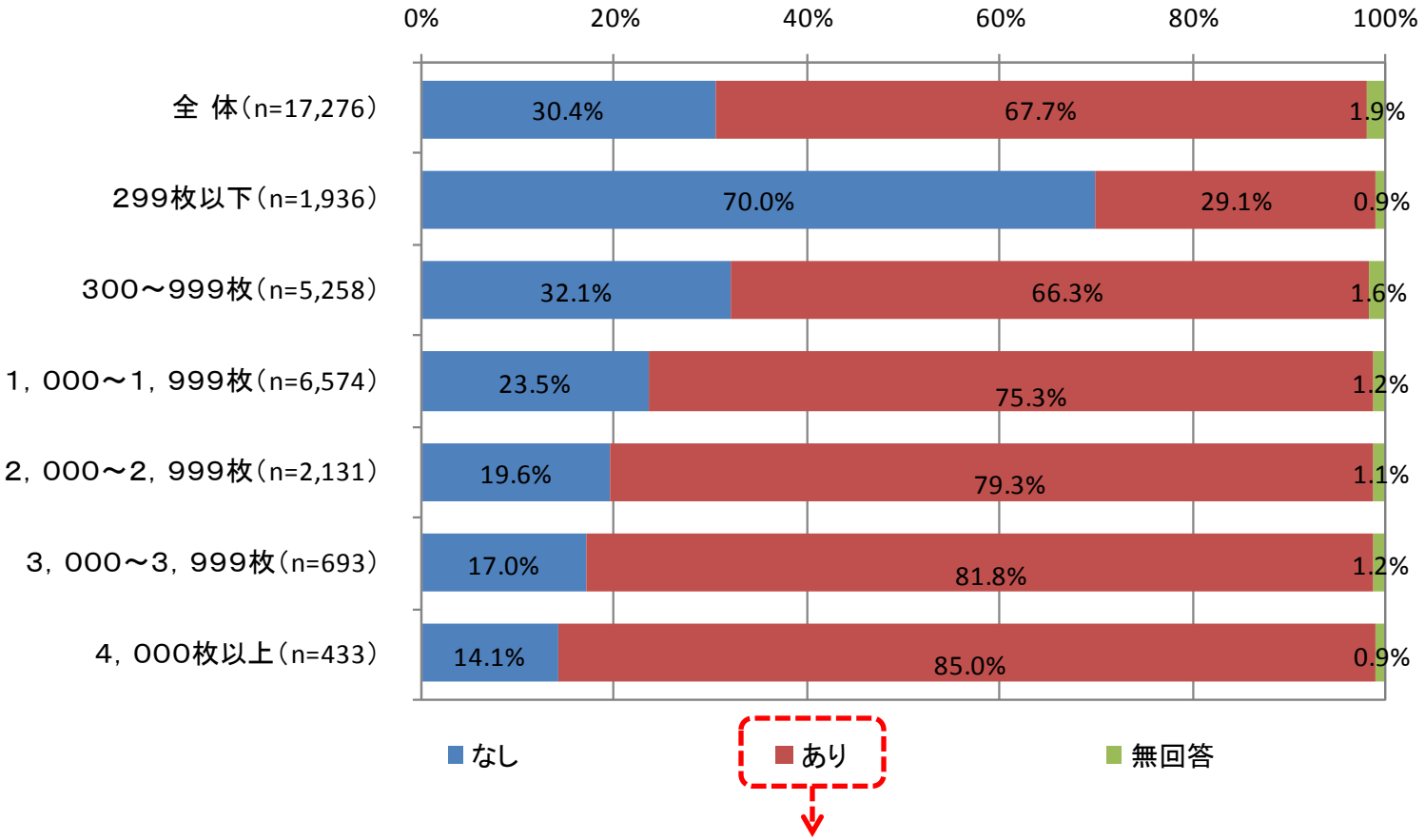
※常時在庫している医療用医薬品数については、
規格違い、剤形違いはそれぞれ1つと定義した。



n=17,276

経営形態　同一開設者による薬局の有無

処方箋応需枚数/月 別

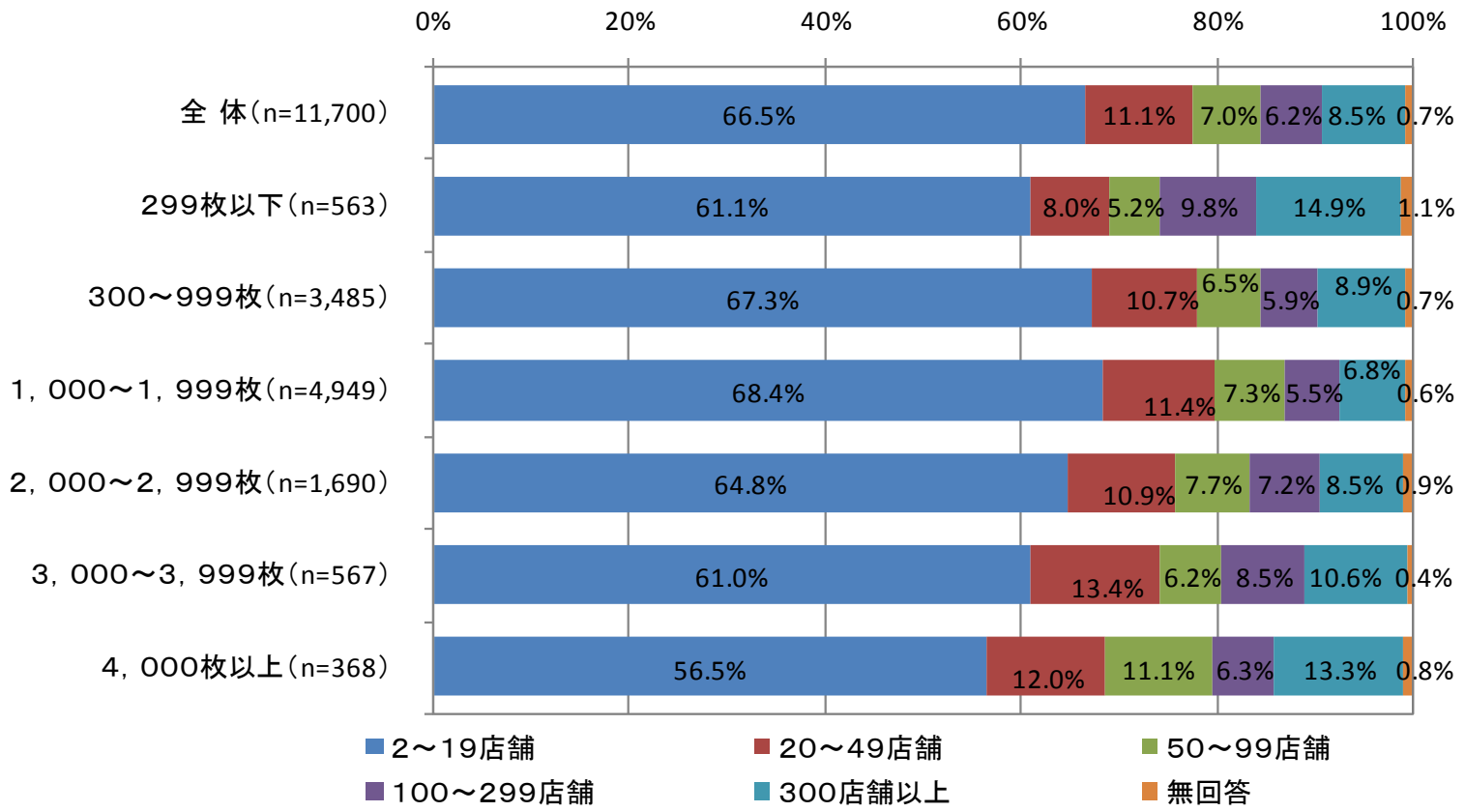


経営形態　同一開設者による薬局の店舗数

経営形態　同一開設者による薬局の店舗数

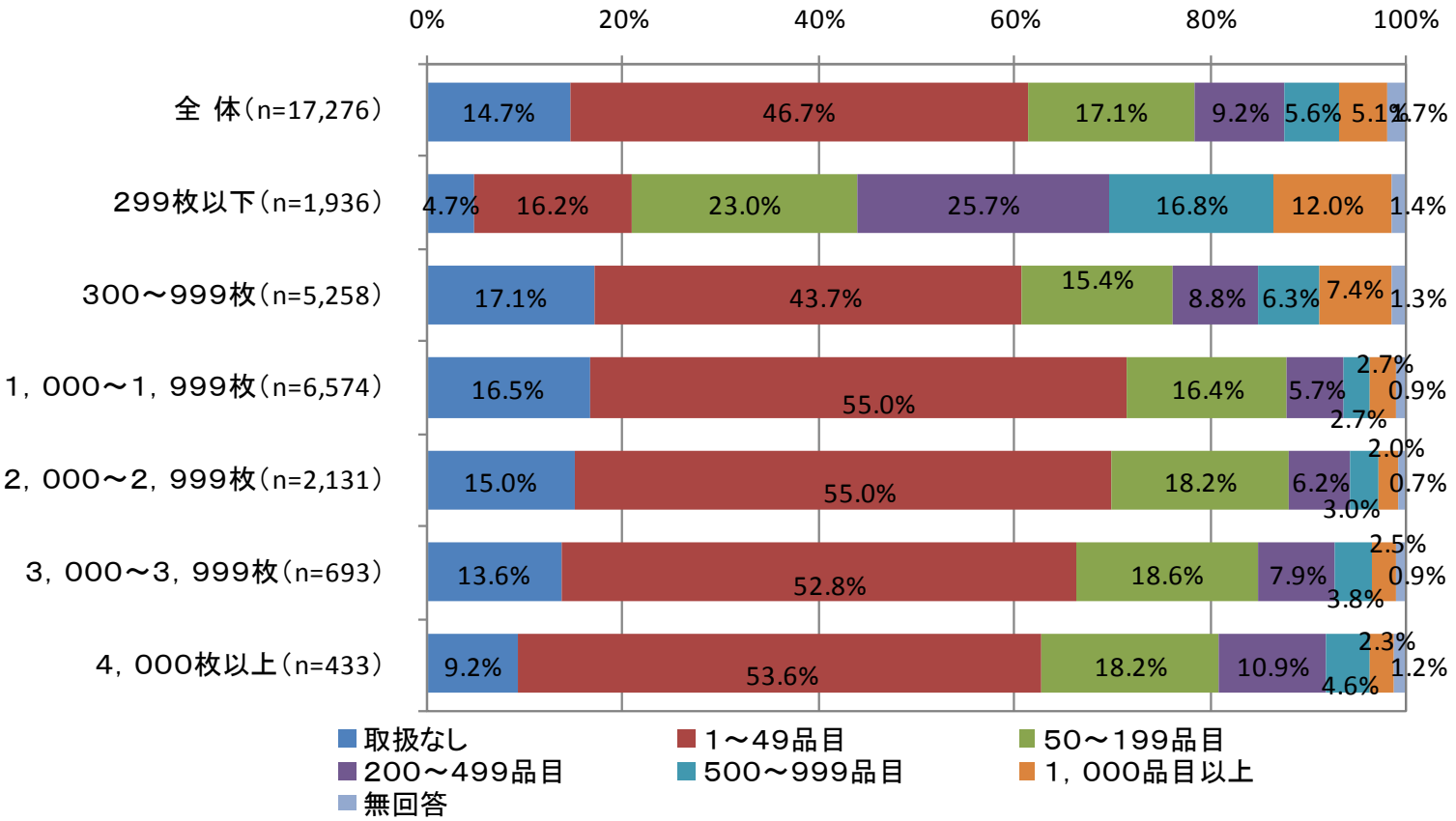
処方箋応需枚数/月 別

集計対象：自薬局を含み、OTCのみの店舗販売業は除く



ＯＴＣの取扱い状況

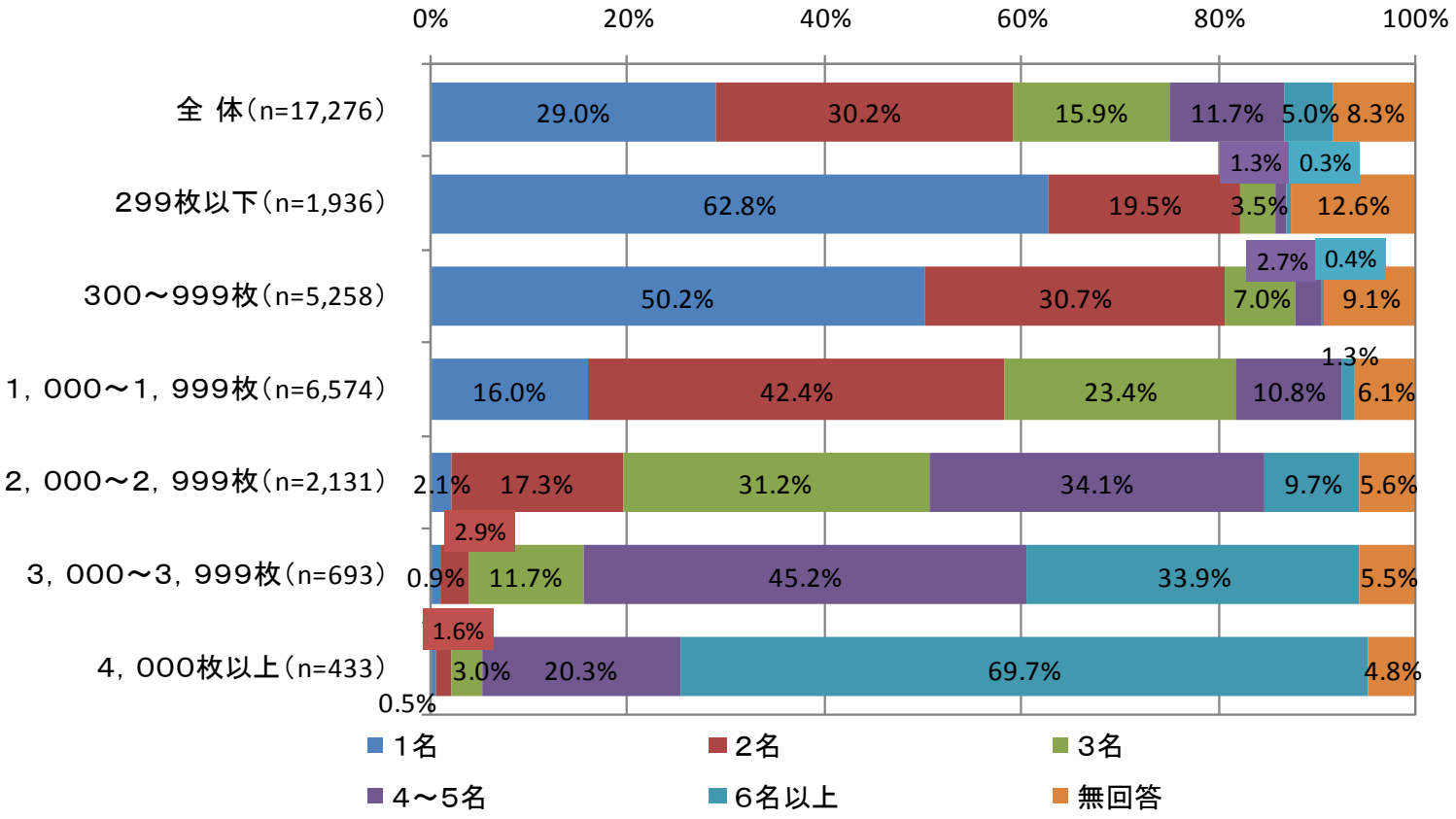
処方箋応需
枚数/月 別



※包囲単位が異なるものは別品目として計上

薬剤師数（常勤換算：常勤薬剤師＋非常勤薬剤師［常勤換算］）

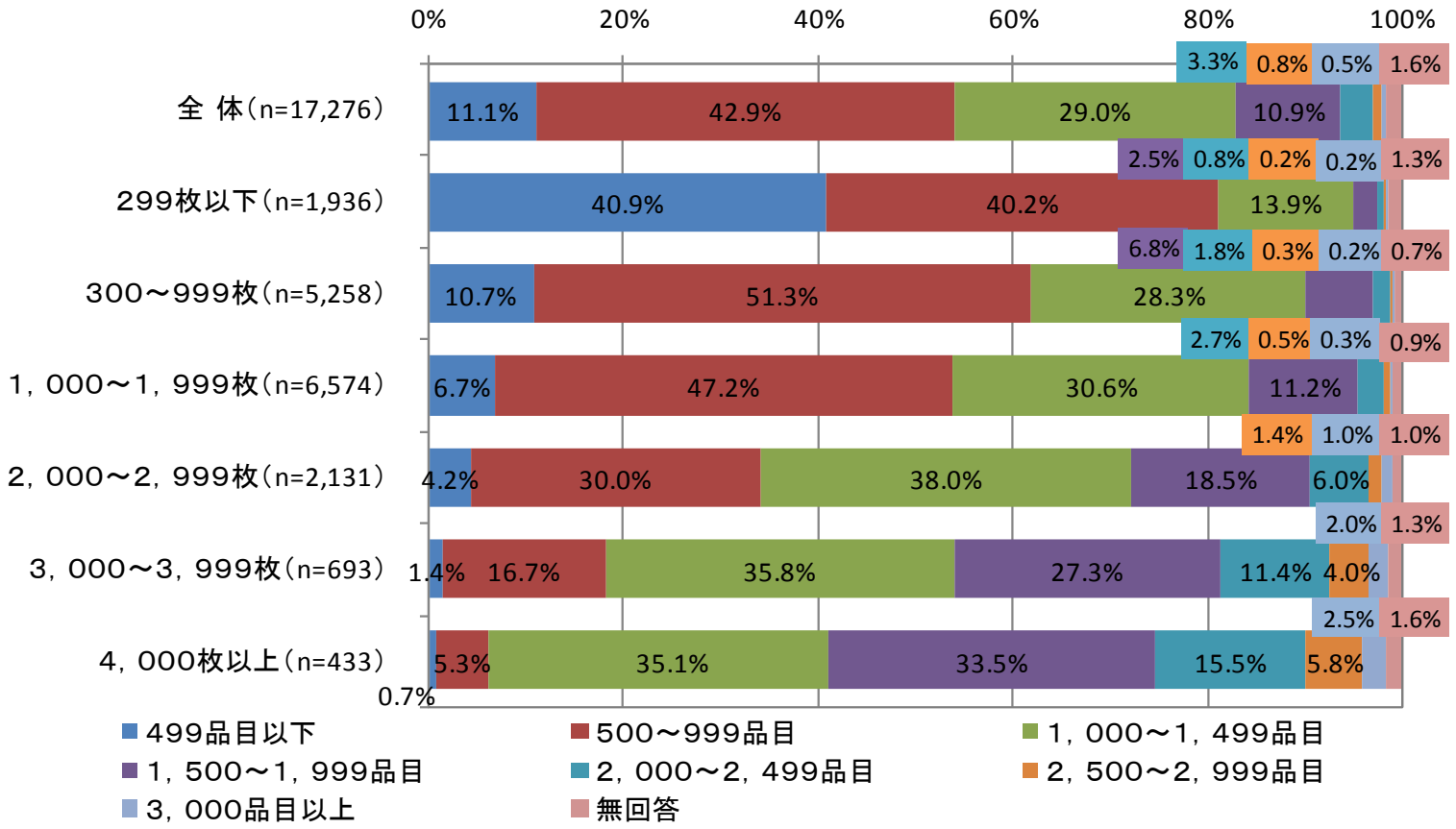
処方箋応需枚数/月 別



※薬剤師数（常勤換算）は小数点以下繰り下げ

常時在庫している医療用医薬品数

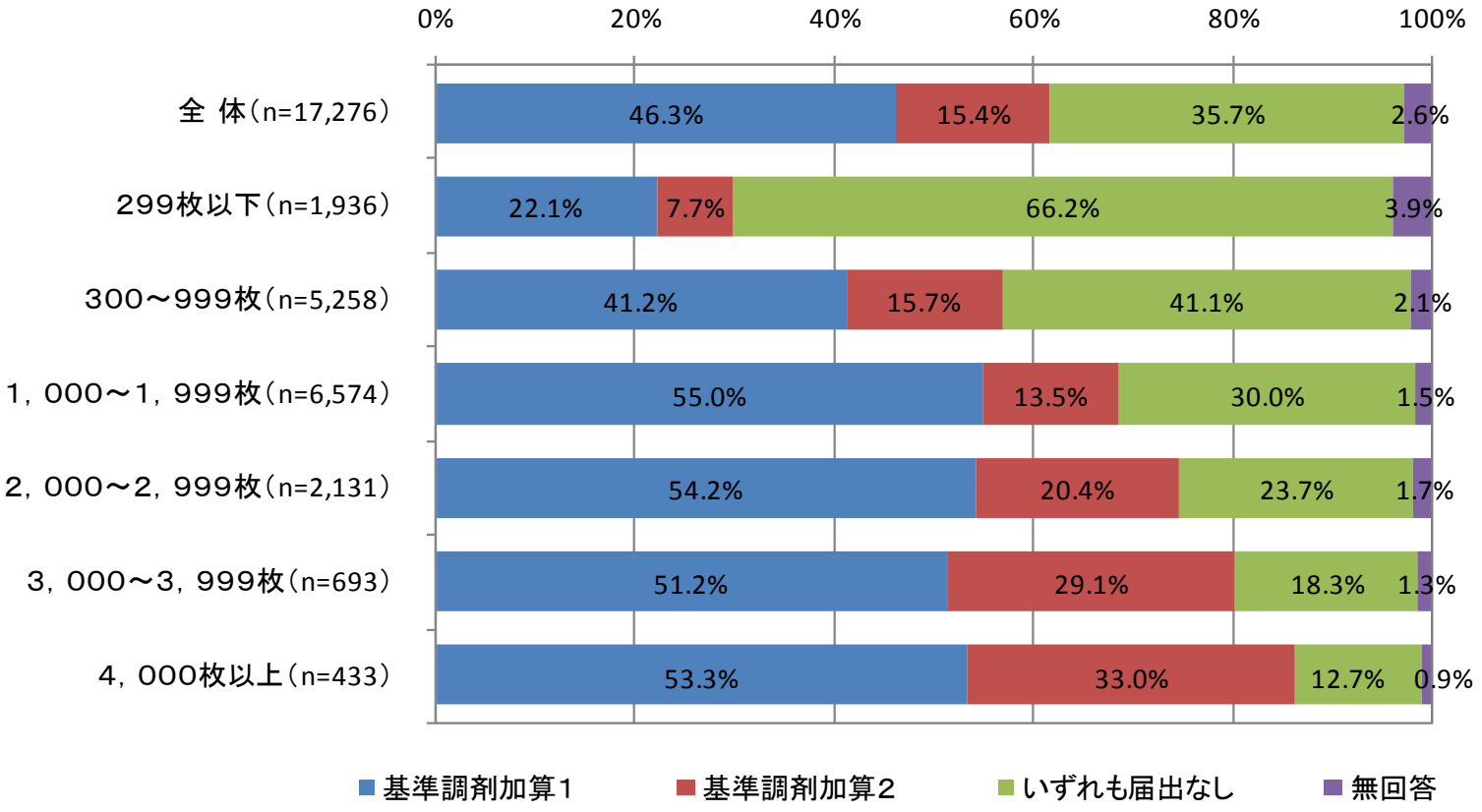
処方箋応需
枚数/月 別



※規格、剤形が異なるものはそれぞれ1つとして計上

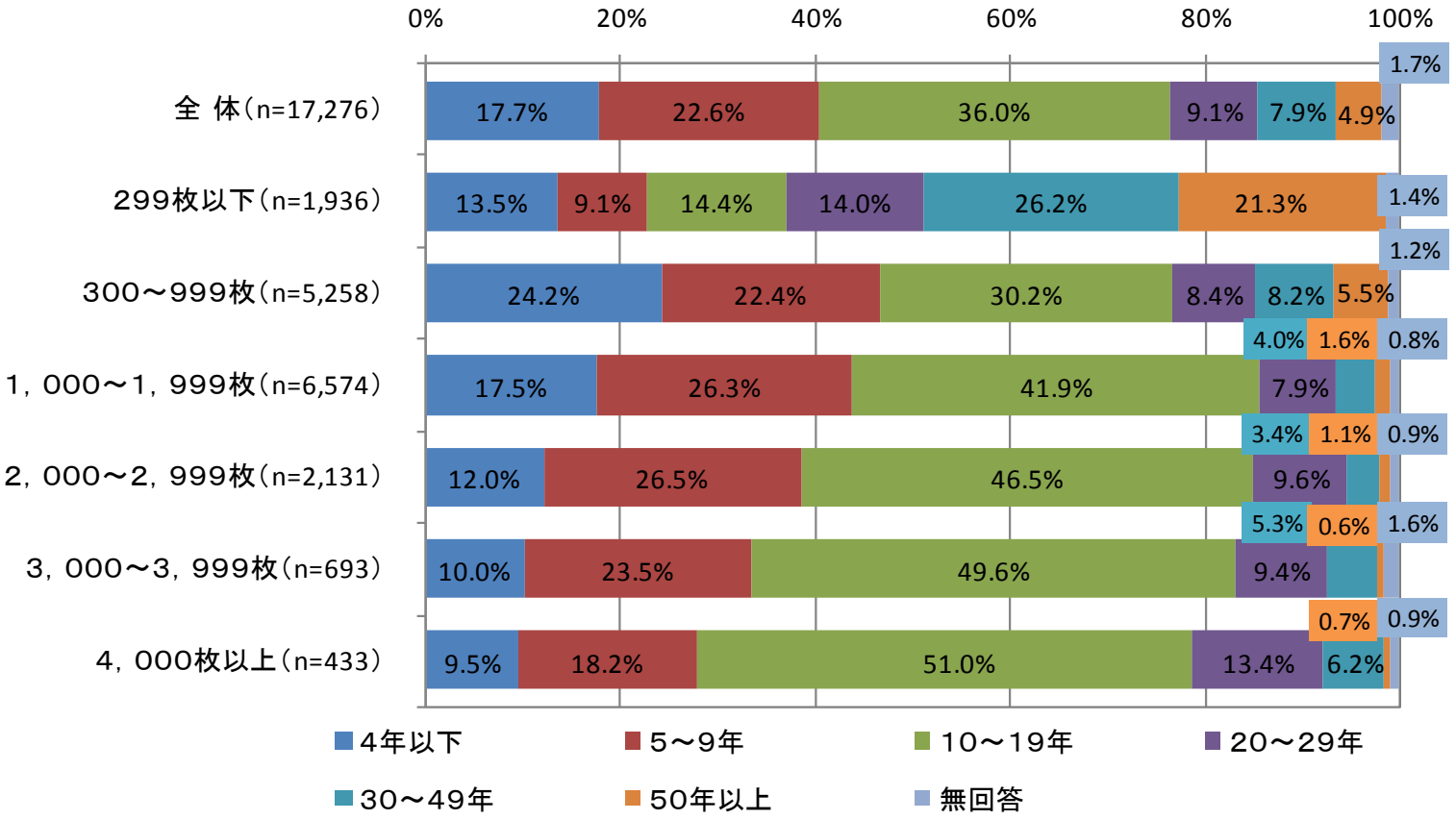
調剤報酬届出状況

処方箋応需枚数/月 別



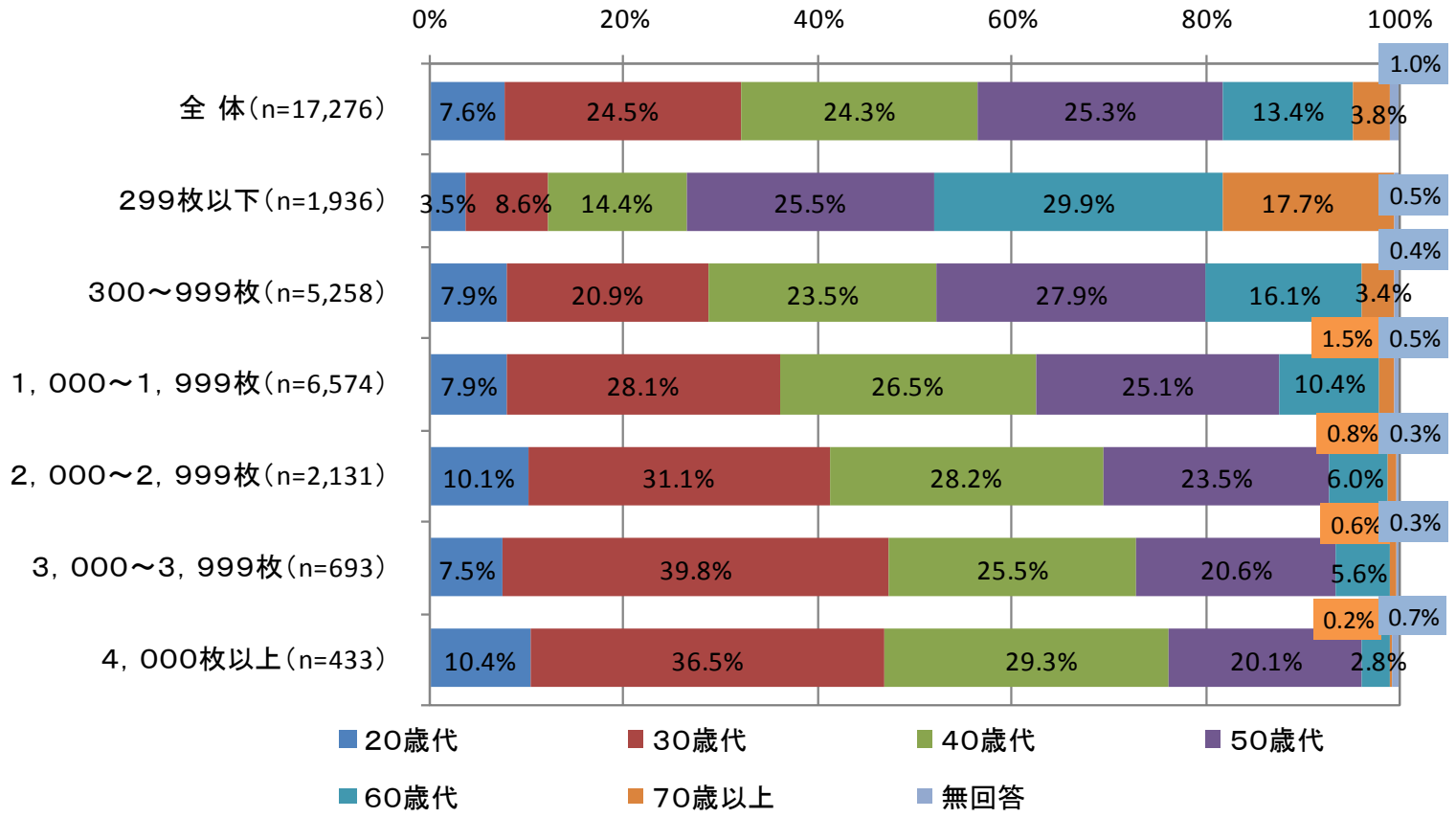
薬局開設からの経過年数

処方箋応需枚数/月 別



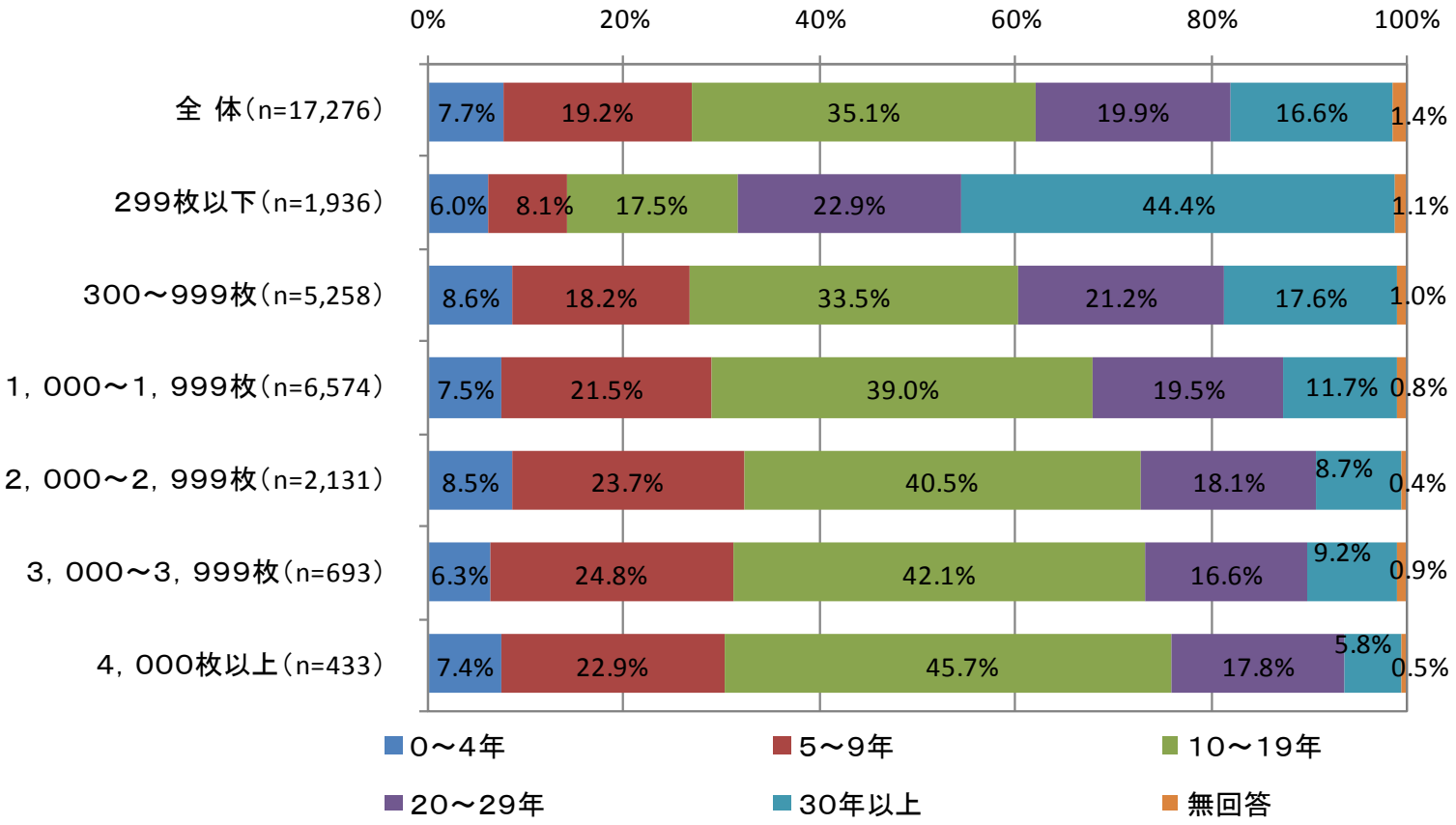
医薬品安全管理責任者の年齢

処方箋応需枚数/月 別



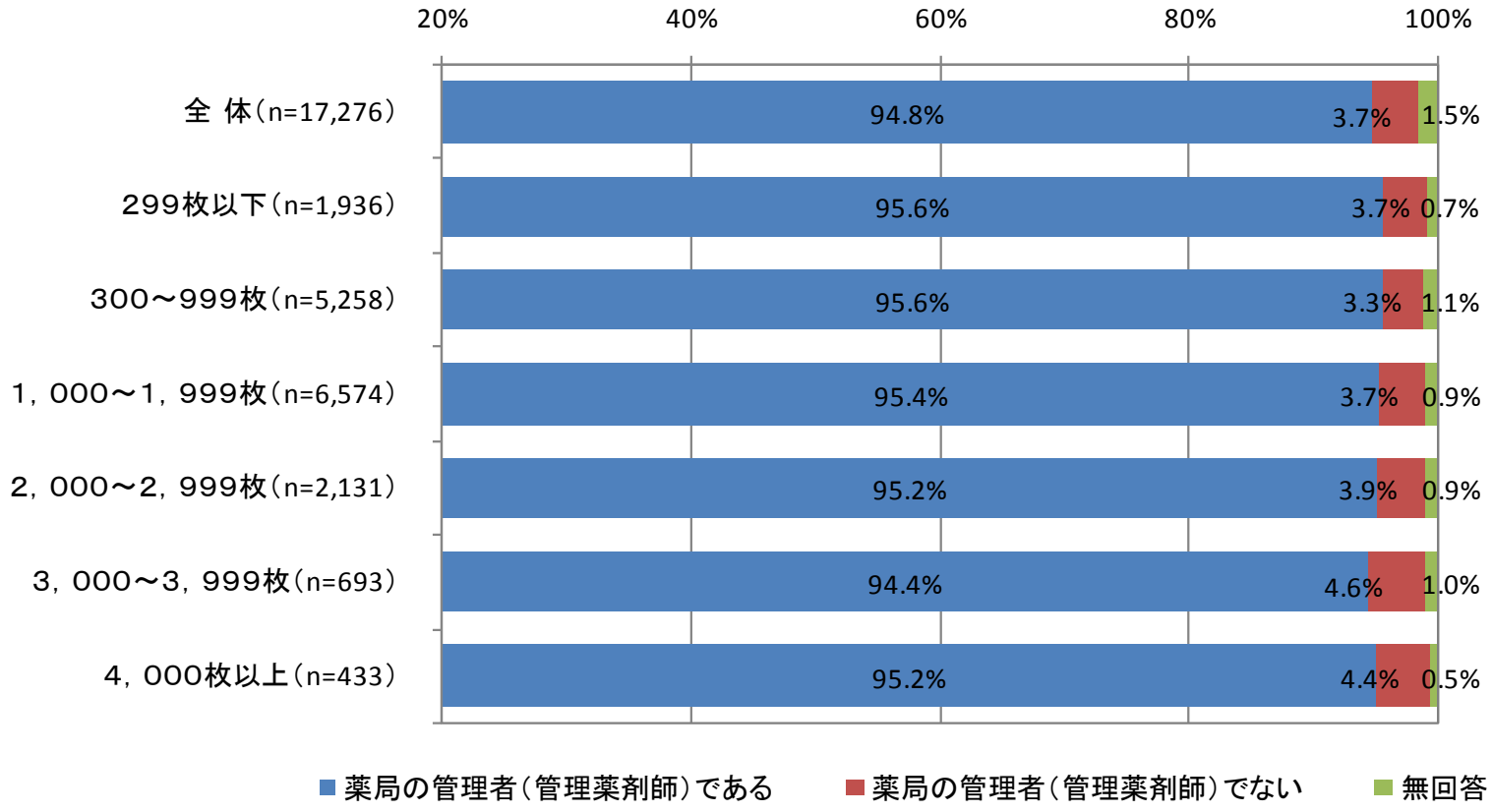
医薬品安全管理責任者の薬局または医療機関での薬剤師としての業務経験年数

処方箋応需枚数/月 別



医薬品安全管理責任者は薬局の管理者（管理薬剤師）であるか

処方箋応需枚数/月 別

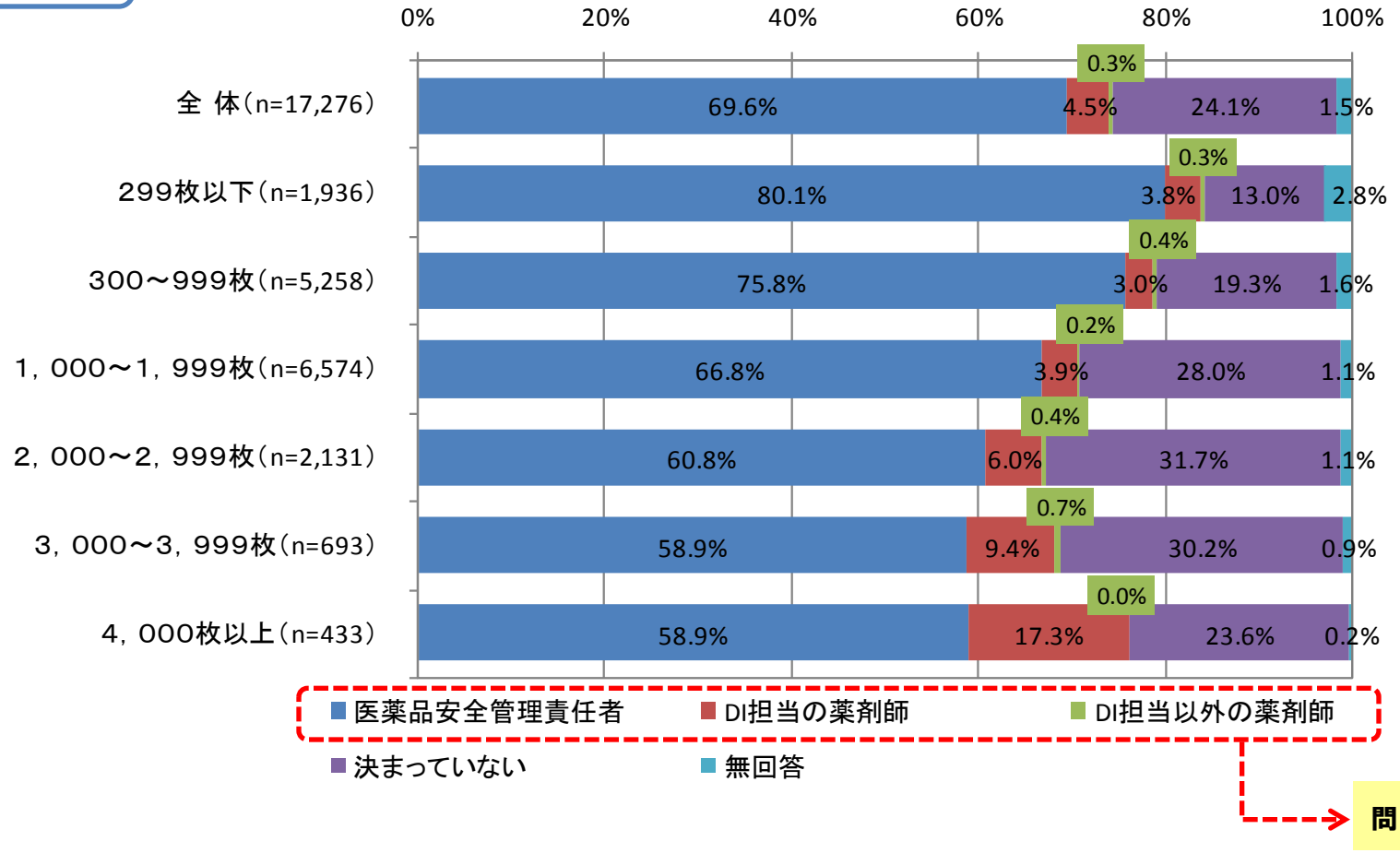


Ⅰ　安全性情報全般に関する調査

１　薬局内でのインターネットの活用等について

問１　貴薬局内で医薬品の安全性に関する情報の収集は主に誰が行っていますか。（1/2）

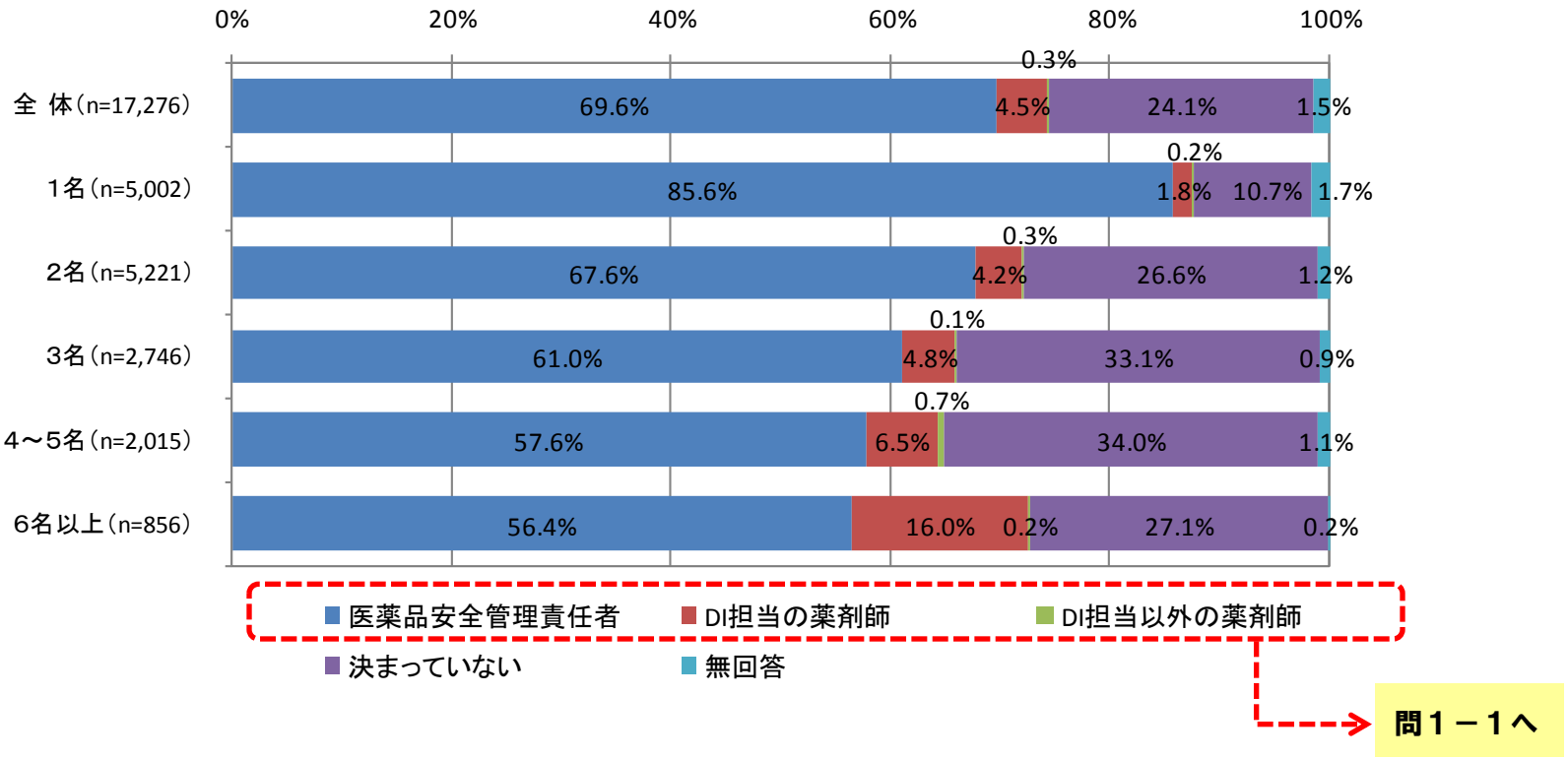
処方箋応需枚数/月 別　（単数回答）



問１－１へ

問１　貴薬局内で医薬品の安全性に関する情報の収集は主に誰が行っていますか。（2/2）

薬剤師数別（常勤換算）　（単数回答）

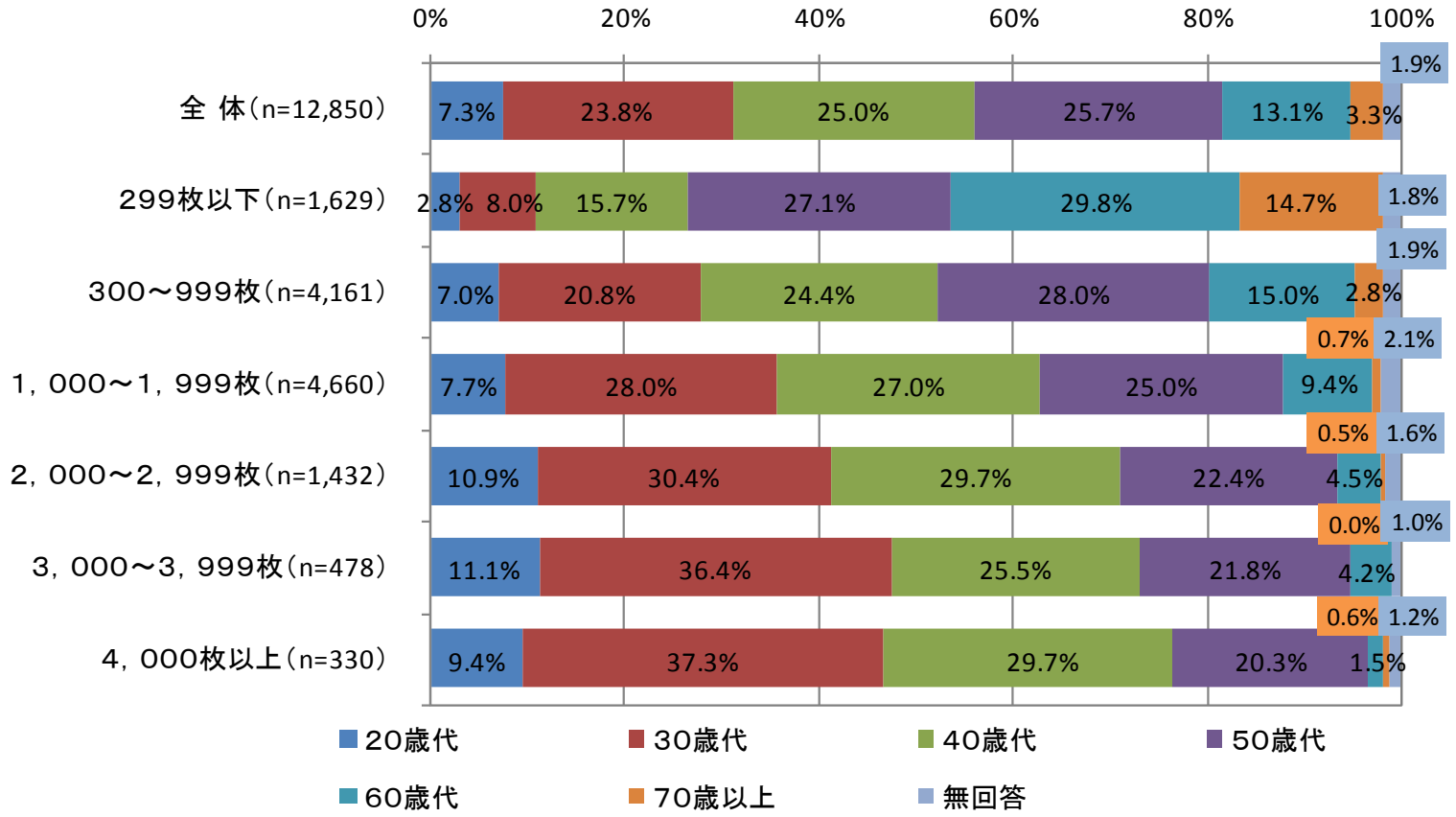


問１－１へ

問１－１　主な情報収集担当者の年齢をお答えください。

処方箋応需枚数/月 別

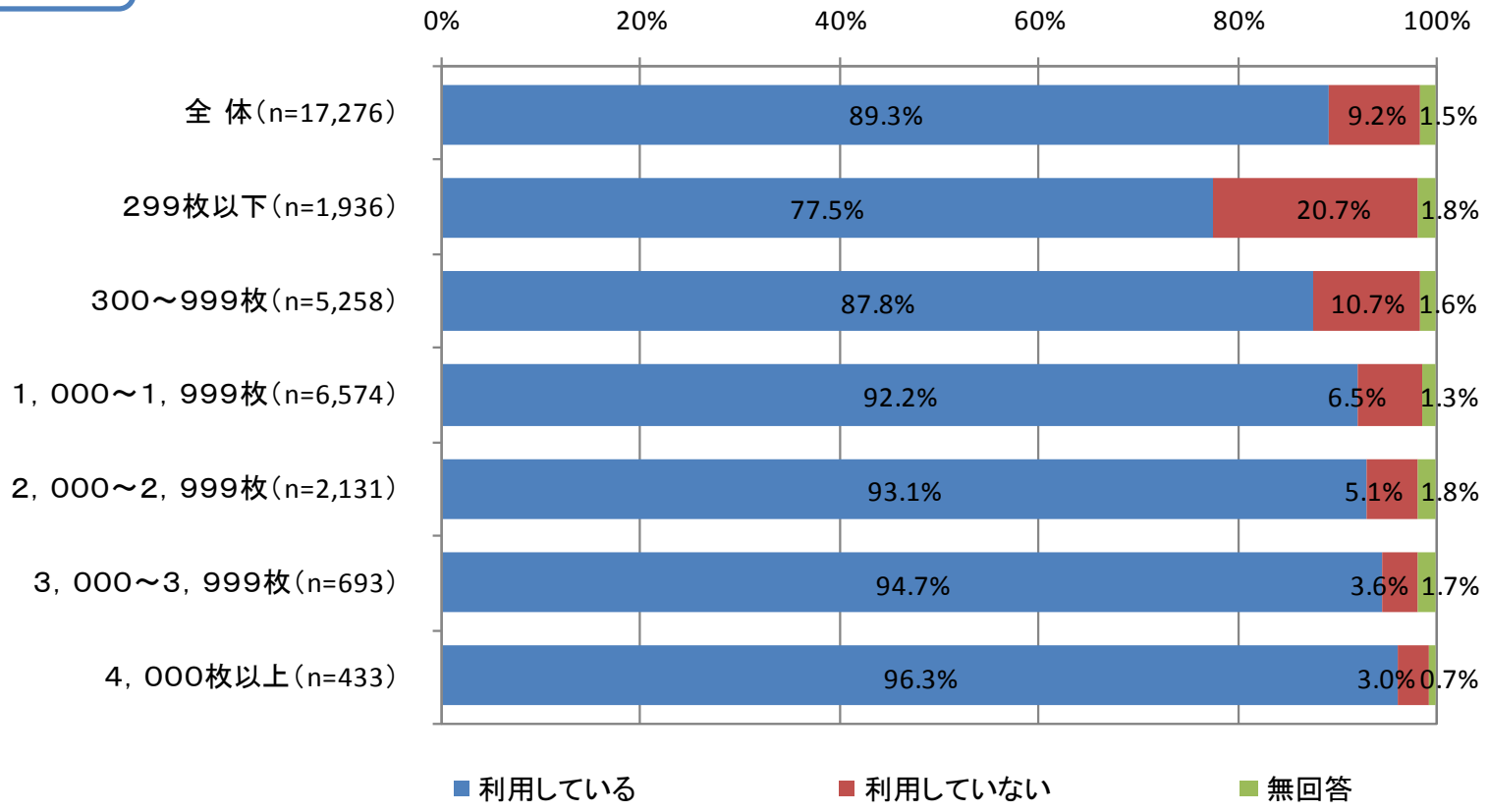
（単数回答）　集計対象：医薬品の安全性に関する情報の収集を「医薬品安全管理責任者」/「DI担当の薬剤師」/「DI担当以外の薬剤師」が行っている施設



問２　日常的にインターネットを利用できるパソコン、タブレット（iPad等）等を用いて、インターネットを利用していますか。

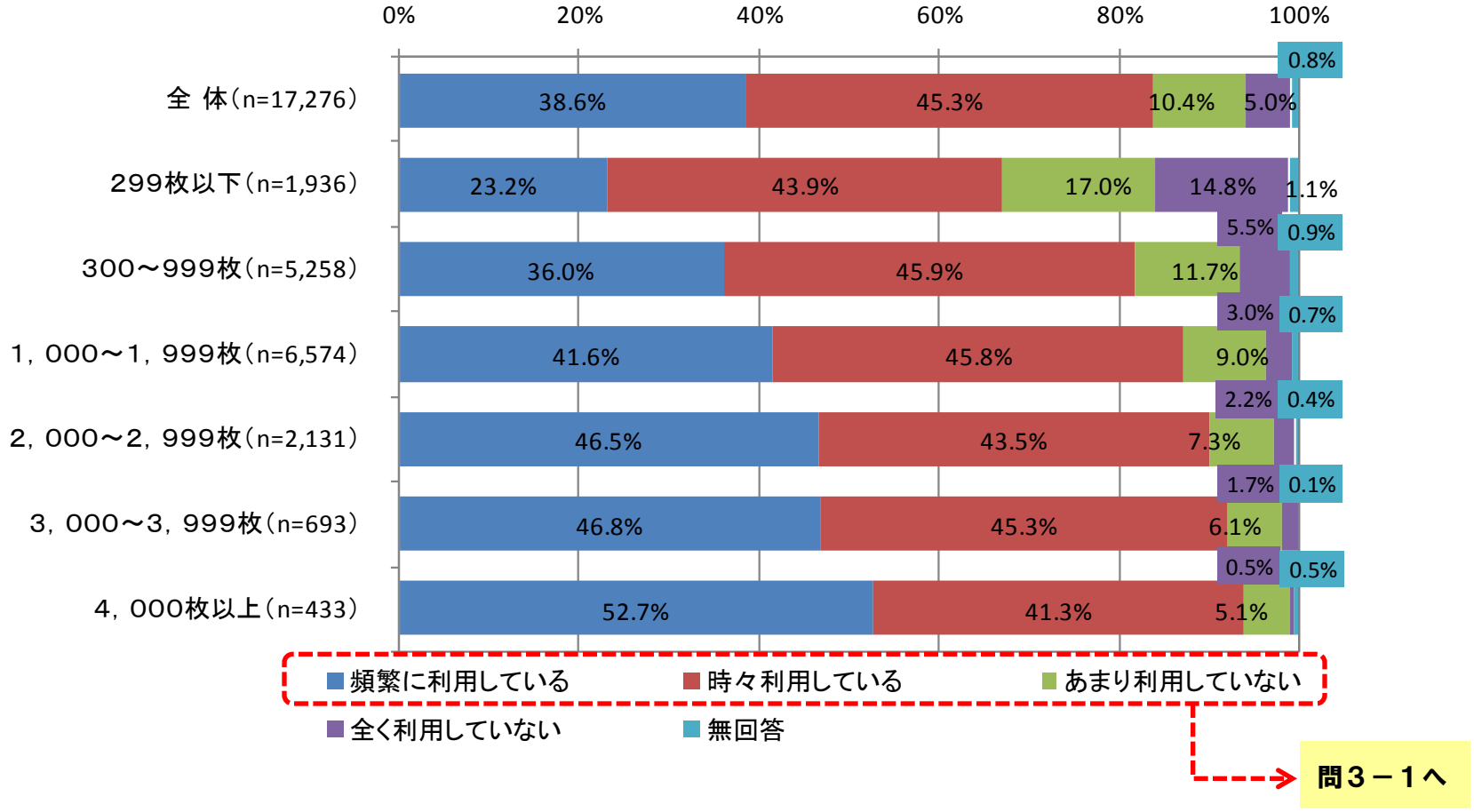
処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）



問３　医薬品の安全性に関する情報収集にインターネットを利用していますか。

処方箋応需枚数/月 別　（単数回答）

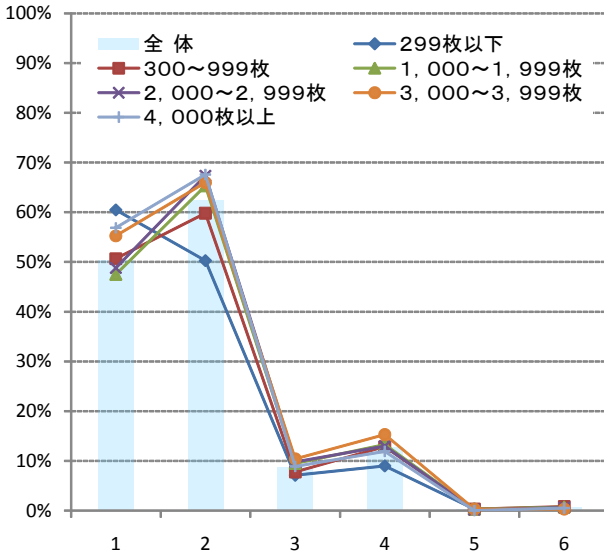


問３－１へ

問３－１　医薬品の安全性に関する情報を収集するために使用している機器をお答えください。

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：医薬品の安全性に関する情報収集にインターネットを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

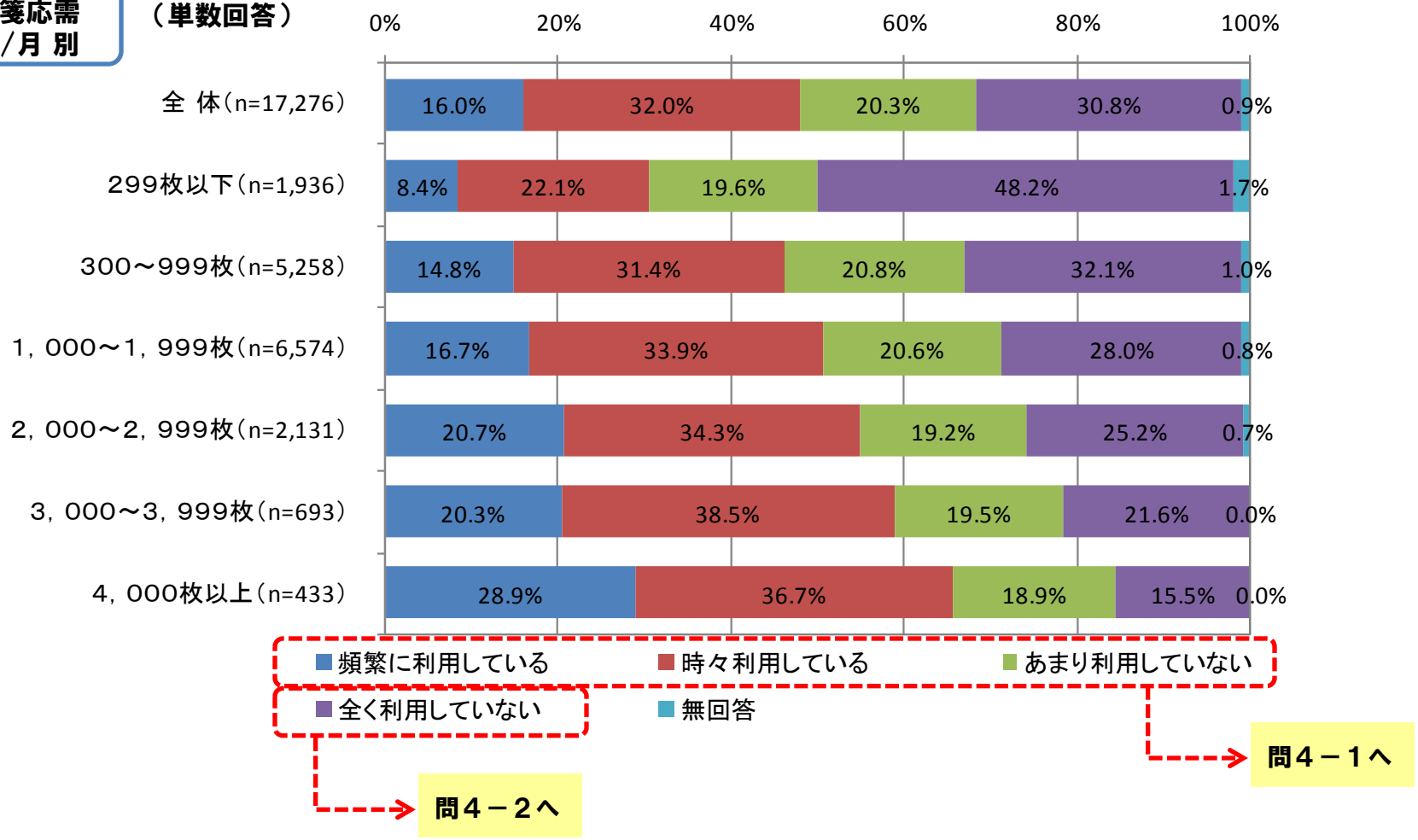


	調査数	デスクトップ型パソコン	ノート型パソコン	タブレット（iPad等）	スマートフォン	その他	無回答
全　体	16,283	50.5%	62.4%	8.8%	12.7%	0.3%	0.7%
２９９枚以下	1,628	60.5%	50.3%	7.1%	9.0%	0.3%	0.5%
３００～９９９枚	4,922	50.7%	59.8%	7.8%	12.9%	0.3%	0.8%
１，０００～１，９９９枚	6,332	47.5%	65.3%	9.5%	13.3%	0.3%	0.7%
２，０００～２，９９９枚	2,075	48.8%	67.4%	9.8%	13.0%	0.2%	0.6%
３，０００～３，９９９枚	680	55.3%	66.0%	10.4%	15.3%	0.3%	0.3%
４，０００枚以上	429	56.9%	67.6%	8.9%	11.9%	0.0%	0.5%

問４　日常業務で、PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを利用していますか。
（医薬品医療機器情報提供ホームページ：http://www.info.pmda.go.jp/）

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）

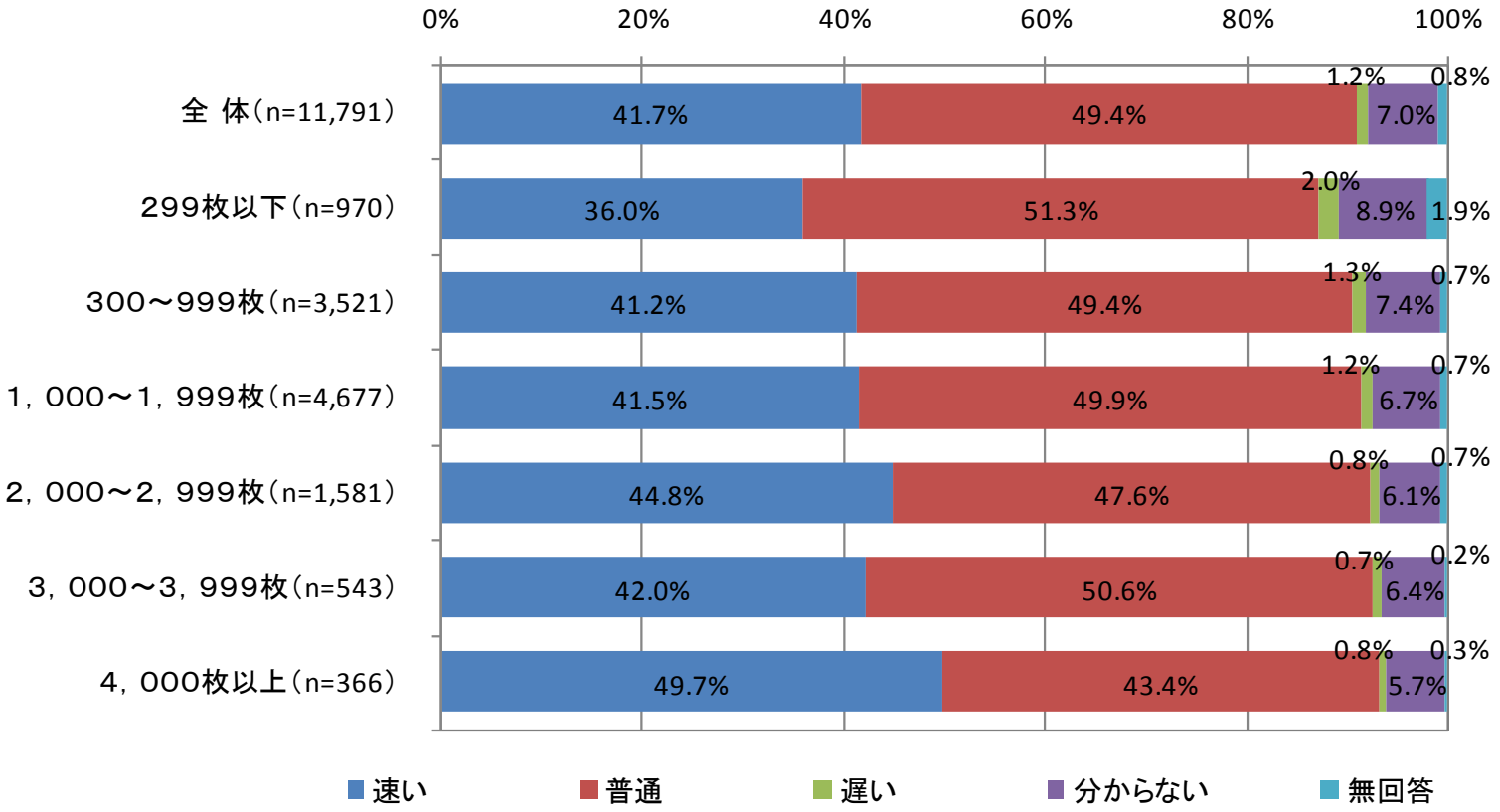


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（1/17）

①　迅速に更新情報を入手できるか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

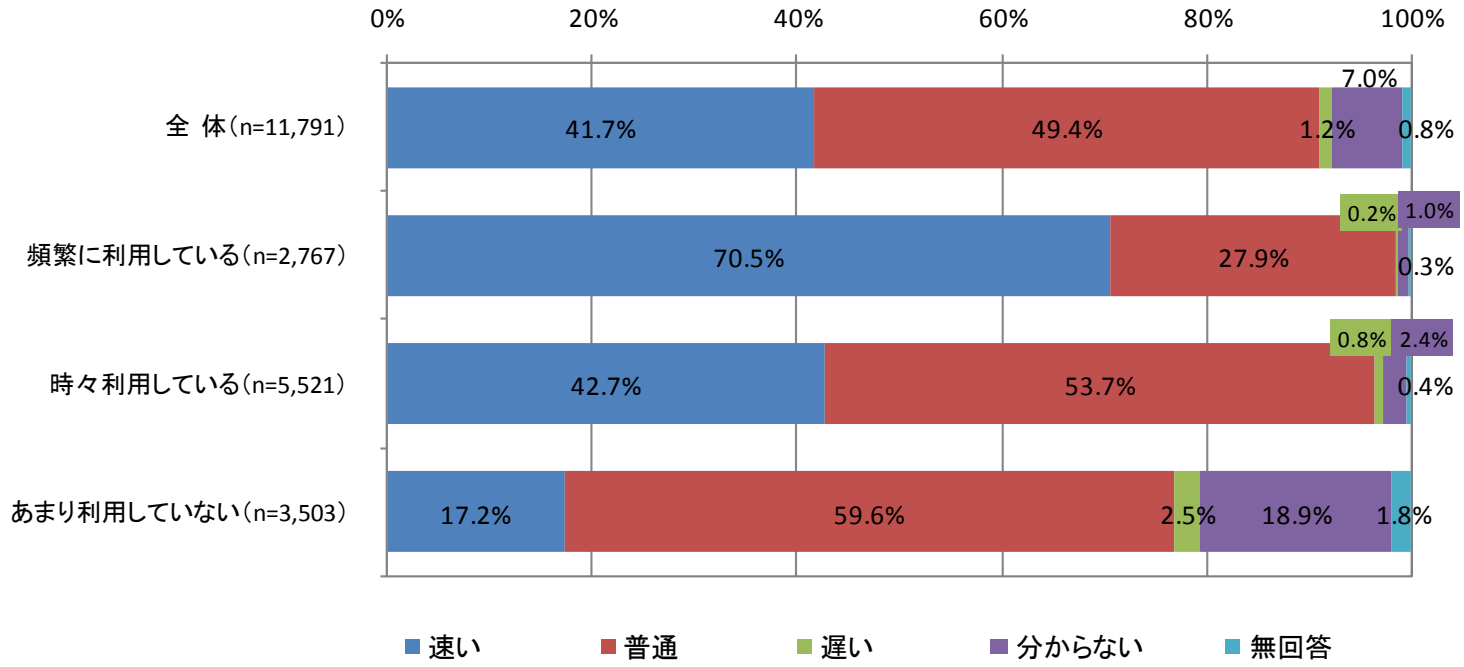


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（2/17）

①　迅速に更新情報を入手できるか

問４PMDA ホームページ 利用頻度別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

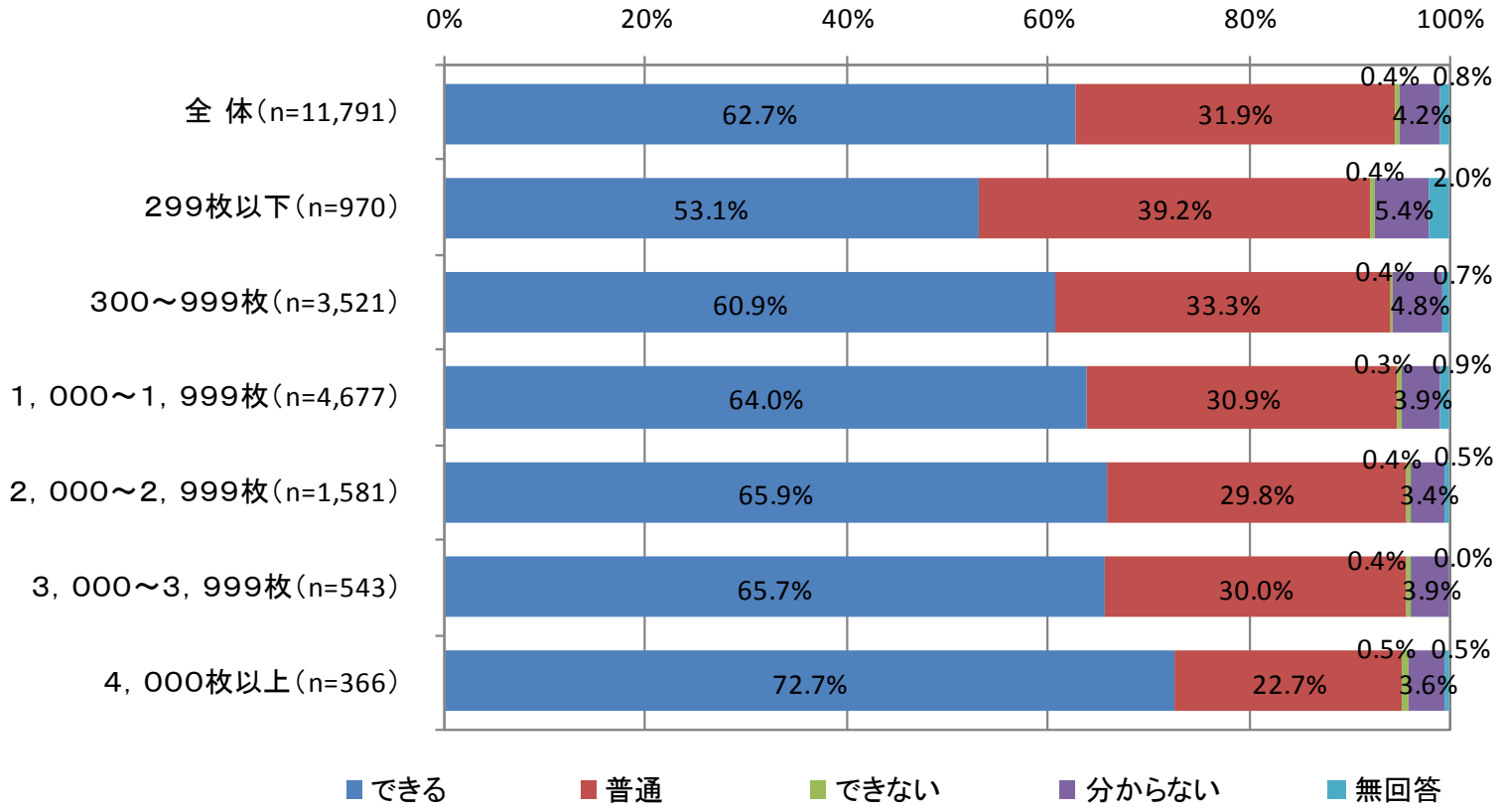


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（3/17）

②　正確な情報を入手できるか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



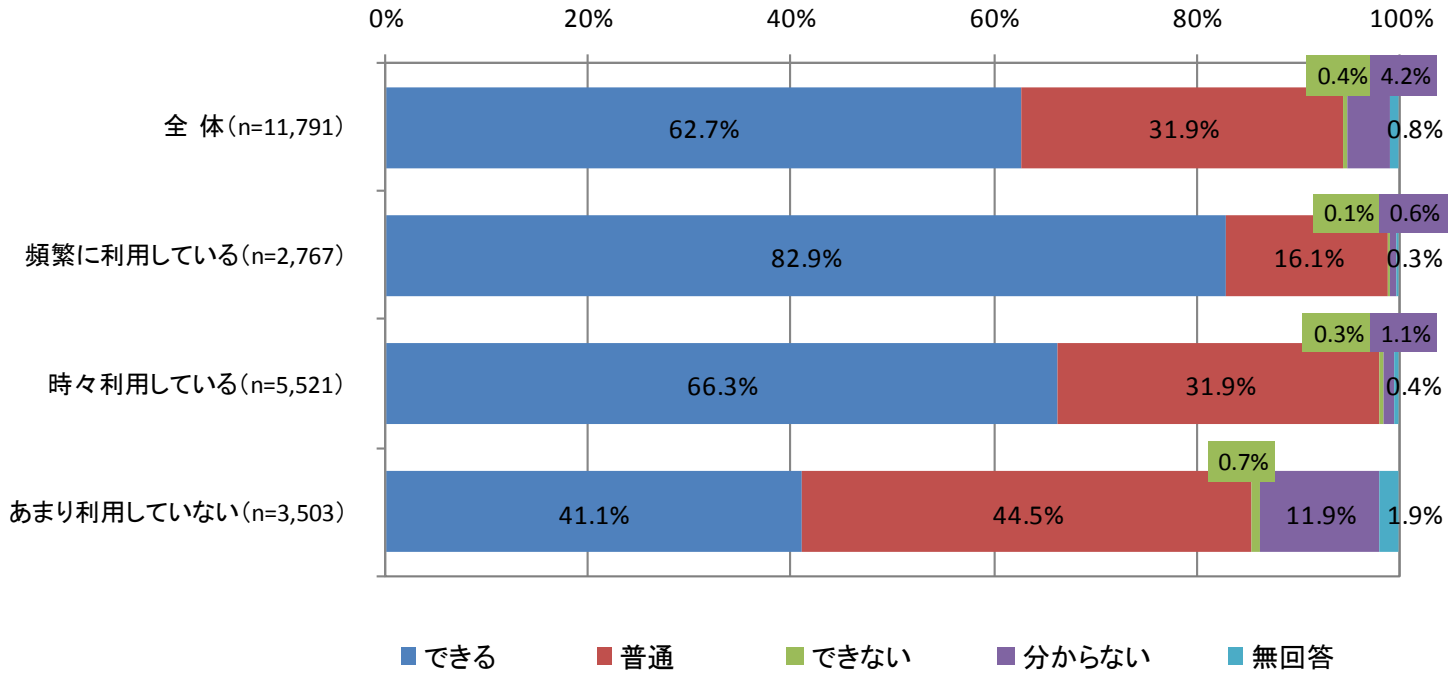
問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（4/17）

②　正確な情報を入手できるか

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

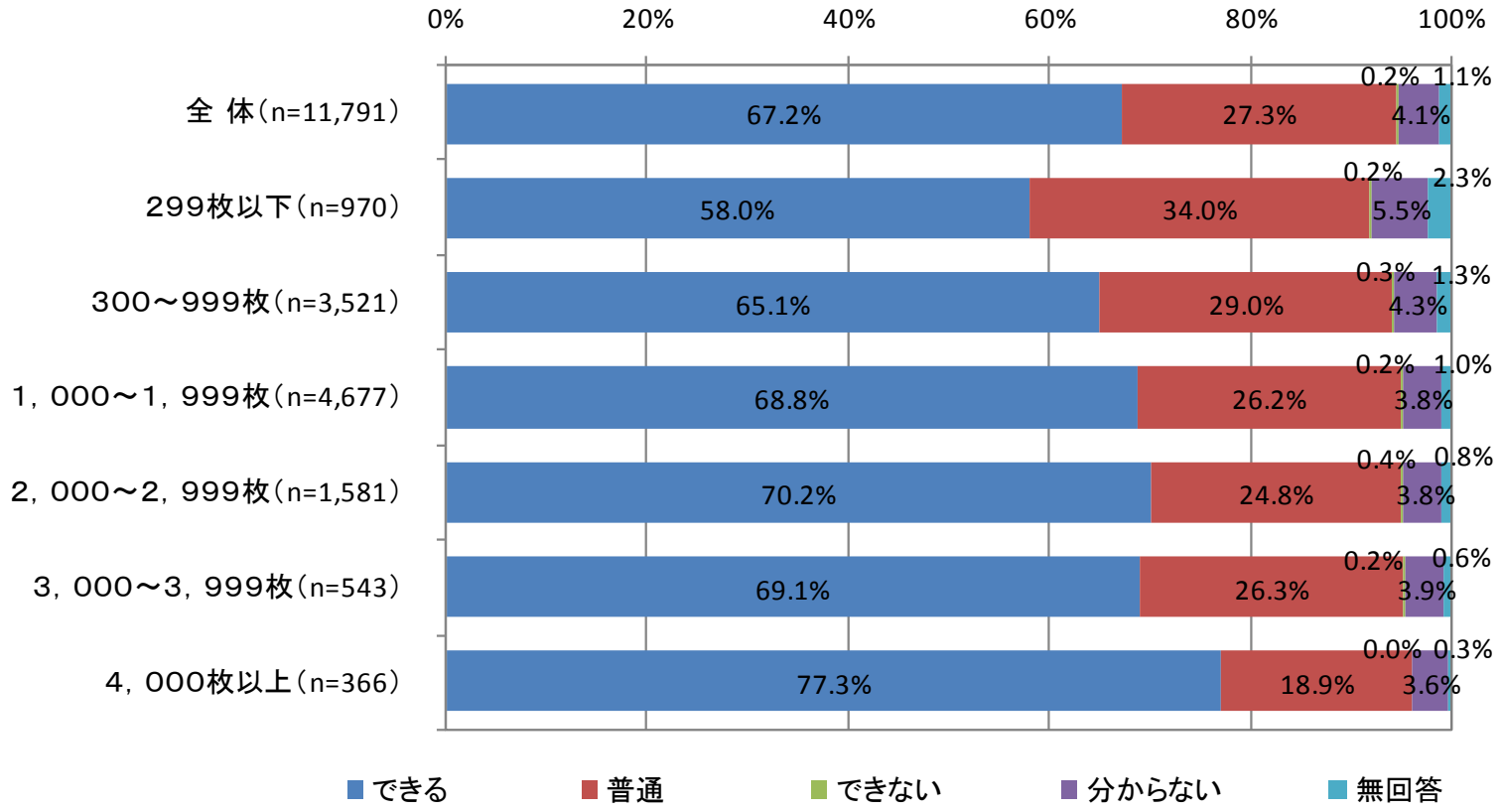


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（5/17）

③　信頼できる情報を入手できるか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

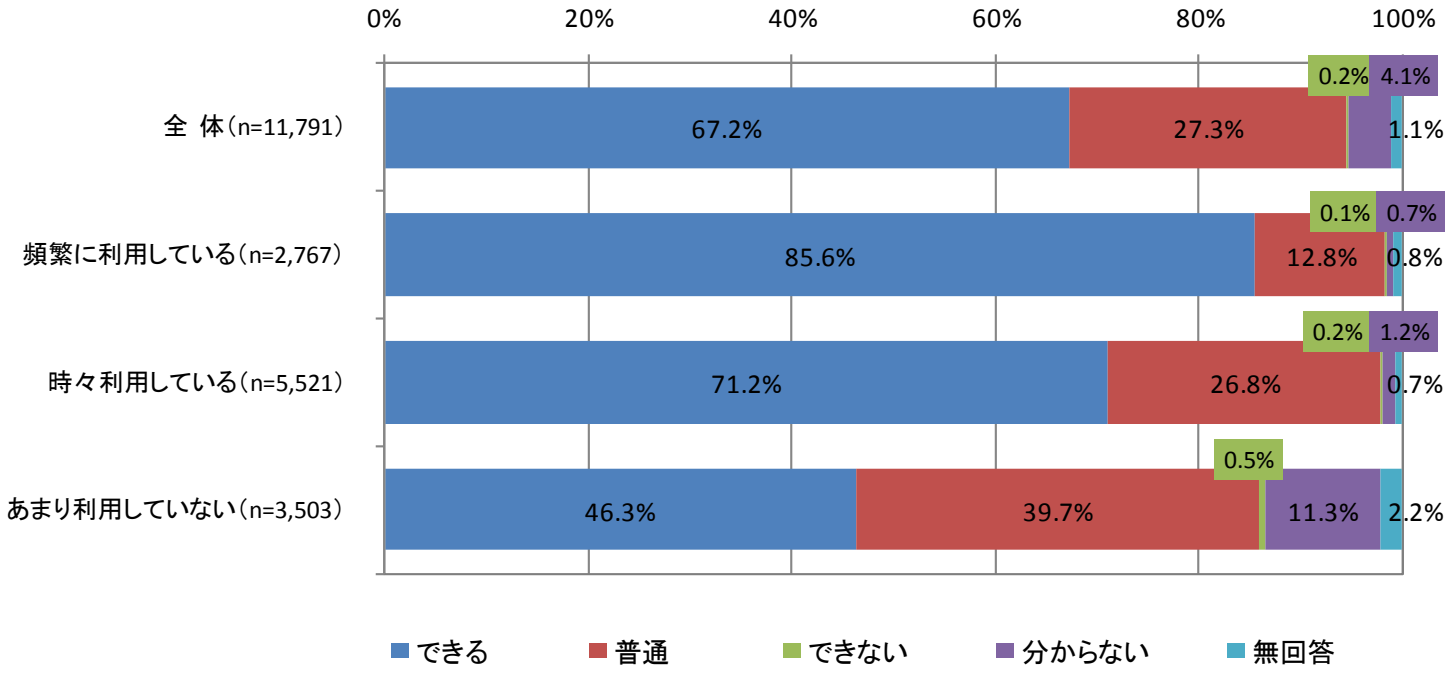


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（6/17）

③　信頼できる情報を入手できるか

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

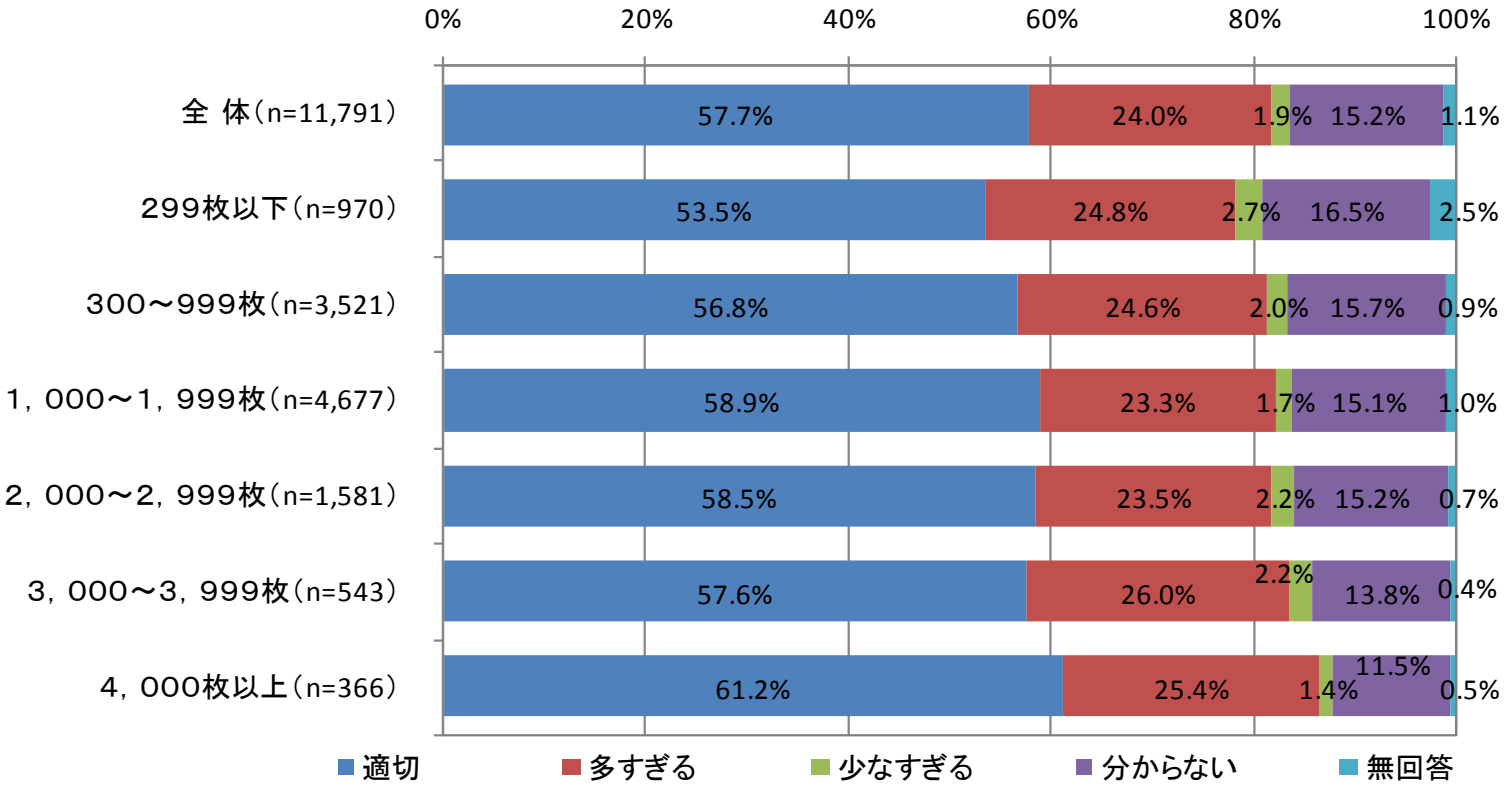


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（7/17）

④　情報量が適切か

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

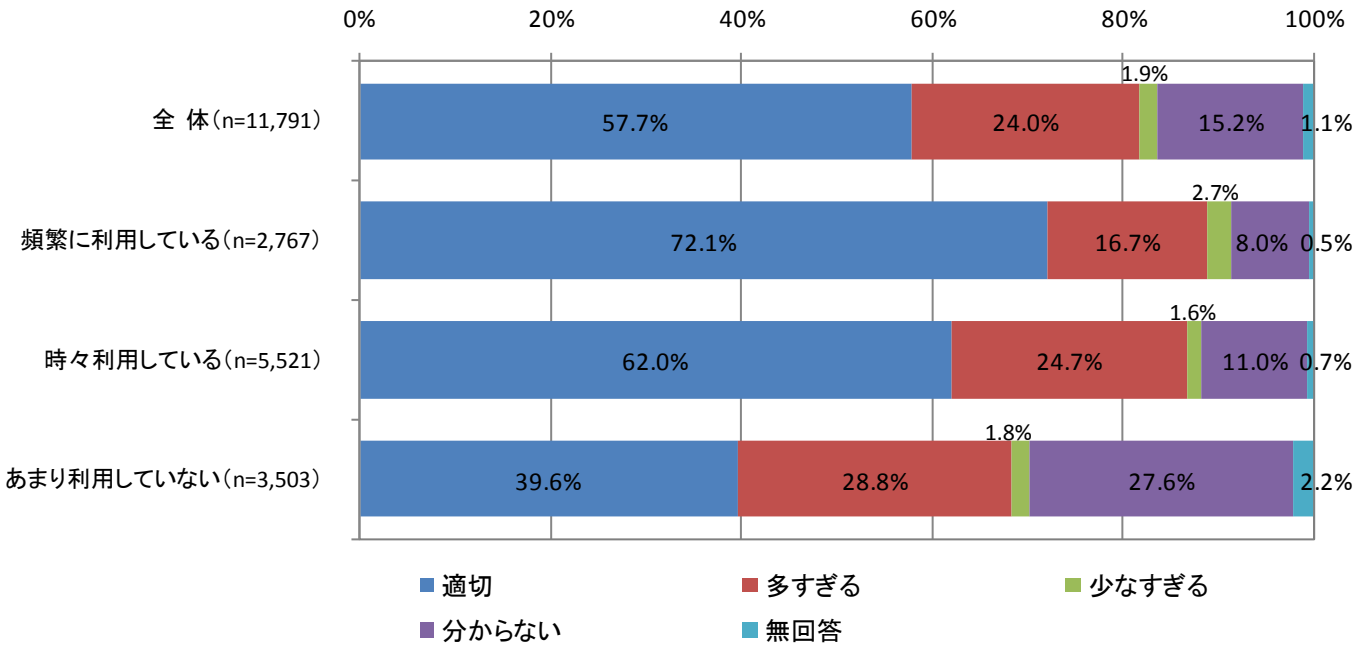


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（8/17）

④　情報量が適切か

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

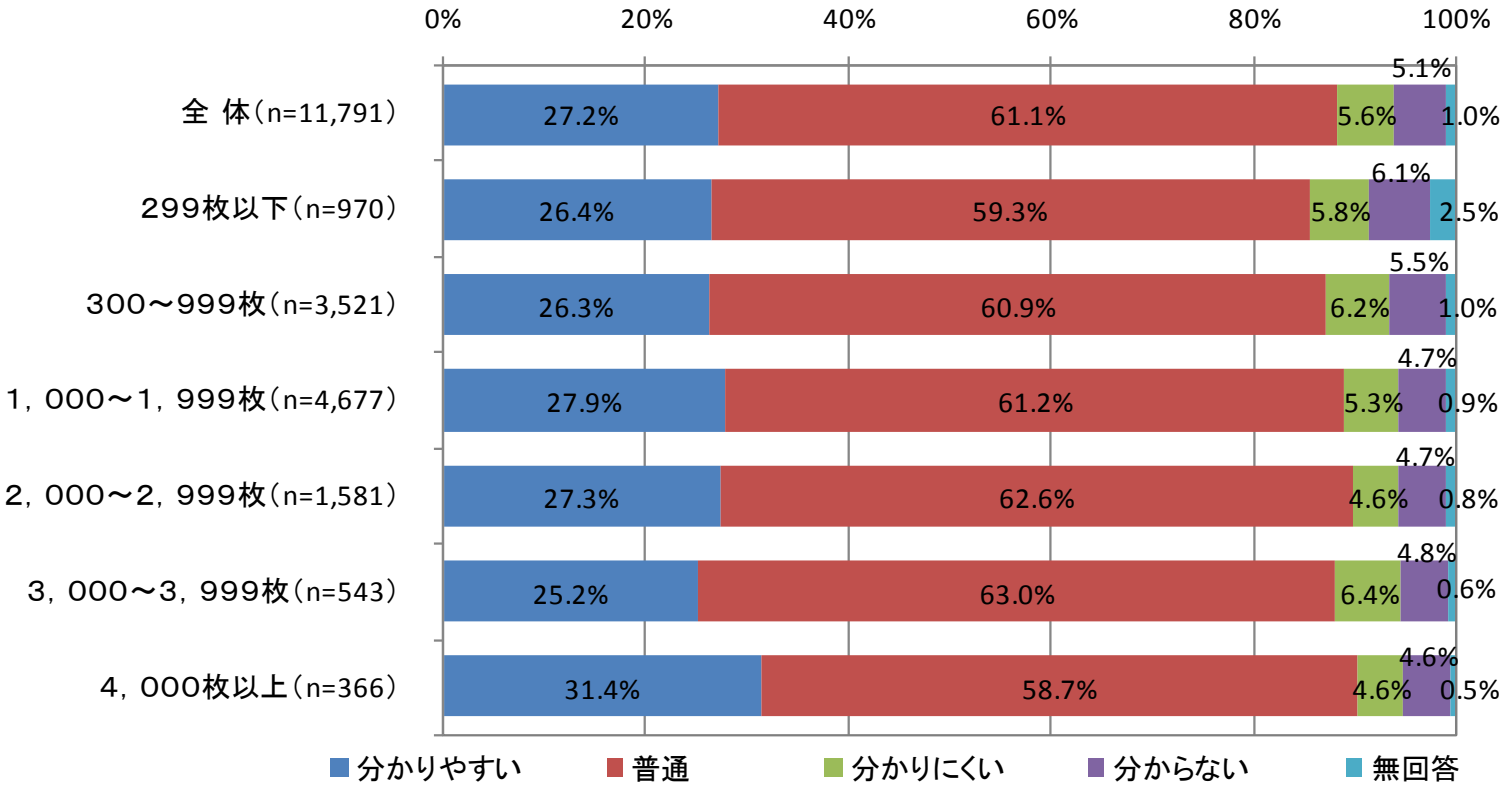


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（9/17）

⑤　情報の内容が分かりやすいか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

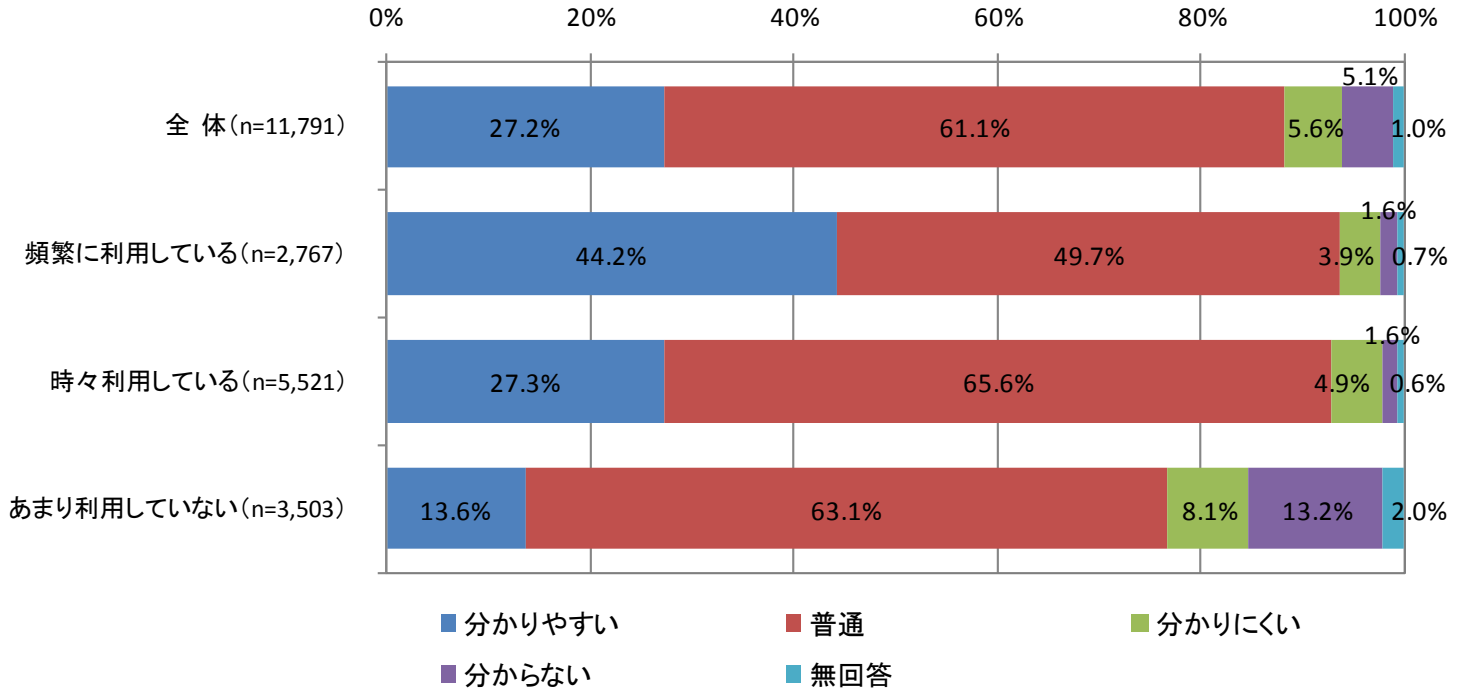


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（10/17）

⑤　情報の内容が分かりやすいか

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

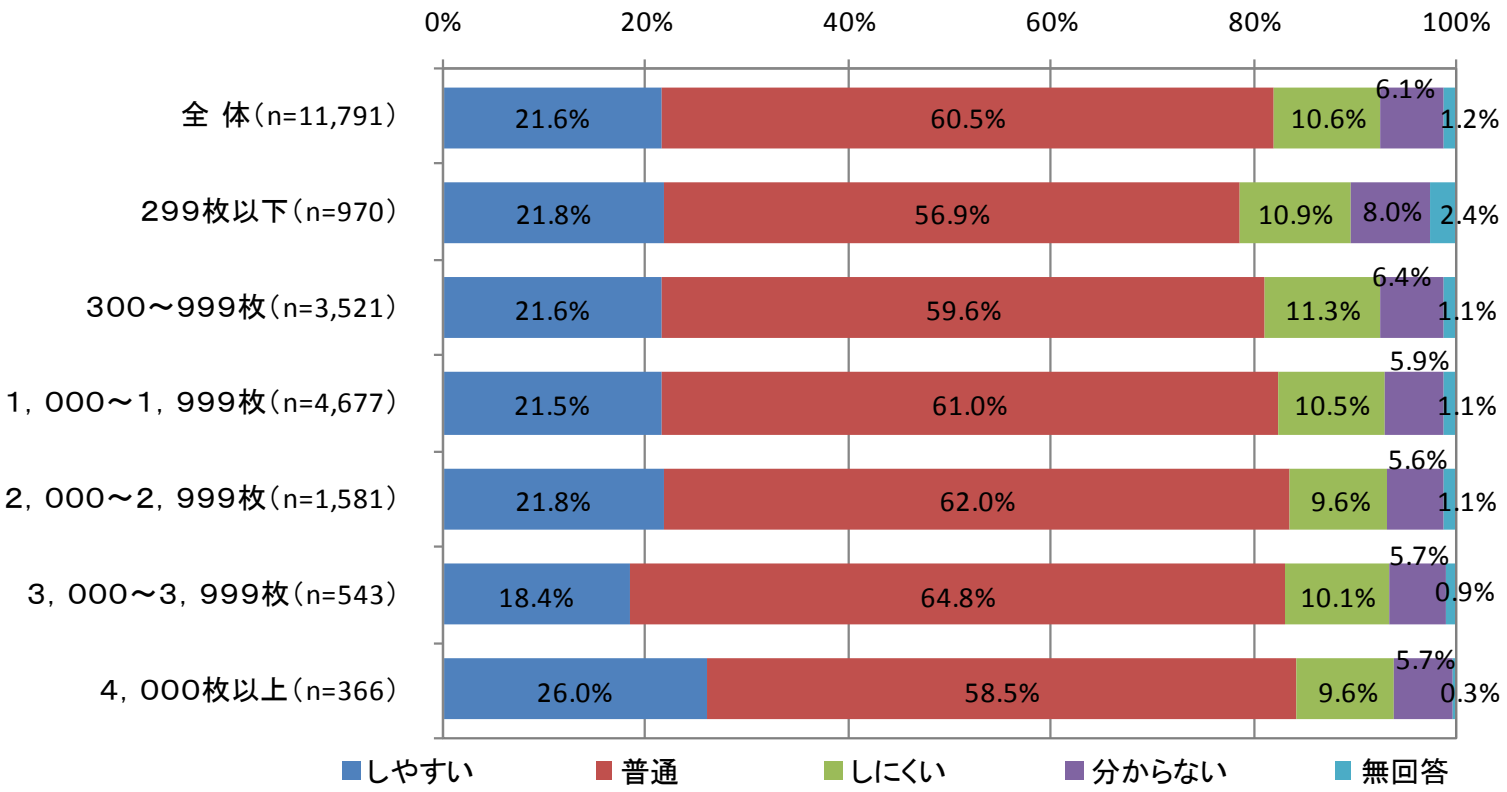


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（11/17）

⑥　情報の重要度が判別しやすいか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

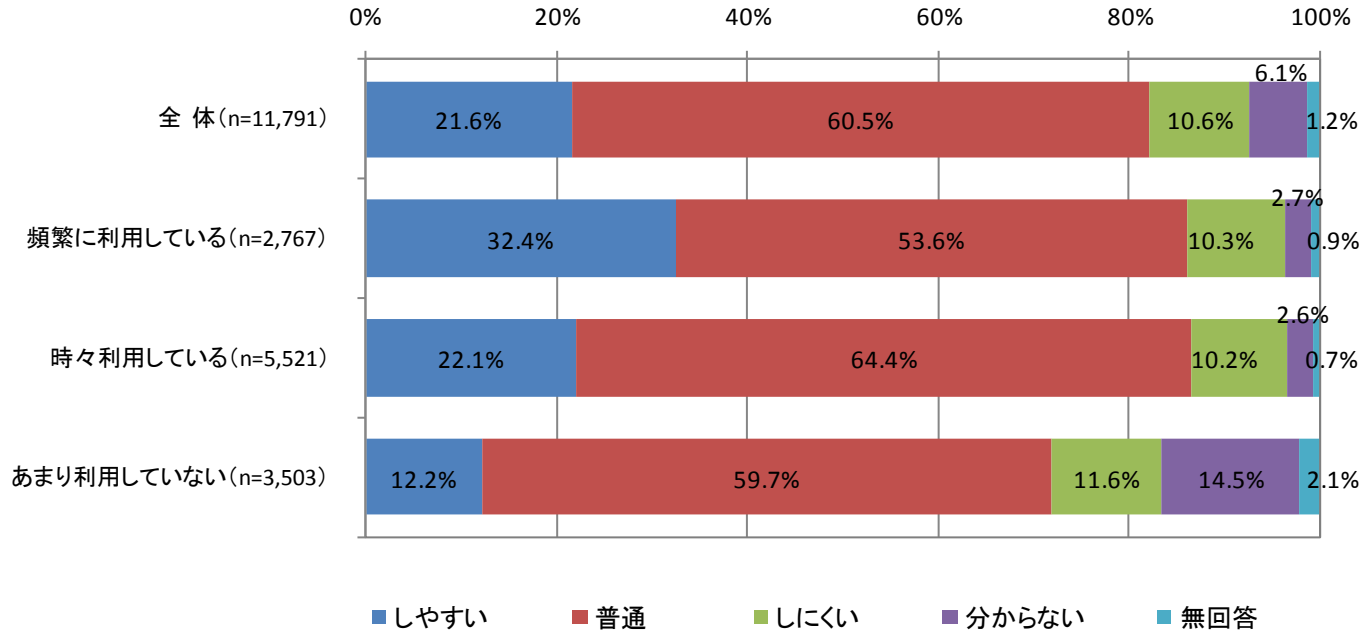


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（12/17）

⑥　情報の重要度が判別しやすいか

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

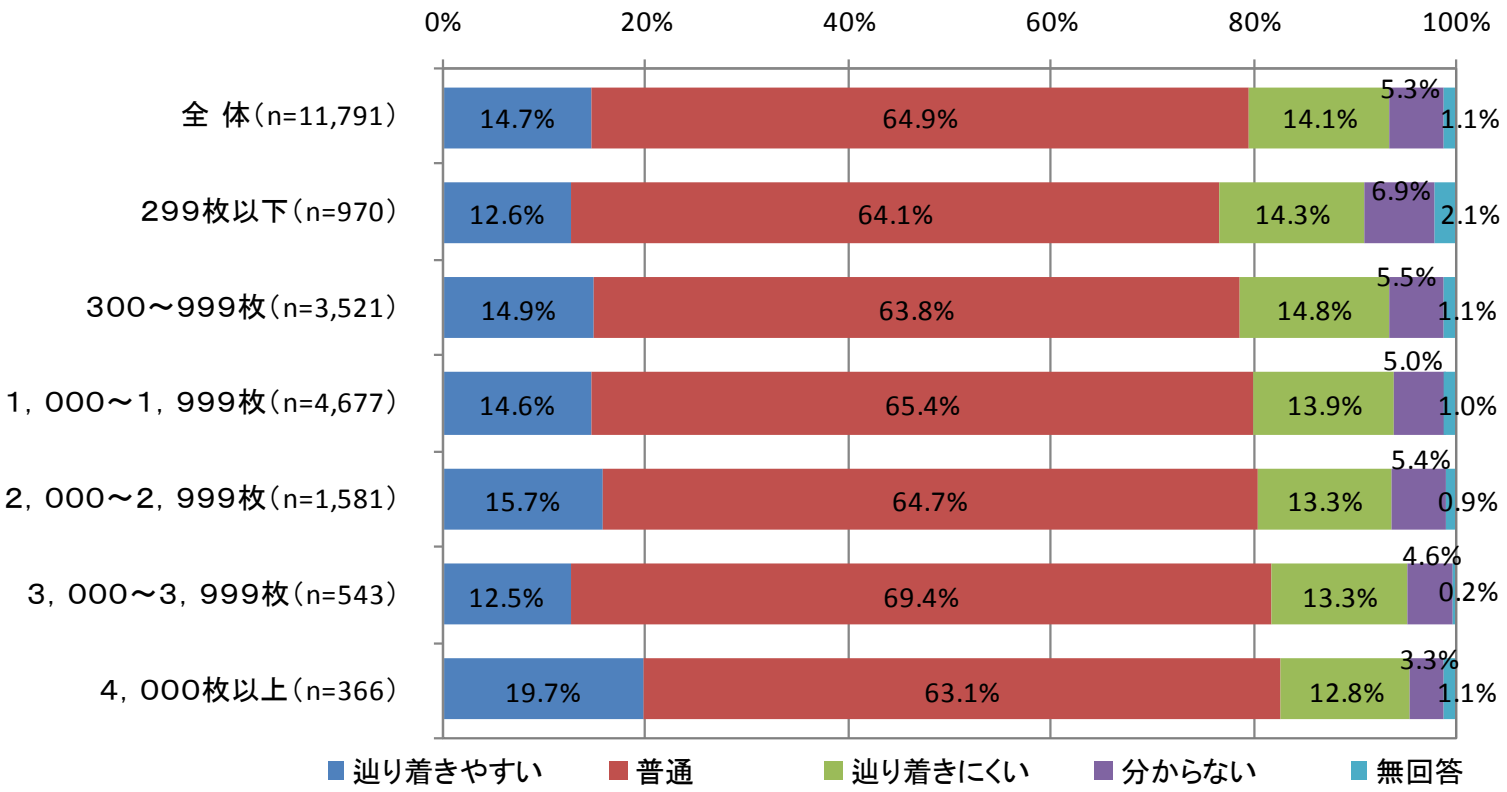


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（13/17）

⑦　必要な情報に辿り着きやすいか（レイアウトが分かりやすいか）

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



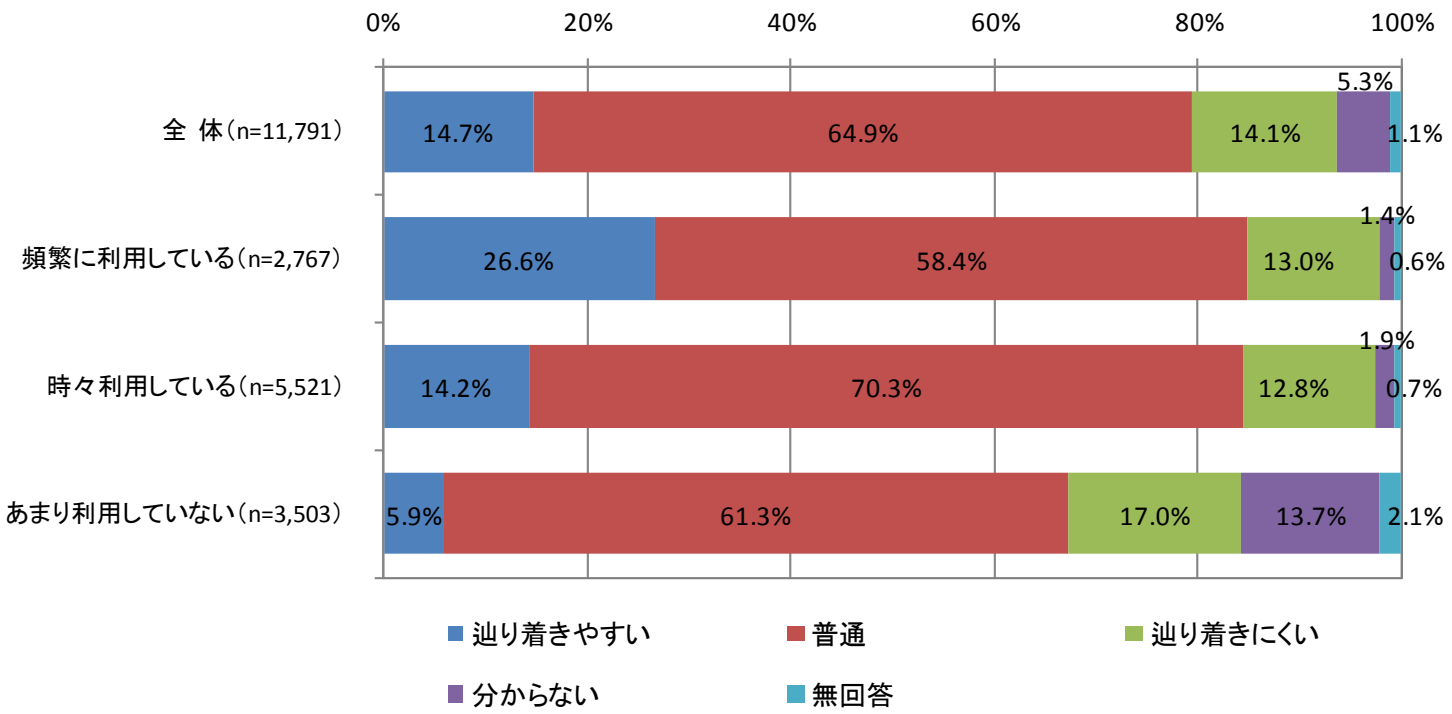
問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（14/17）

⑦　必要な情報に辿り着きやすいか（レイアウトが分かりやすいか）

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

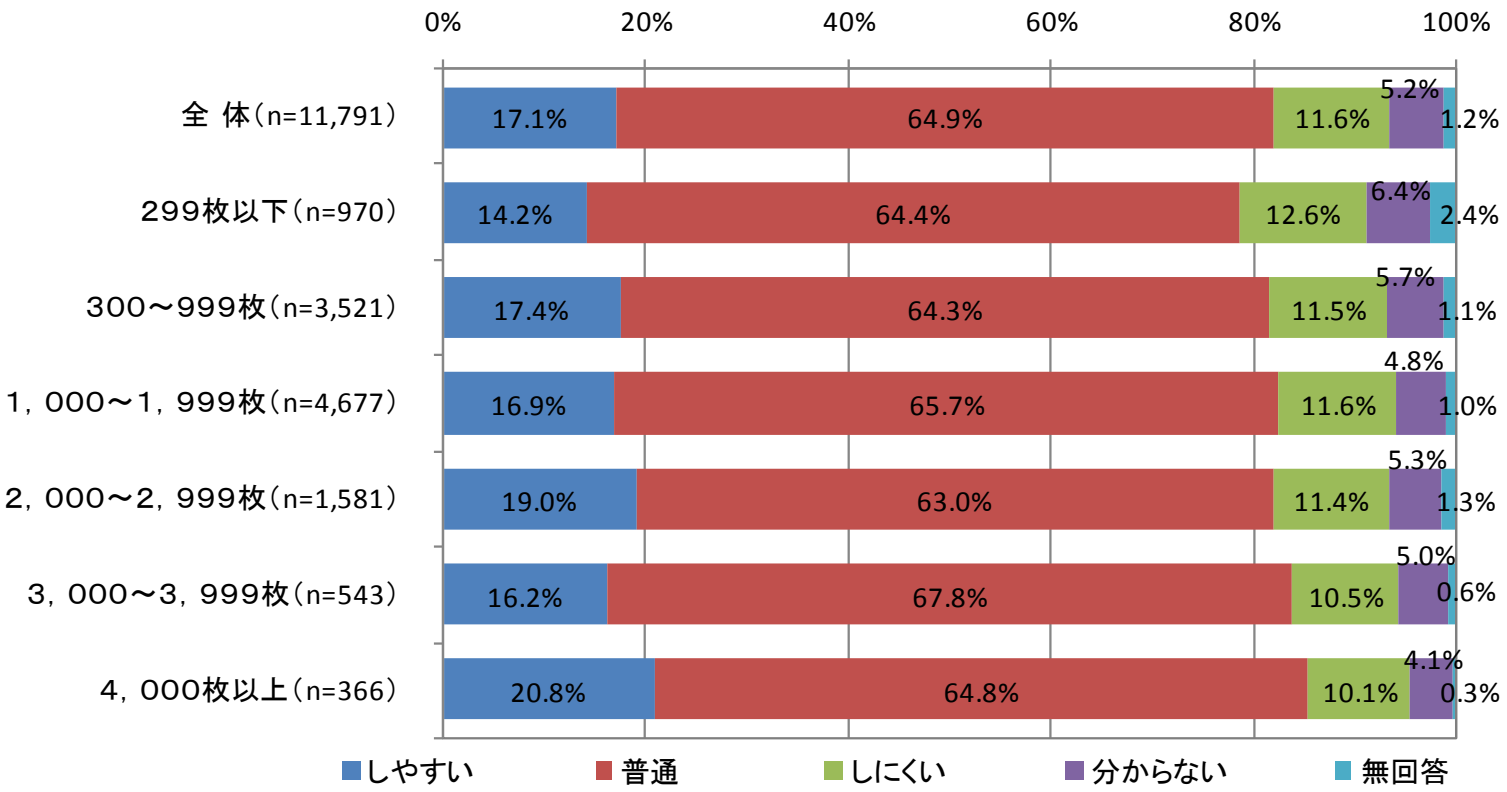


問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（15/17）

⑧　必要な情報を探しやすいか（検索しやすいか）

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



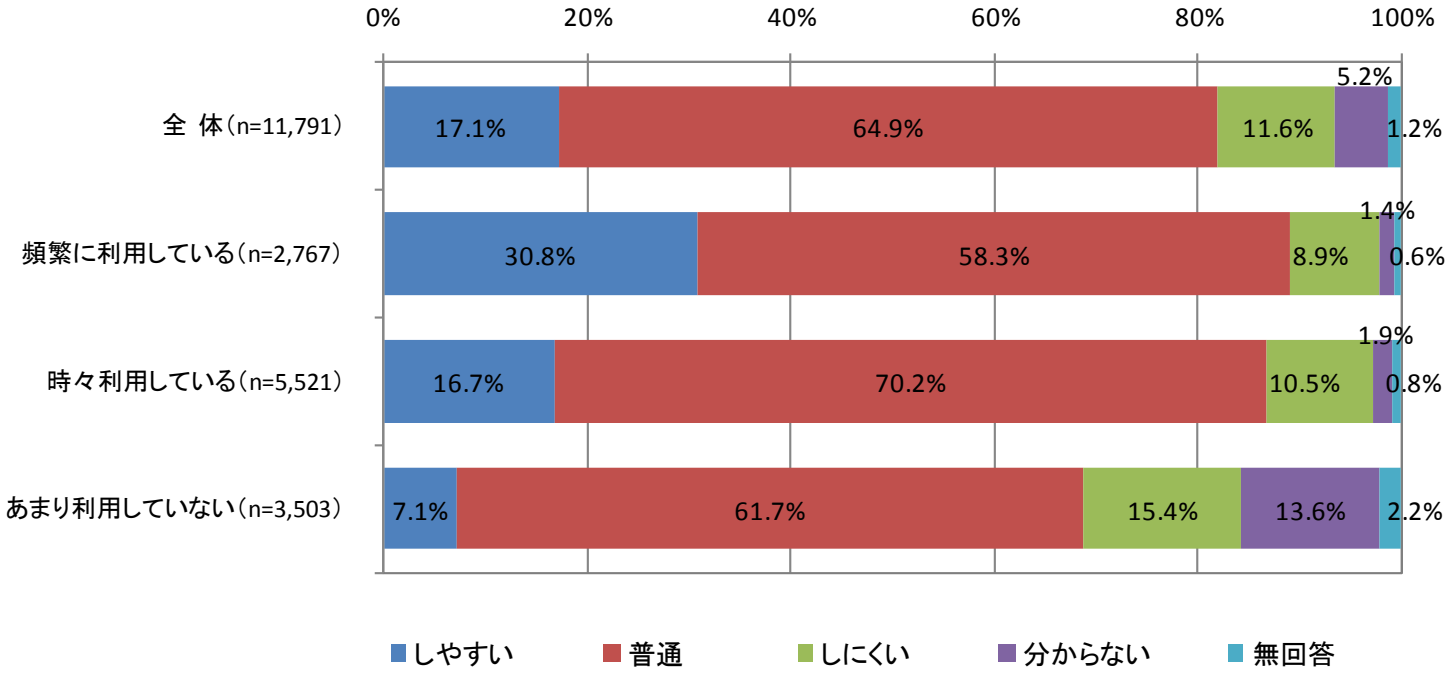
問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（16/17）

⑧　必要な情報を探しやすいか（検索しやすいか）

問４PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答）

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



問４－１　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（17/17）

⑨　意見、感想等

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

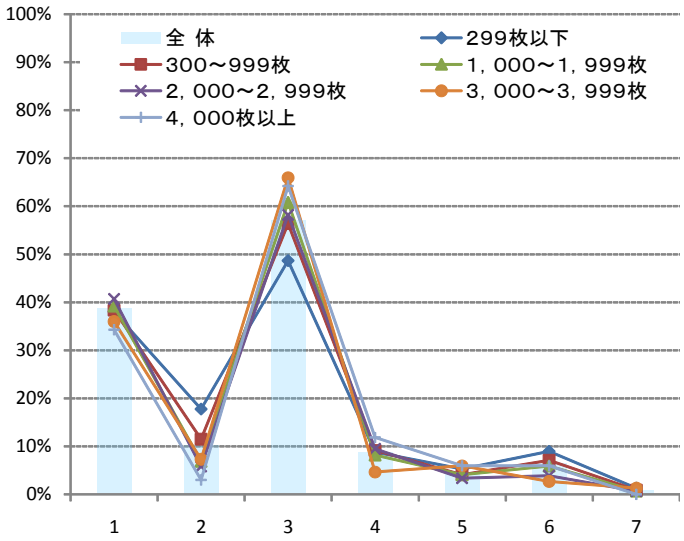
主な意見

- ホームページは情報量を考えると非常にまとまっていると思う。今後は、新規利用者であってもより分かりやすいホームページになればよいと考える。
- トップページの情報量が多く迷うため、必要なページへたどり着きにくい。携帯、スマートフォン等画面が小さい機器では情報を読みにくい。
- 医療用医薬品の承認審査に関する情報は、開発経緯などがわかる有益な情報であると考える。そのため、過去の情報も消さないようにして欲しい。製薬メーカーからの医薬品情報提供が少ない個人薬局には重要な情報源となっている。
- 添付文書の検索が一番使いやすいように工夫して欲しい。特別な制限（処方医の登録、確認書類が必要とか）がある薬剤の情報を分かりやすく提供して欲しい。
- 薬価未収載（承認待ち）の薬剤、薬価収載削除品目の情報が得られ易くして欲しい。経過措置品目の一覧を時期別にソートかけられるようなシステムを組んで欲しい
- サイト内検索が上手く行えないことがある。公的機関からの情報に信頼を寄せていることから利用しているが、必要な情報に到達するまで時間がかかることがある。

問４－２　PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを利用していない理由をお答えください。

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「全く利用していない」施設

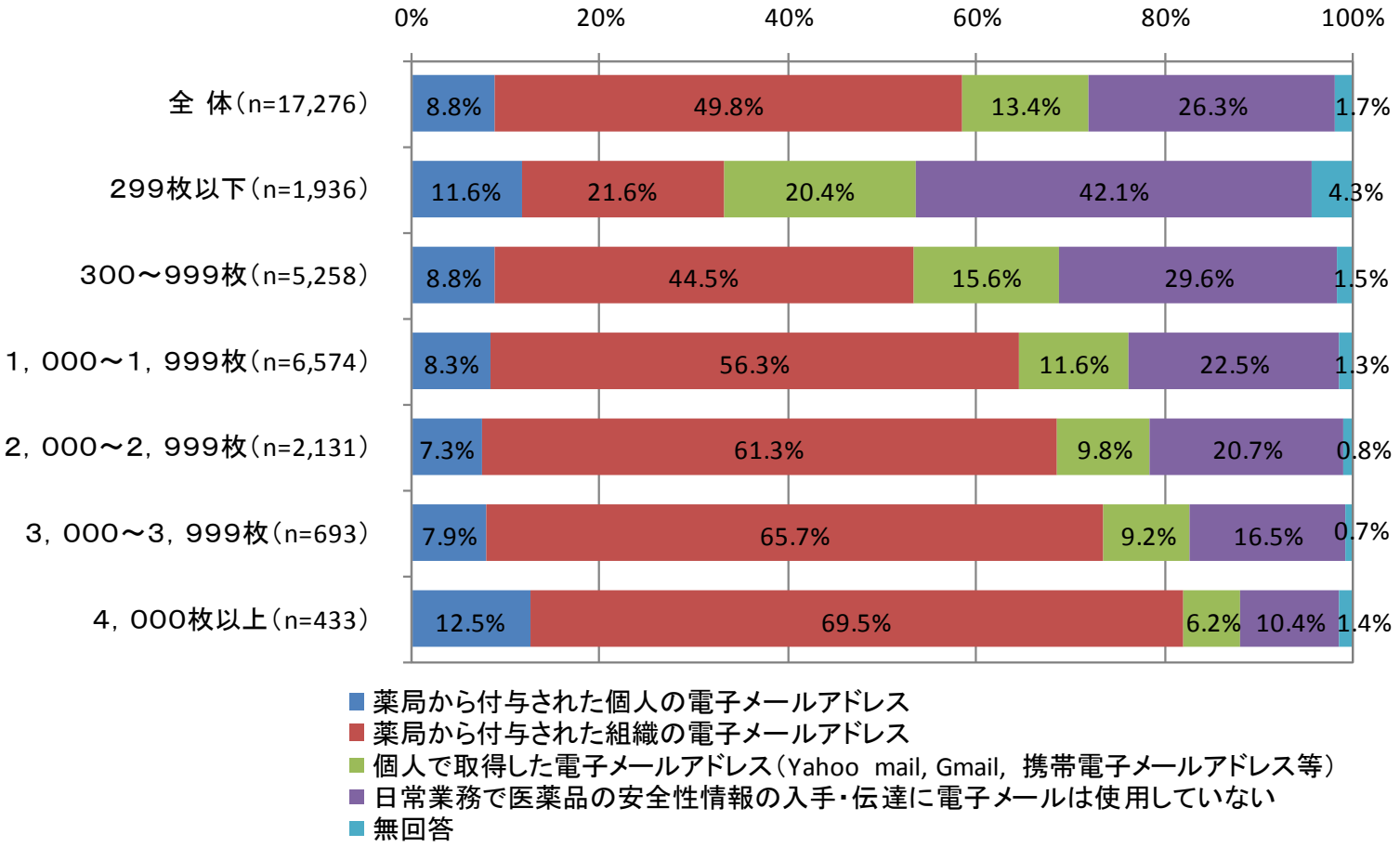


	調査数	PMDA情報提供ホームページの存在を知らなかったため	インターネットを利用できる環境がなかったため	他の方法・手段で十分に情報収集ができていたため	情報量が多すぎるため	レイアウトが複雑で使いにくいため	その他	無回答
全　体	5,326	38.8%	10.3%	57.0%	8.7%	4.4%	6.5%	0.9%
２９９枚以下	933	38.0%	17.8%	48.7%	8.8%	5.3%	9.0%	1.3%
３００～９９９枚	1,686	38.4%	11.5%	56.4%	9.2%	4.1%	7.1%	0.9%
１，０００～１，９９９枚	1,842	39.2%	6.9%	60.8%	8.2%	4.1%	5.9%	0.7%
２，０００～２，９９９枚	536	40.7%	5.8%	58.2%	9.5%	3.4%	3.9%	0.7%
３，０００～３，９９９枚	150	36.0%	7.3%	66.0%	4.7%	6.0%	2.7%	1.3%
４，０００枚以上	67	34.3%	3.0%	64.2%	11.9%	6.0%	6.0%	0.0%

問５　日常業務で医薬品の安全性情報を入手・伝達するにあたり、主にどのような電子メールアドレスを使用していますか。

処方箋応需枚数/月 別

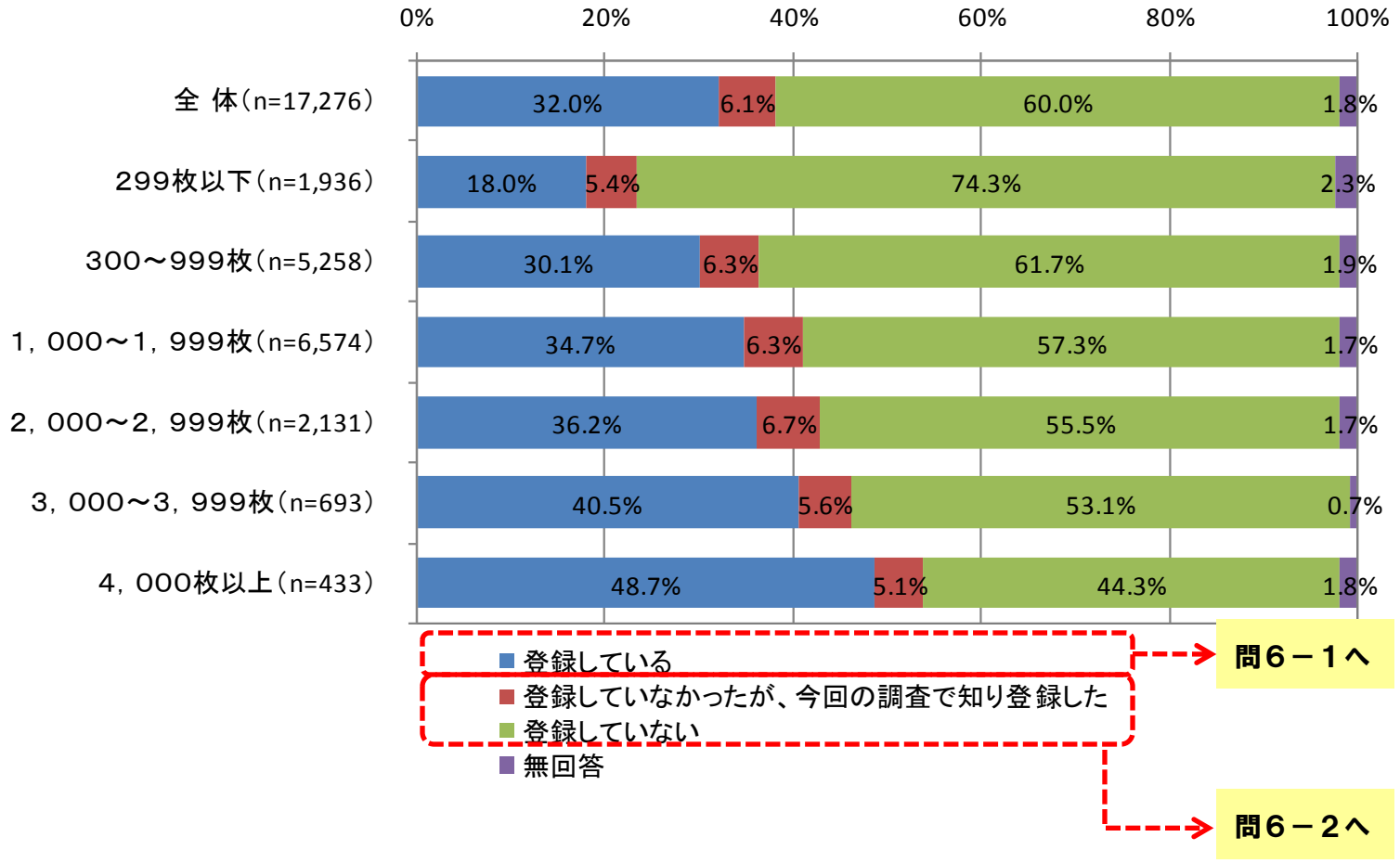
（単数回答）



問６　医薬品安全管理責任者の方は、PMDAメディナビに登録していますか。

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）

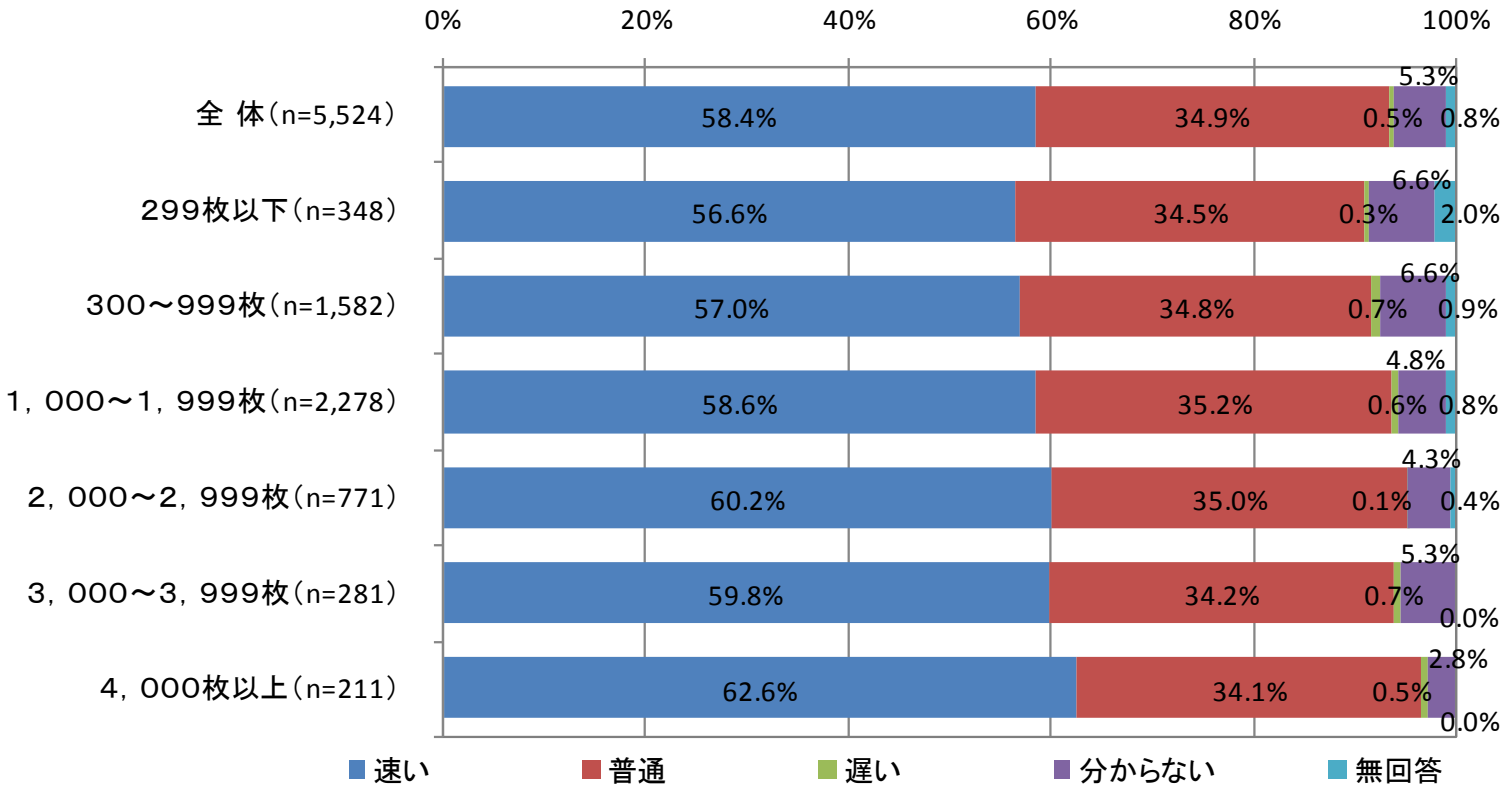


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（1/9）

①　迅速に更新情報を入手できるか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

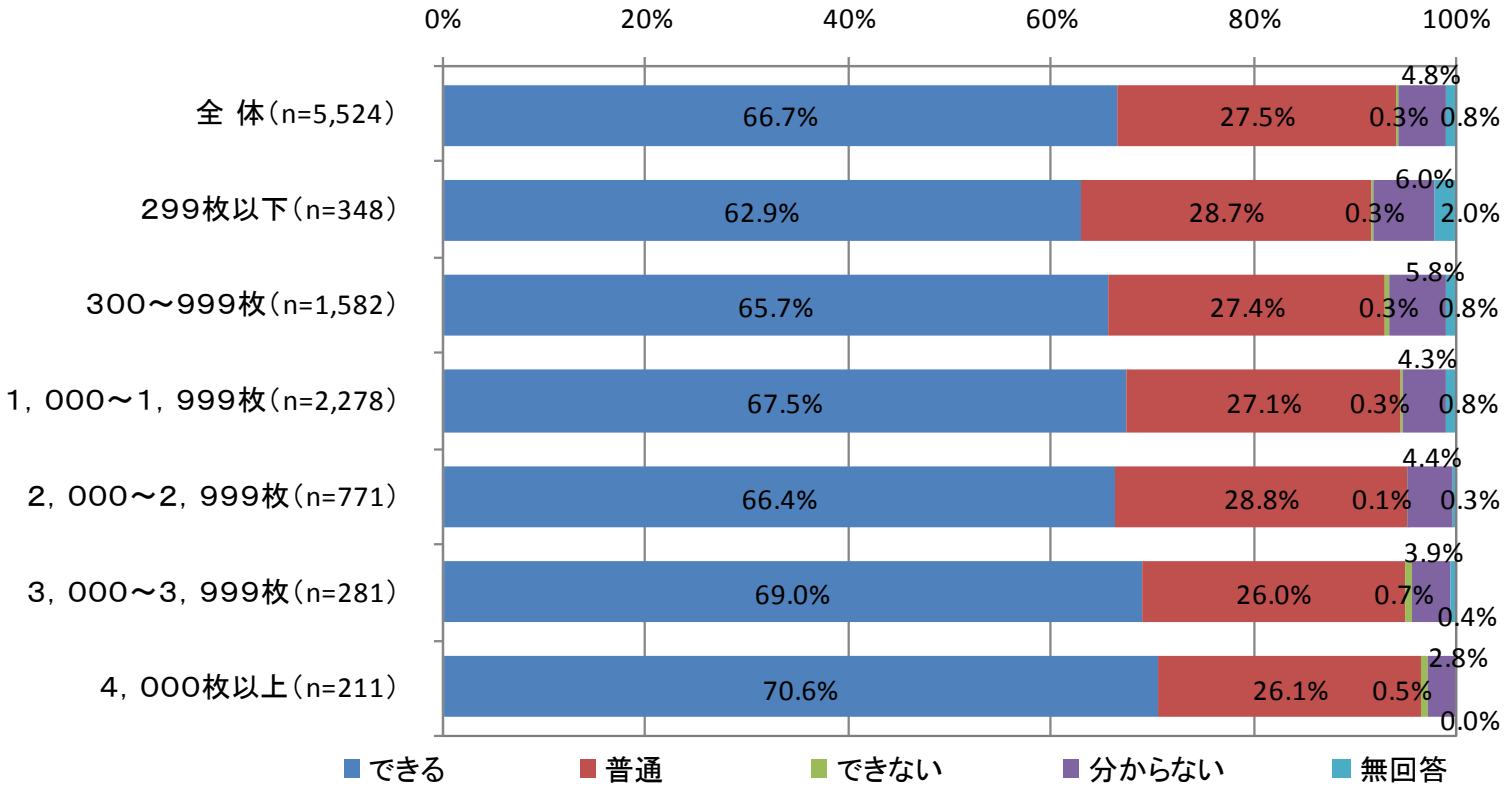


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（2/9）

②　正確な情報を入手できるか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

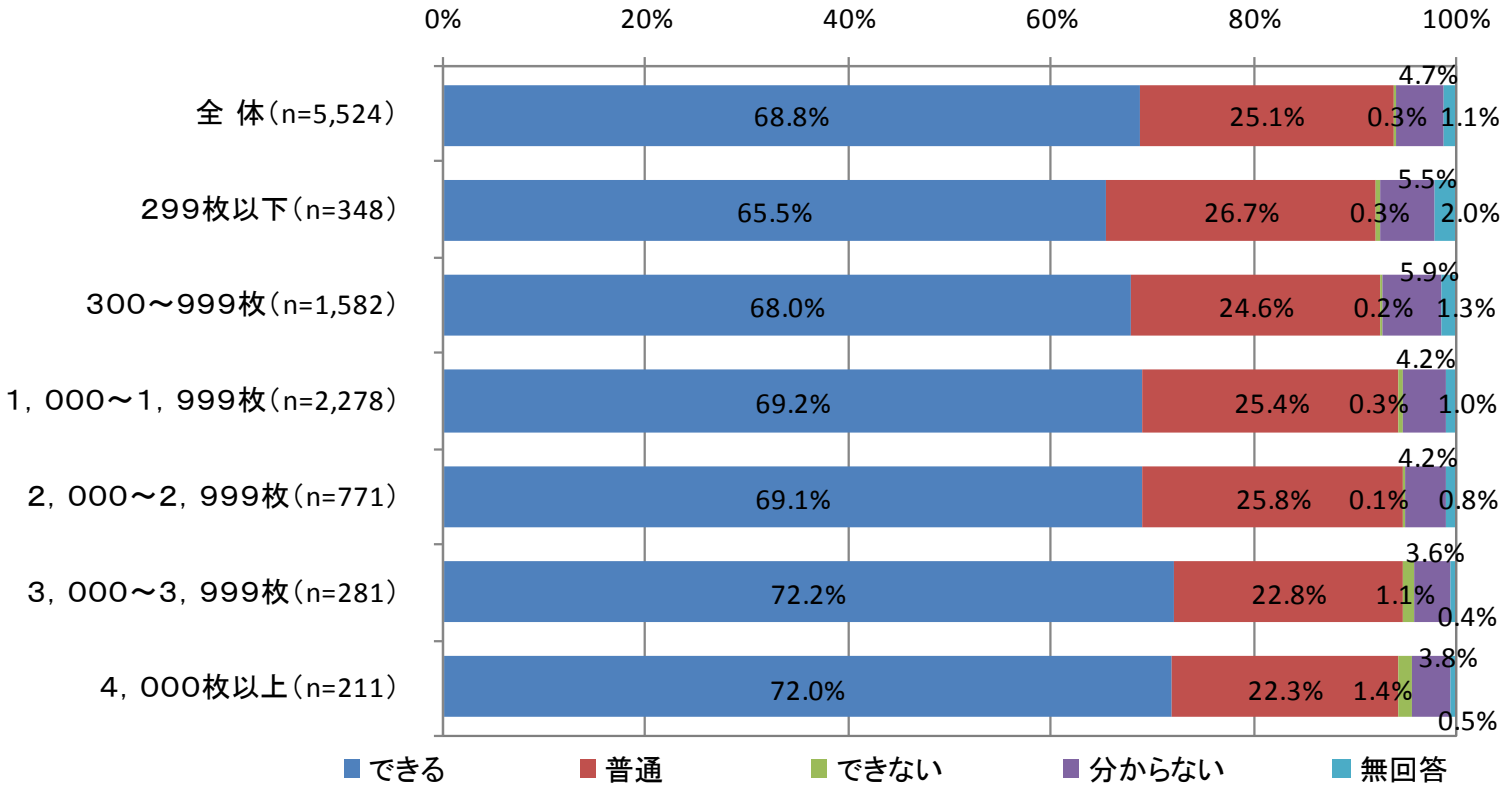


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（3/9）

③　信頼できる情報を入手できるか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

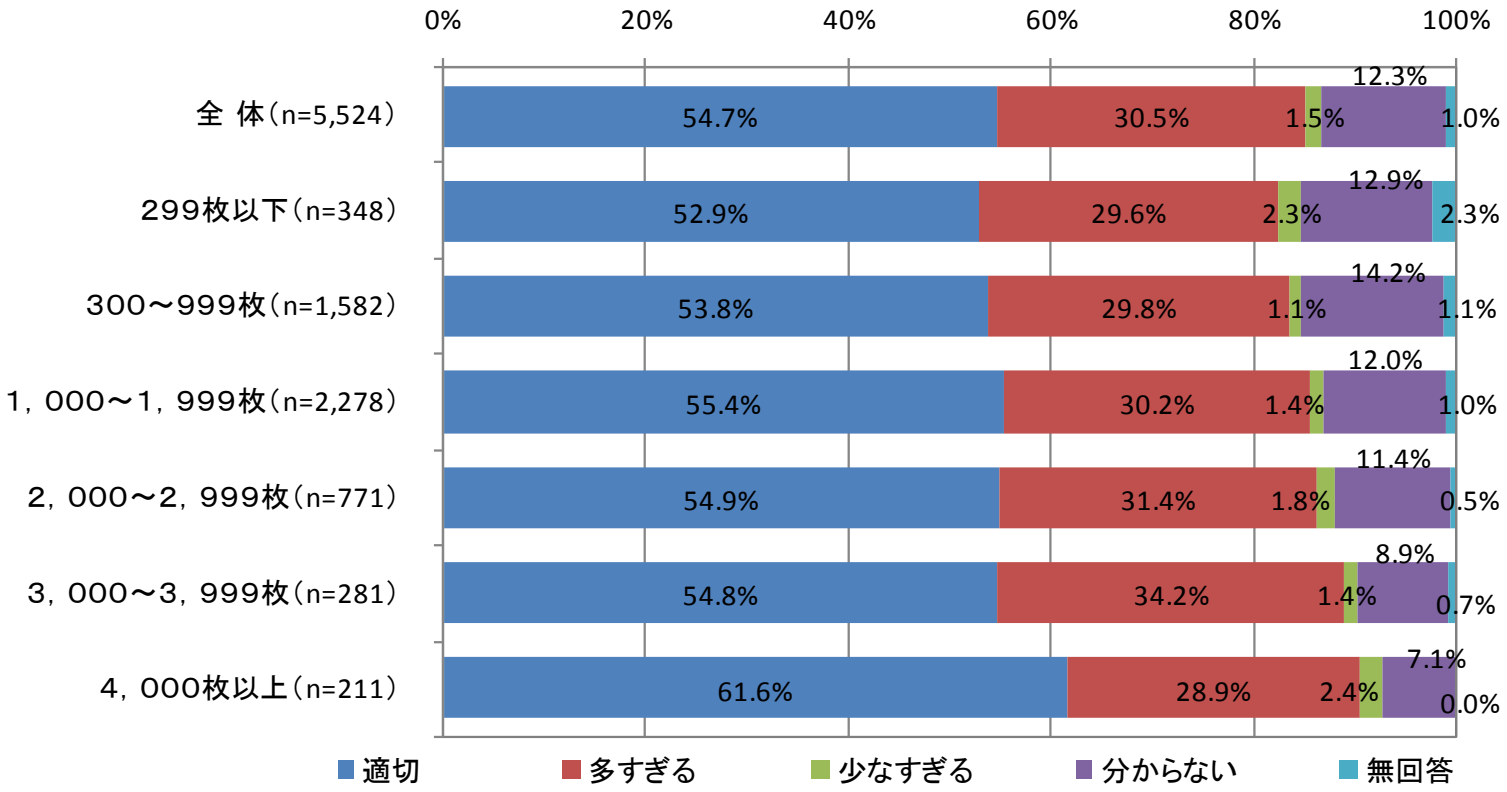


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（4/9）

④　情報量が適切か

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

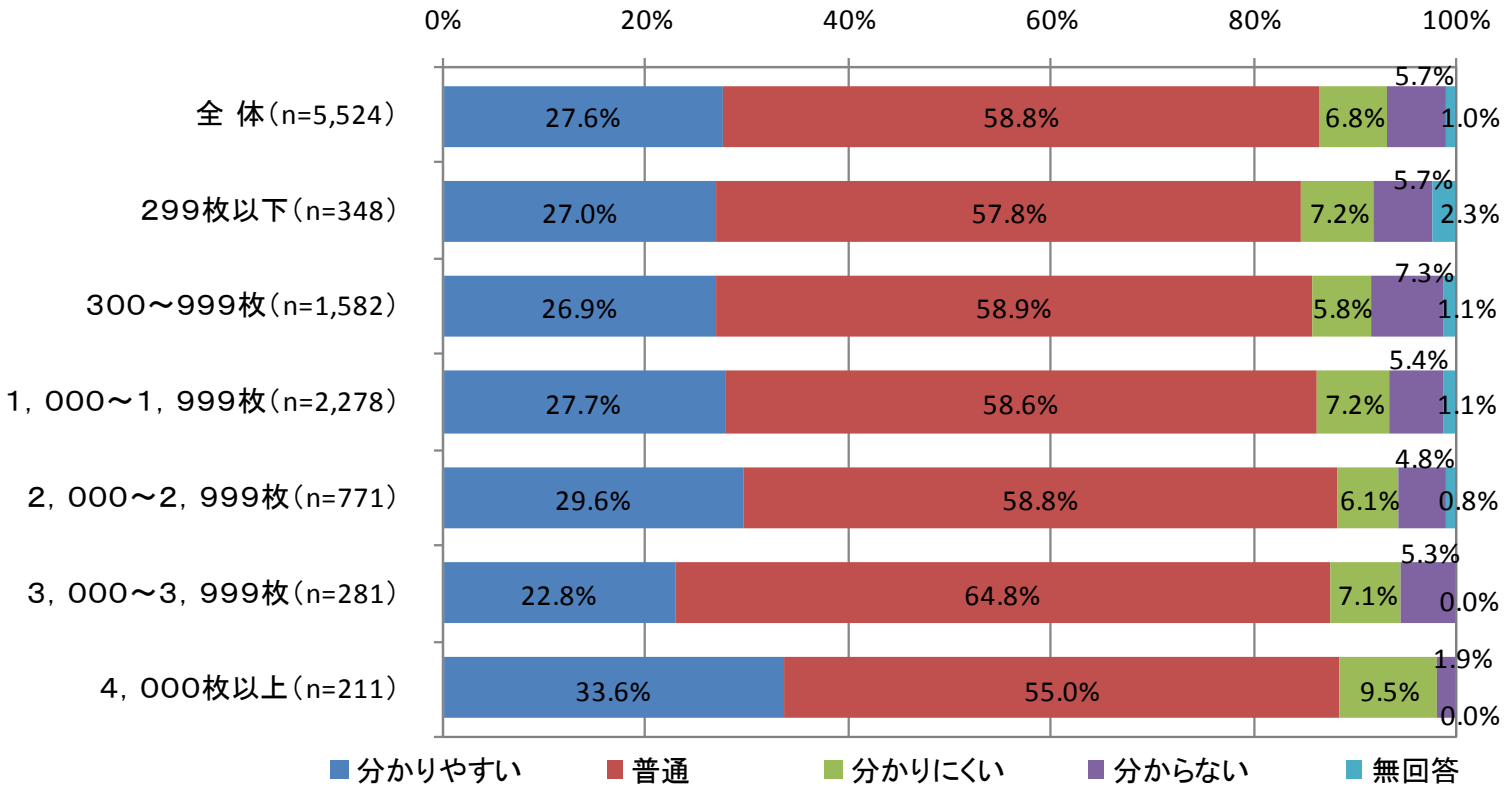


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（5/9）

⑤　情報の内容が分かりやすいか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

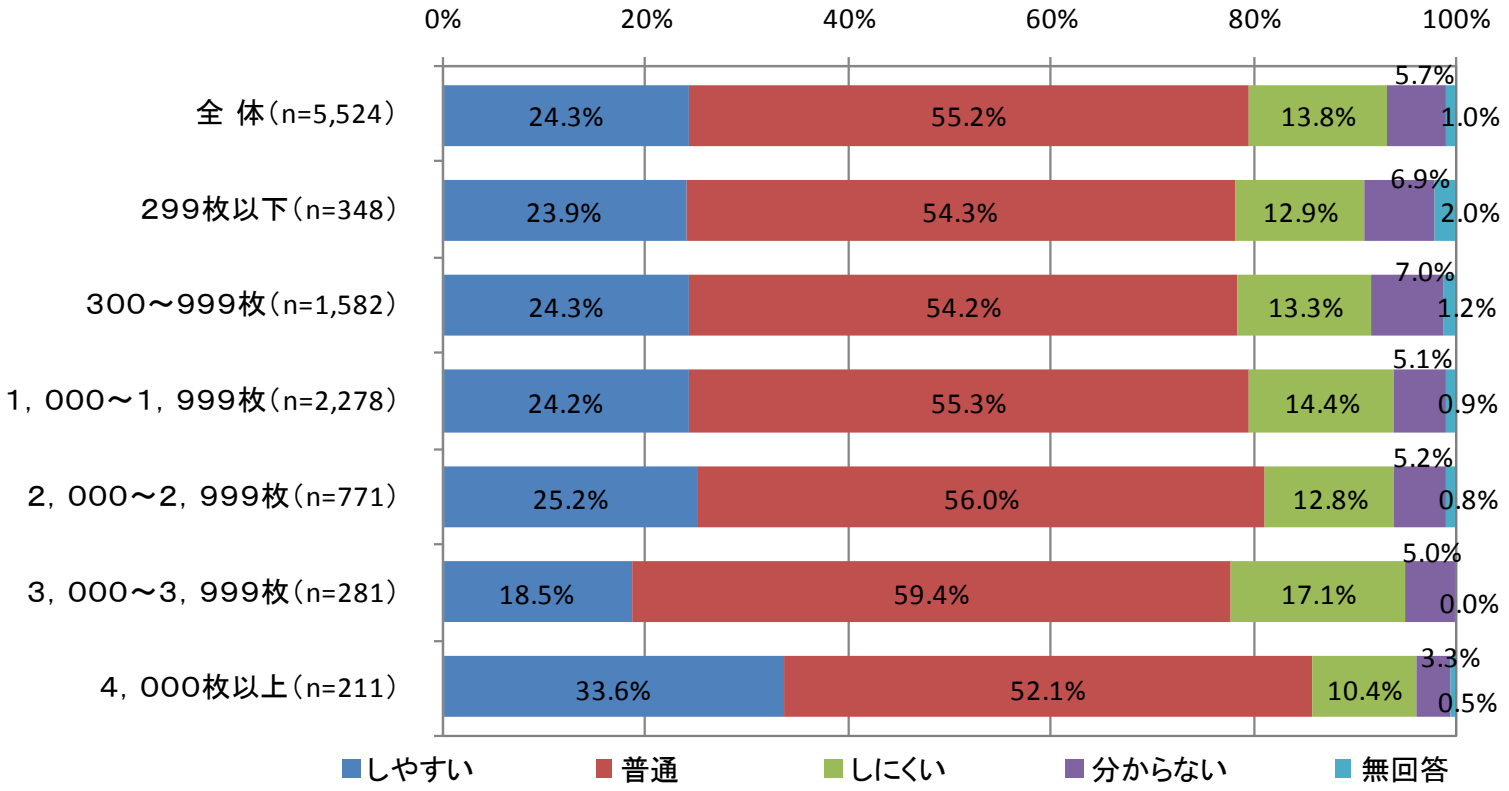


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（6/9）

⑥　情報の重要度が判別しやすいか

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

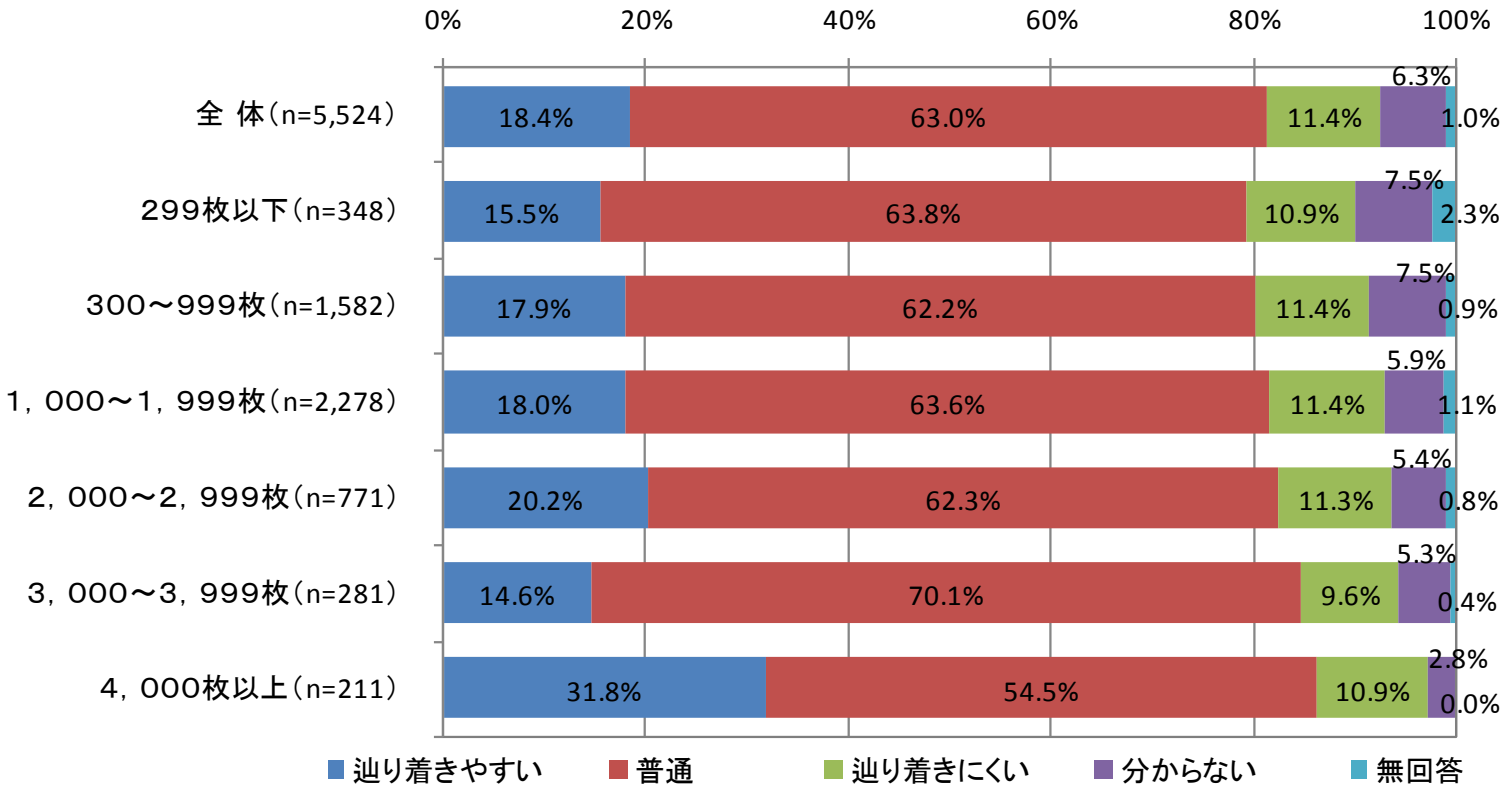


問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（7/9）

⑦　必要な情報に辿り着きやすいか（レイアウトが分かりやすいか）

処方箋応需枚数/月 別

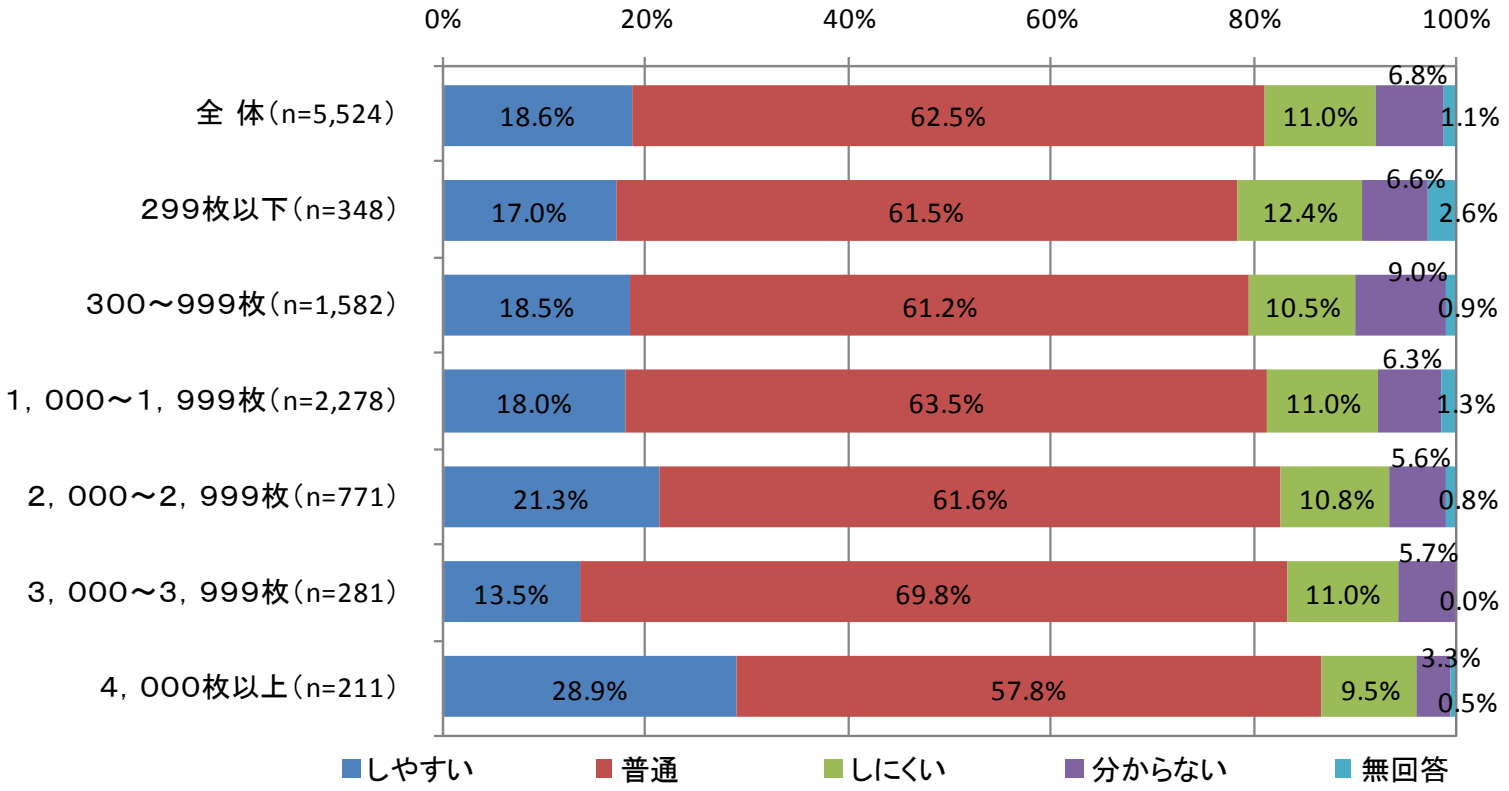
（単数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設



問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（8/9）

⑧　必要な情報を探しやすいか（検索しやすいか）

処方箋応需枚数/月 別　**（単数回答）**　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設



問６－１　PMDAメディナビに対する評価をお答えください。（9/9）

⑨　意見、感想等

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設

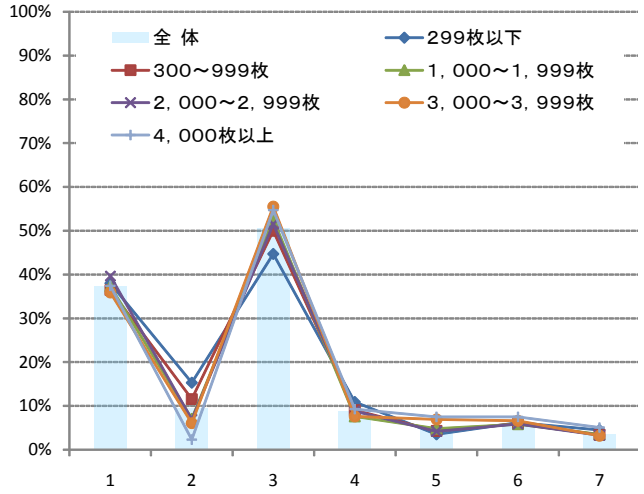
主な意見

- 情報量が多いので、重要なものにマークを付けたり、注意を喚起するような目印をつけて欲しい。
- 最も信頼できる情報源と捉えて頼りにしている。
- 医薬品名、販売名を併記してあると分かりやすい。
- 必要と考えられる内容のメールを選択して受信できる機能は、非常に便利である。

問６－２　これまでPMDAメディナビに登録しなかった・登録していない理由をお答えください。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録していなかったが、今回の調査で知り登録した」/「登録していない」施設

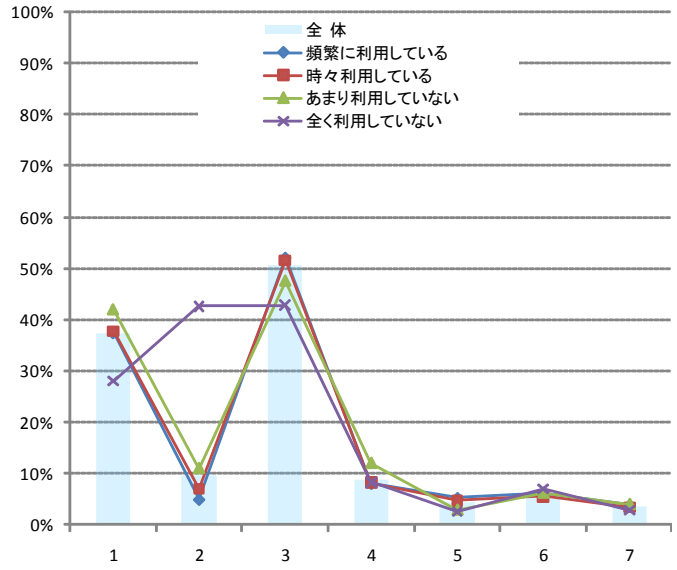


	調査数	PMDAメディナビの存在を知らなかったため	電子メールを利用できる環境がなかったため	他の方法・手段で十分に情報収集ができていたため	登録方法が煩雑であるため	薬局内外の他の担当者（調剤事務、本社の職員等）が登録しているため	その他	無回答
全　体	11,434	37.4%	9.6%	50.6%	8.7%	4.5%	6.0%	3.6%
２９９枚以下	1,543	38.0%	15.3%	44.7%	10.9%	3.5%	6.2%	4.5%
３００～９９９枚	3,574	36.5%	11.6%	50.0%	9.0%	4.3%	6.0%	3.4%
１，０００～１，９９９枚	4,185	37.3%	7.1%	52.5%	7.6%	4.8%	5.8%	3.5%
２，０００～２，９９９枚	1,324	39.7%	6.9%	51.5%	8.8%	4.2%	5.9%	3.3%
３，０００～３，９９９枚	407	35.9%	6.1%	55.5%	7.6%	6.9%	6.6%	3.2%
４，０００枚以上	214	37.4%	2.3%	54.7%	9.3%	7.5%	7.5%	5.1%

問６－２　これまでPMDAメディナビに登録しなかった・登録していない理由をお答えください。（2/2）

問３ インターネット利用状況 別　**（複数回答）**

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録していなかったが、今回の調査で知り登録した」/「登録していない」施設

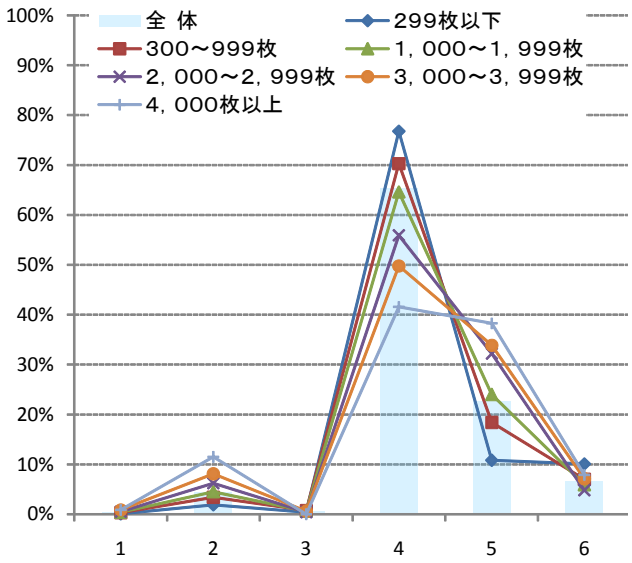


	調査数	PMDAメディナビの存在を知らなかったため	電子メールを利用できる環境がなかったため	他の方法・手段で十分に情報収集ができていたため	登録方法が煩雑であるため	薬局内外の他の担当者（調剤事務、本社の職員等）が登録しているため	その他	無回答
全 体	11,434	37.4%	9.6%	50.6%	8.7%	4.5%	6.0%	3.6%
頻繁に利用している	3,480	37.4%	5.0%	52.0%	8.1%	5.3%	6.3%	3.9%
時々利用している	5,507	37.7%	7.0%	51.6%	8.2%	4.7%	5.5%	3.4%
あまり利用していない	1,536	41.9%	11.0%	47.5%	12.0%	2.9%	6.2%	4.0%
全く利用していない	831	28.0%	42.6%	42.8%	8.3%	2.6%	7.0%	2.8%

問７　医薬品安全管理責任者の方以外に、貴薬局内にPMDAメディナビに登録している方はいますか。

処方箋応需枚数/月 別

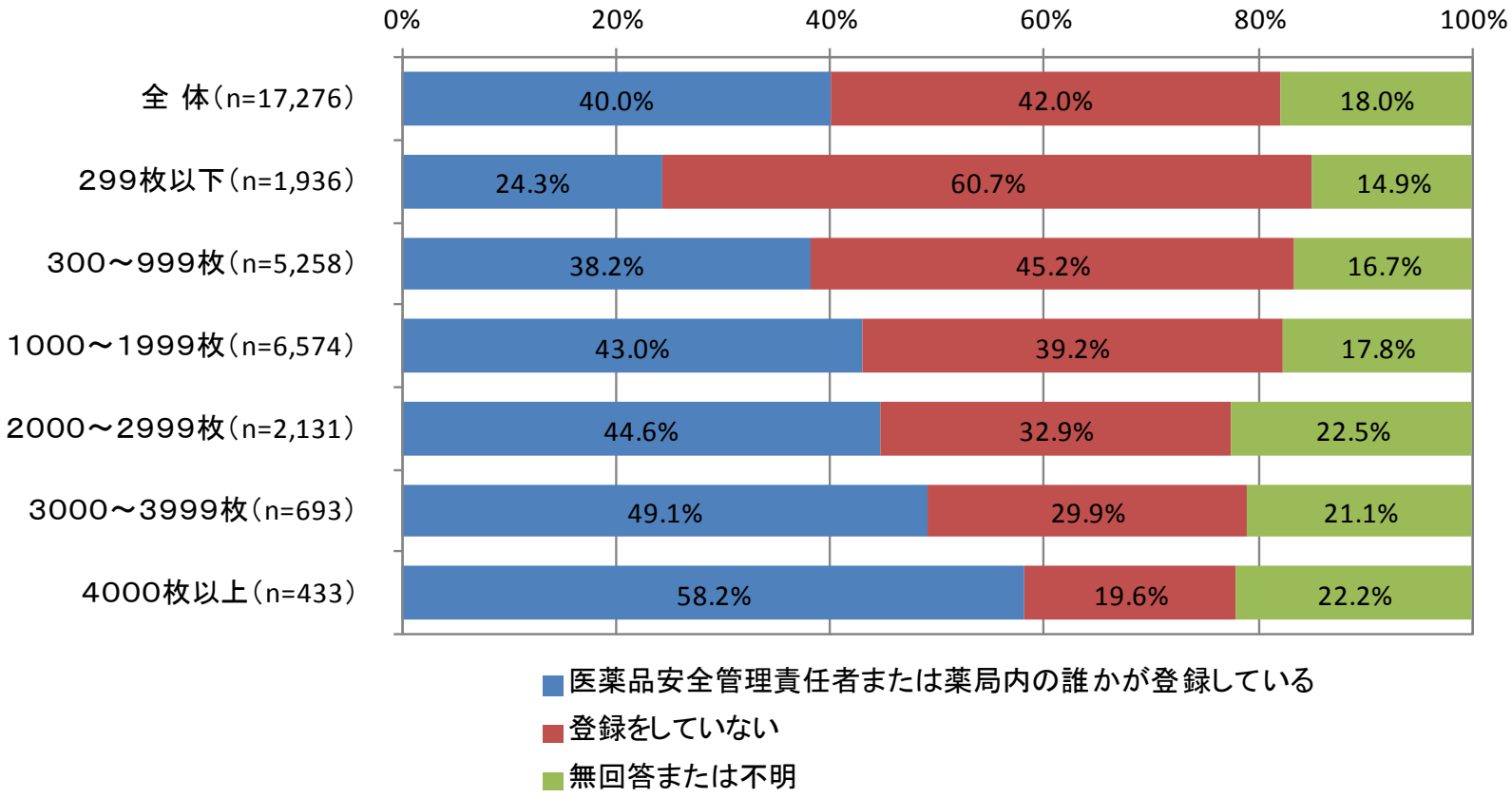
（複数回答）



	調査数	薬局の管理者（管理薬剤師）が登録している	薬局の管理者（管理薬剤師）以外の薬剤師が登録している	薬剤師以外の方（調剤事務等）が登録している	登録している方はいない	分からない	無回答
全　体	17,276	0.4%	4.4%	0.6%	65.4%	22.6%	6.7%
２９９枚以下	1,936	0.1%	1.9%	0.4%	76.8%	10.8%	10.1%
３００～９９９枚	5,258	0.3%	3.4%	0.8%	70.3%	18.4%	7.0%
１，０００～１，９９９枚	6,574	0.4%	4.5%	0.6%	64.6%	24.0%	5.9%
２，０００～２，９９９枚	2,131	0.5%	6.2%	0.4%	55.9%	32.2%	4.8%
３，０００～３，９９９枚	693	0.9%	8.1%	0.6%	49.8%	33.9%	7.1%
４，０００枚以上	433	0.9%	11.5%	0.0%	41.6%	38.3%	7.9%

問６・問７　PMDAメディナビの登録状況（1/2）

処方箋応需枚数/月 別　（単数回答）



問６・問７　PMDAメディナビの登録状況（2/2）

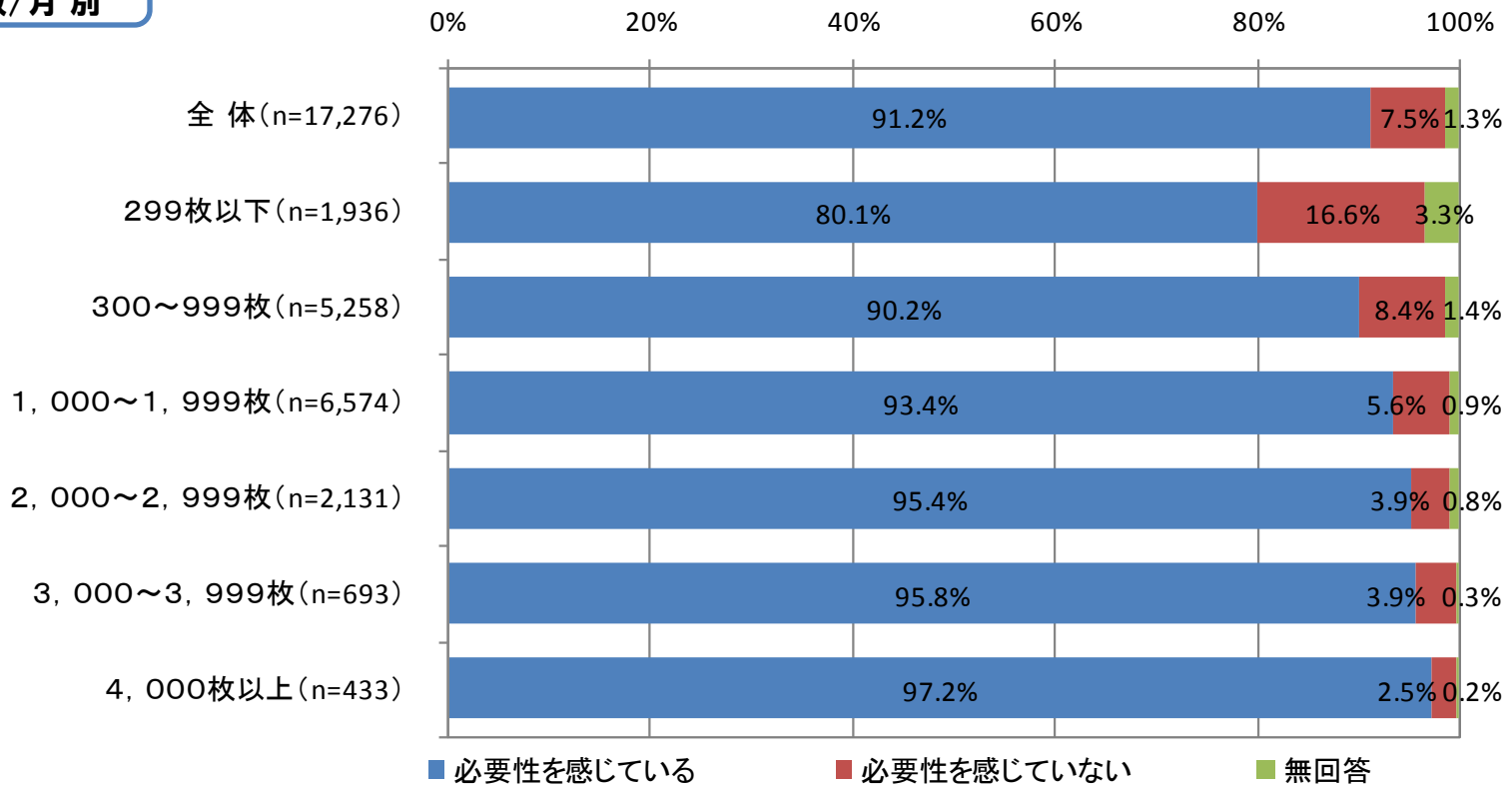
都道府県別　（単数回答）

	医薬品安全管理責任者または薬局内の誰かが登録している	登録をしていない	無回答または不明
全　体（n=17,276）	40.0%	42.0%	18.0%
北海道（n=691）	51.8%	36.9%	11.3%
青森県（n=200）	40.5%	47.5%	12.0%
岩手県（n=185）	36.8%	45.4%	17.8%
宮城県（n=343）	39.7%	44.3%	16.0%
秋田県（n=173）	27.7%	53.2%	19.1%
山形県（n=166）	38.6%	47.0%	14.5%
福島県（n=234）	27.8%	52.1%	20.1%
茨城県（n=360）	44.7%	38.1%	17.2%
栃木県（n=266）	53.8%	31.6%	14.7%
群馬県（n=251）	37.5%	45.0%	17.5%
埼玉県（n=770）	29.7%	47.8%	22.5%
千葉県（n=668）	33.1%	47.3%	19.6%
東京都（n=1,712）	36.3%	42.1%	21.6%
神奈川県（n=1,073）	32.8%	44.4%	22.8%
新潟県（n=350）	42.9%	39.4%	17.7%
富山県（n=124）	67.7%	22.6%	9.7%
石川県（n=127）	72.4%	18.9%	8.7%
福井県（n=82）	41.5%	37.8%	20.7%
山梨県（n=105）	23.8%	54.3%	21.9%
長野県（n=317）	49.5%	36.9%	13.6%
岐阜県（n=325）	37.2%	45.5%	17.2%
静岡県（n=638）	62.5%	28.2%	9.2%
愛知県（n=1,088）	29.2%	46.7%	24.1%
三重県（n=266）	46.6%	38.3%	15.0%
滋賀県（n=164）	28.7%	47.6%	23.8%
京都府（n=270）	53.7%	28.1%	18.1%
大阪府（n=1,079）	27.0%	49.8%	23.3%
兵庫県（n=760）	29.3%	44.5%	26.2%
奈良県（n=164）	53.7%	30.5%	15.9%
和歌山県（n=134）	29.1%	53.0%	17.9%
鳥取県（n=95）	37.9%	46.3%	15.8%
島根県（n=104）	36.5%	46.2%	17.3%
岡山県（n=301）	54.2%	30.9%	15.0%
広島県（n=518）	30.5%	51.4%	18.1%
山口県（n=286）	55.9%	34.6%	9.4%
徳島県（n=107）	33.6%	50.5%	15.9%
香川県（n=156）	38.5%	46.2%	15.4%
愛媛県（n=179）	39.1%	38.5%	22.3%
高知県（n=134）	47.0%	41.0%	11.9%
福岡県（n=939）	61.4%	28.6%	9.9%
佐賀県（n=150）	44.0%	44.7%	11.3%
長崎県（n=231）	40.7%	45.0%	14.3%
熊本県（n=267）	40.1%	46.4%	13.5%
大分県（n=157）	33.8%	42.7%	23.6%
宮崎県（n=186）	50.0%	40.3%	9.7%
鹿児島県（n=256）	44.9%	43.4%	11.7%
沖縄県（n=125）	32.8%	44.8%	22.4%

問８　業務で医薬品情報を収集するにあたり、インターネットや電子メールを活用することについて必要性を感じていますか。

処方箋応需枚数/月 別

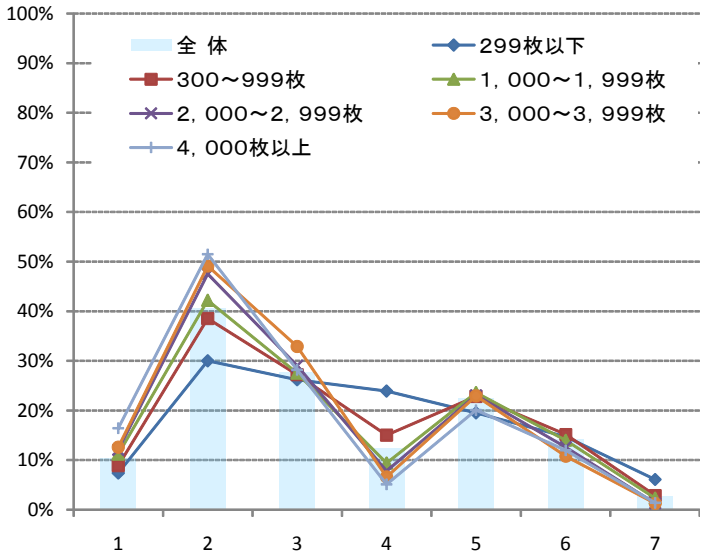
（単数回答）



問９　業務でインターネットや電子メールを活用するにあたり、問題となっていることがありますか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

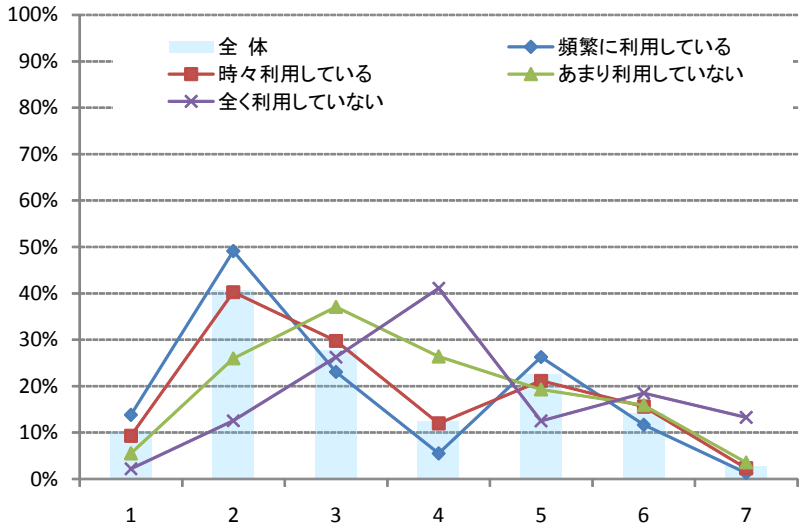
（複数回答）



	調査数	情報を出す側（PMDA、製薬企業のホームページやDIサービス）が十分に整備されていない	インターネットに氾濫している情報の信憑性の判断が難しい	情報を受ける側（薬局のスタッフ）の情報活用のノウハウが不足している	インターネットや電子メールに詳しい職員がいない	その他	特に問題はない	無回答
全　体	17,276	10.3%	40.7%	27.7%	12.4%	22.5%	14.2%	2.8%
２９９枚以下	1,936	7.4%	30.0%	26.2%	23.9%	19.5%	14.7%	6.1%
３００～９９９枚	5,258	8.9%	38.5%	27.2%	15.0%	22.8%	15.2%	2.9%
１，０００～１，９９９枚	6,574	11.2%	42.2%	27.5%	9.4%	23.6%	14.0%	2.3%
２，０００～２，９９９枚	2,131	12.1%	47.5%	29.0%	7.8%	23.1%	12.6%	1.3%
３，０００～３，９９９枚	693	12.6%	49.1%	32.9%	6.6%	22.9%	10.8%	1.3%
４，０００枚以上	433	16.4%	51.5%	28.2%	5.1%	20.1%	12.0%	1.4%

問９　業務でインターネットや電子メールを活用するにあたり、問題となっていることがありますか。（2/2）

問３ インターネット利用状況 別　（複数回答）



	調査数	情報を出す側（PMDA、製薬企業のホームページやDIサービス）が十分に整備されていない	インターネットに氾濫している情報の信憑性の判断が難しい	情報を受ける側（薬局のスタッフ）の情報活用のノウハウが不足している	インターネットや電子メールに詳しい職員がいない	その他	特に問題はない	無回答
全　体	17,276	10.3	40.7	27.7	12.4	22.5	14.2	2.8
頻繁に利用している	6,676	13.8	49.1	23.1	5.5	26.3	11.7	1.3
時々利用している	7,818	9.3	40.3	29.8	12	21.2	15.6	2.3
あまり利用していない	1,789	5.5	26	37.1	26.4	19.3	15.9	3.6
全く利用していない	863	2.2	12.6	26.3	41.1	12.5	18.5	13.3

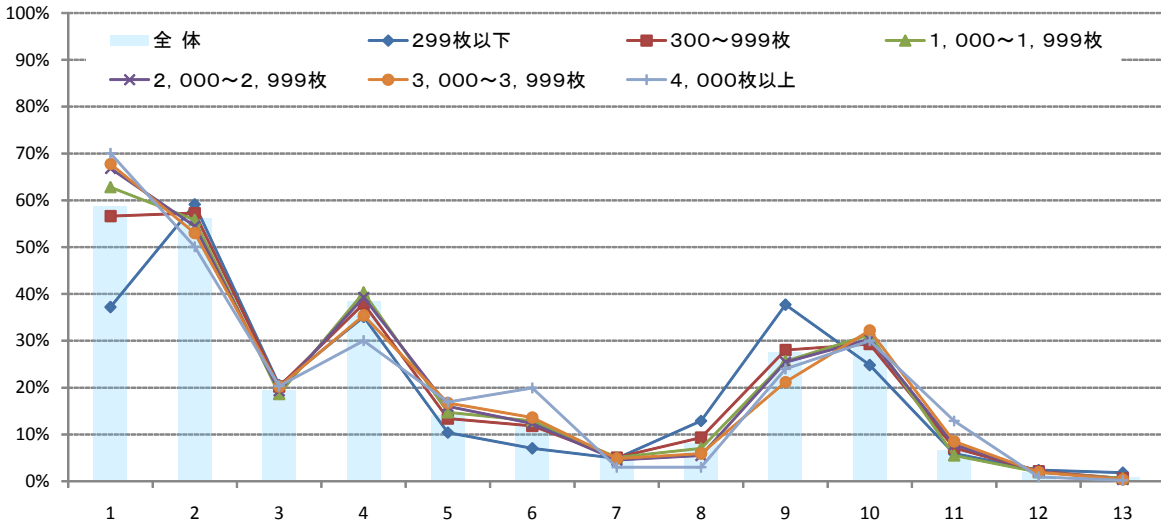
Ⅰ　安全性情報全般に関する調査

２　医薬品の安全性情報の入手・伝達・活用方法について

問１０　日常的に、医薬品の「使用上の注意の改訂」など、安全性に関する更新情報を入手するための情報源として、積極的に活用しているものは何ですか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）
※３つまで

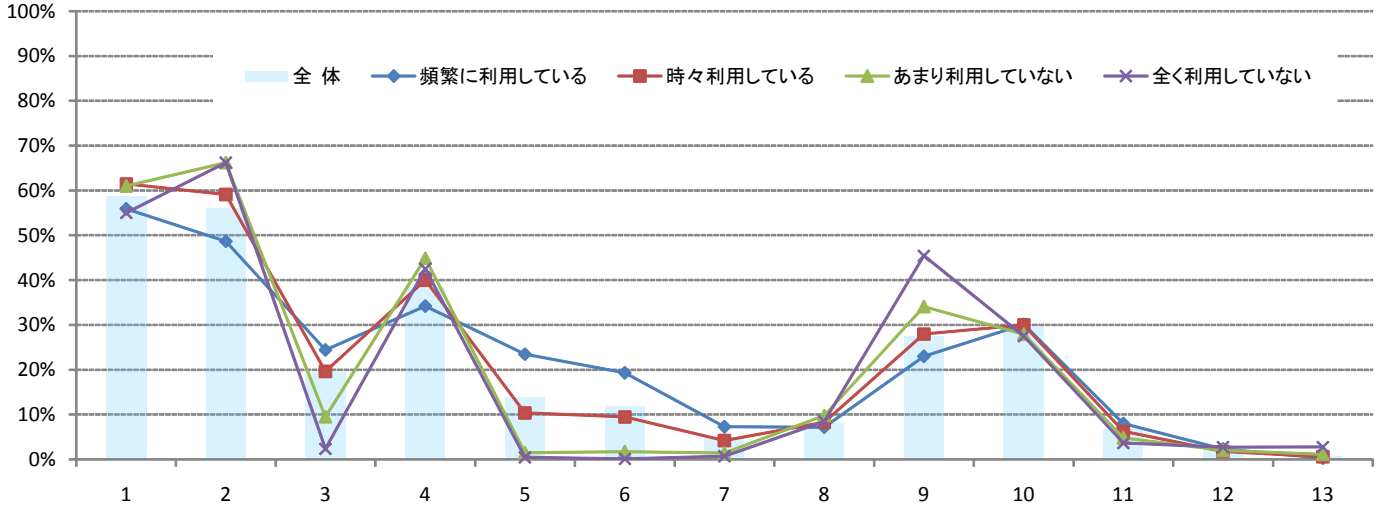


	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（ＭＲ）	製薬企業のダイレクトメール（ＤＭ）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（ＭＳ）	医薬品医療機器総合機構（ＰＭＤＡ）のホームページ	ＰＭＤＡメディナビ	製薬企業、ＰＭＤＡ以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	ＤＳＵ（Ｄｒｕｇ Ｓａｆｅｔｙ Ｕｐｄａｔｅ、日本製薬団体連合会発行）	薬局外の管理部門等（チェーン形態の場合、その本部等）からの連絡（電子メール等）	その他	無回答
全　体	17,276	58.8%	56.1%	19.5%	38.4%	14.0%	11.9%	4.9%	8.1%	27.5%	29.6%	6.7%	2.0%	0.8%
２９９枚以下	1,936	37.2%	59.1%	20.5%	35.1%	10.4%	7.0%	4.9%	12.9%	37.7%	24.8%	5.9%	2.4%	1.8%
３００～９９９枚	5,258	56.6%	57.3%	20.2%	37.9%	13.4%	11.8%	5.1%	9.3%	28.0%	29.3%	7.1%	2.1%	0.6%
１，０００～１，９９９枚	6,574	62.8%	55.8%	18.6%	40.3%	14.7%	12.9%	5.1%	7.0%	25.6%	31.3%	5.5%	1.9%	0.6%
２，０００～２，９９９枚	2,131	66.8%	54.5%	19.3%	39.3%	16.0%	12.3%	4.5%	5.5%	25.4%	30.3%	7.8%	2.0%	0.4%
３，０００～３，９９９枚	693	67.8%	53.0%	20.2%	35.4%	16.7%	13.6%	4.8%	5.9%	21.2%	32.2%	8.5%	1.9%	0.4%
４，０００枚以上	433	70.0%	50.1%	20.3%	30.0%	16.9%	19.9%	3.0%	3.0%	24.0%	30.0%	12.9%	0.9%	0.2%

問１０　日常的に、医薬品の「使用上の注意の改訂」など、安全性に関する更新情報を入手するための情報源として、積極的に活用しているものは何ですか。（2/2）

問３ インターネット利用状況 別

（複数回答）
※３つまで



	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（ＭＲ）	製薬企業のダイレクトメール（ＤＭ）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（ＭＳ）	医薬品医療機器総合機構（ＰＭＤＡ）のホームページ	ＰＭＤＡメディナビ	製薬企業、ＰＭＤＡ以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	ＤＳＵ（Ｄｒｕｇ Ｓａｆｅｔｙ Ｕｐｄａｔｅ、日本製薬団体連合会発行）	薬局外の管理部門等からの連絡（電子メール等）	その他	無回答
全　体	17,276	58.8%	56.1%	19.5%	38.4%	14.0%	11.9%	4.9%	8.1%	27.5%	29.6%	6.7%	2.0%	0.8%
頻繁に利用している	6,676	55.9%	48.7%	24.4%	34.2%	23.5%	19.3%	7.3%	7.2%	23.0%	30.1%	8.0%	2.3%	0.3%
時々利用している	7,818	61.5%	59.1%	19.6%	40.0%	10.4%	9.5%	4.2%	8.3%	28.0%	30.0%	6.3%	1.8%	0.6%
あまり利用していない	1,789	61.0%	66.2%	9.5%	44.9%	1.5%	1.7%	1.4%	9.8%	34.1%	27.9%	4.8%	2.0%	1.1%
全く利用していない	863	55.0%	66.2%	2.4%	42.5%	0.5%	0.1%	0.7%	8.5%	45.5%	27.5%	3.7%	2.7%	2.8%

問１１　問１０の選択肢にある情報源に関して感じておられることや問題となっていることがあれば、ご自由にご記入ください。

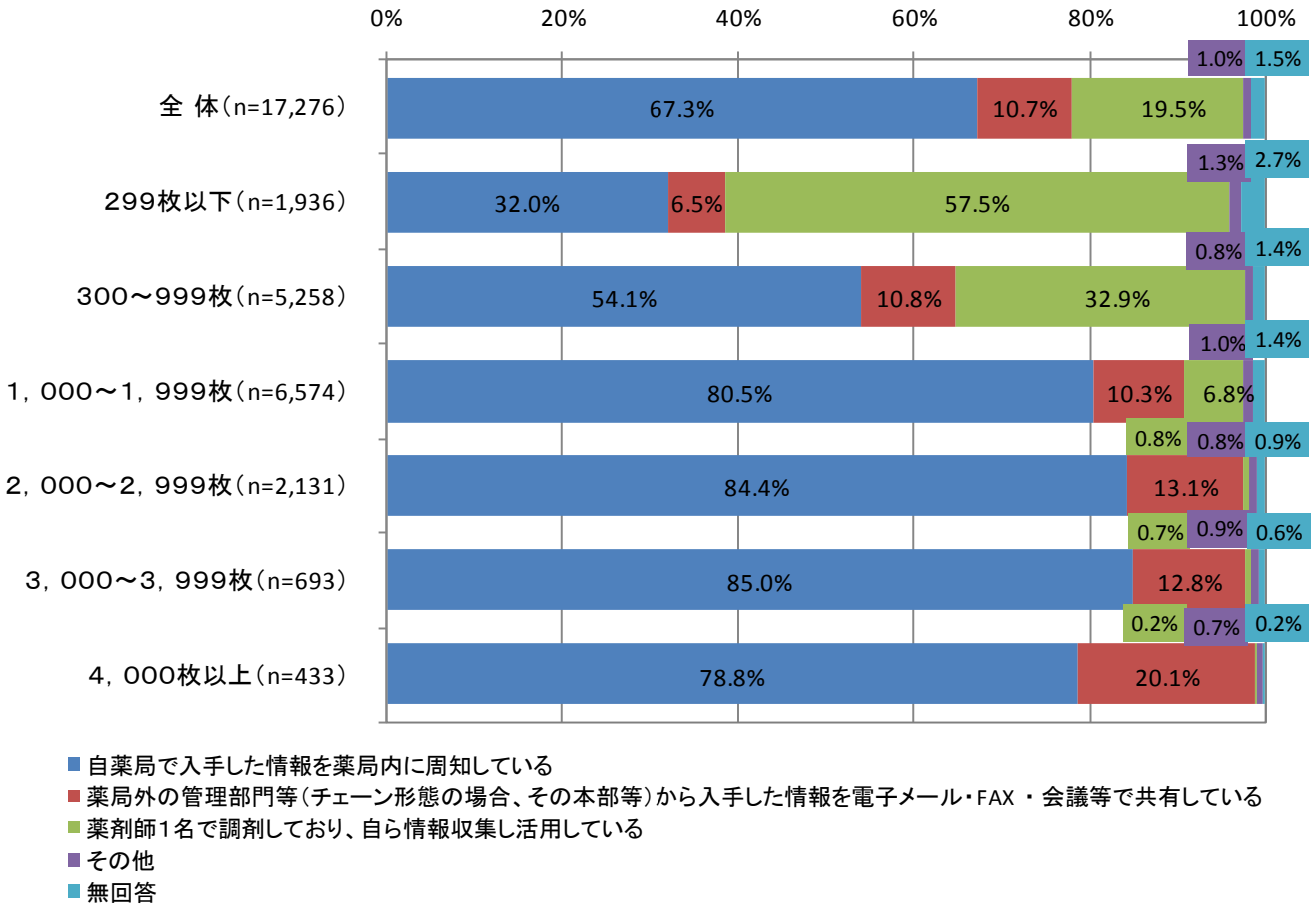
主な意見

- 薬剤師会から発行されている情報は、現場の薬剤師目線でまとめられており非常に使いやすい。担当MRからの情報は、医師の考えを知る機会となり臨機応変に対応できる点で有益である。
- メーカーや担当者によってMRの訪問頻度に差があることが課題である。
- 保険適応外の使用例や国内未許可の薬剤であるが海外では使用されているものなどの情報が欲しい。時々調べる必要がでてくるが、インターネット上で流されている情報は、個人が情報発信元である場合が多く、どの程度正しいのか判断しにくい。
- 情報源が複数ある為に見解が異なり、結果として医師に情報提供する場合に多少苦労することがある。医師側の情報源とも異なる場合があるので情報源の共有化が重要であると感じている。

問１２　安全性に関する情報の入手・伝達・活用の体制について、最も当てはまるものに○をつけてください。（1/2）

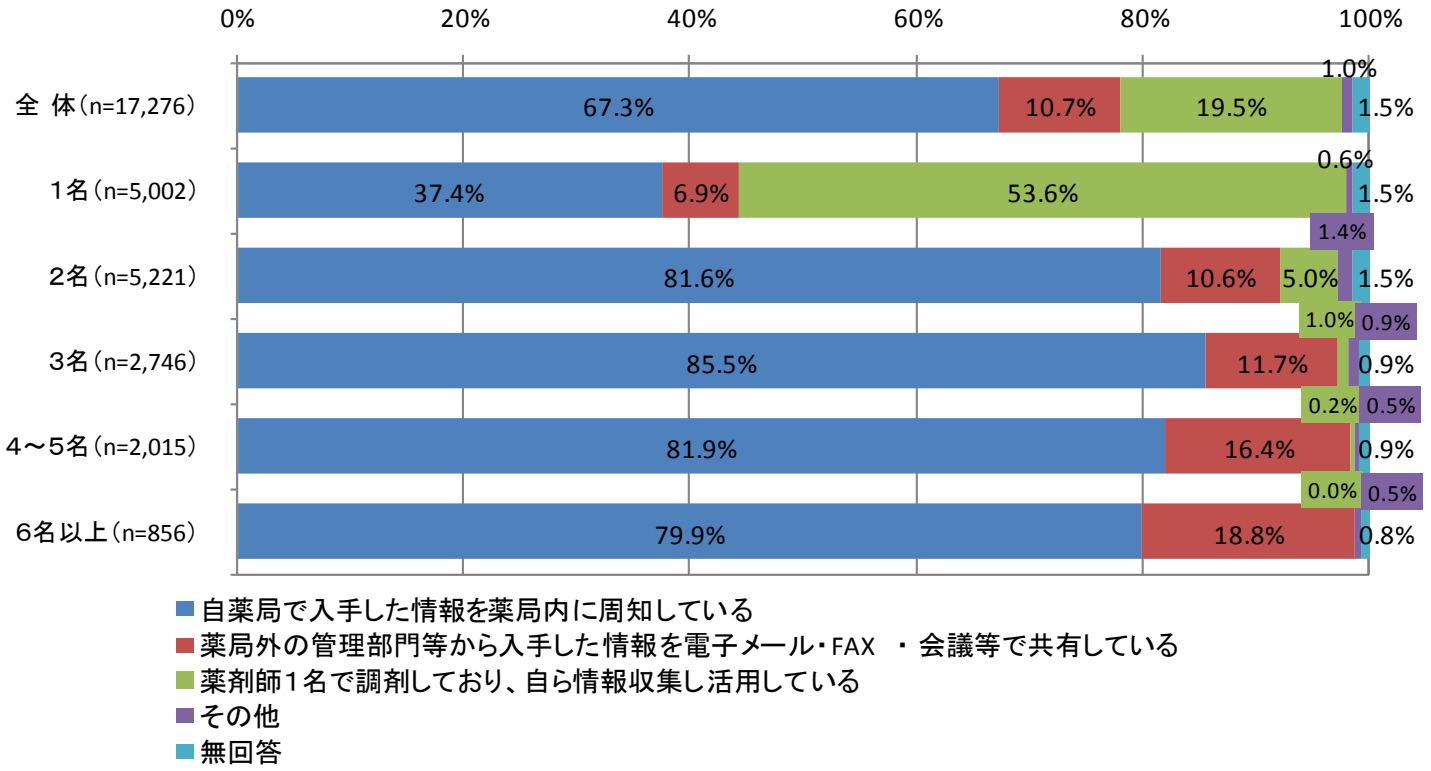
処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）



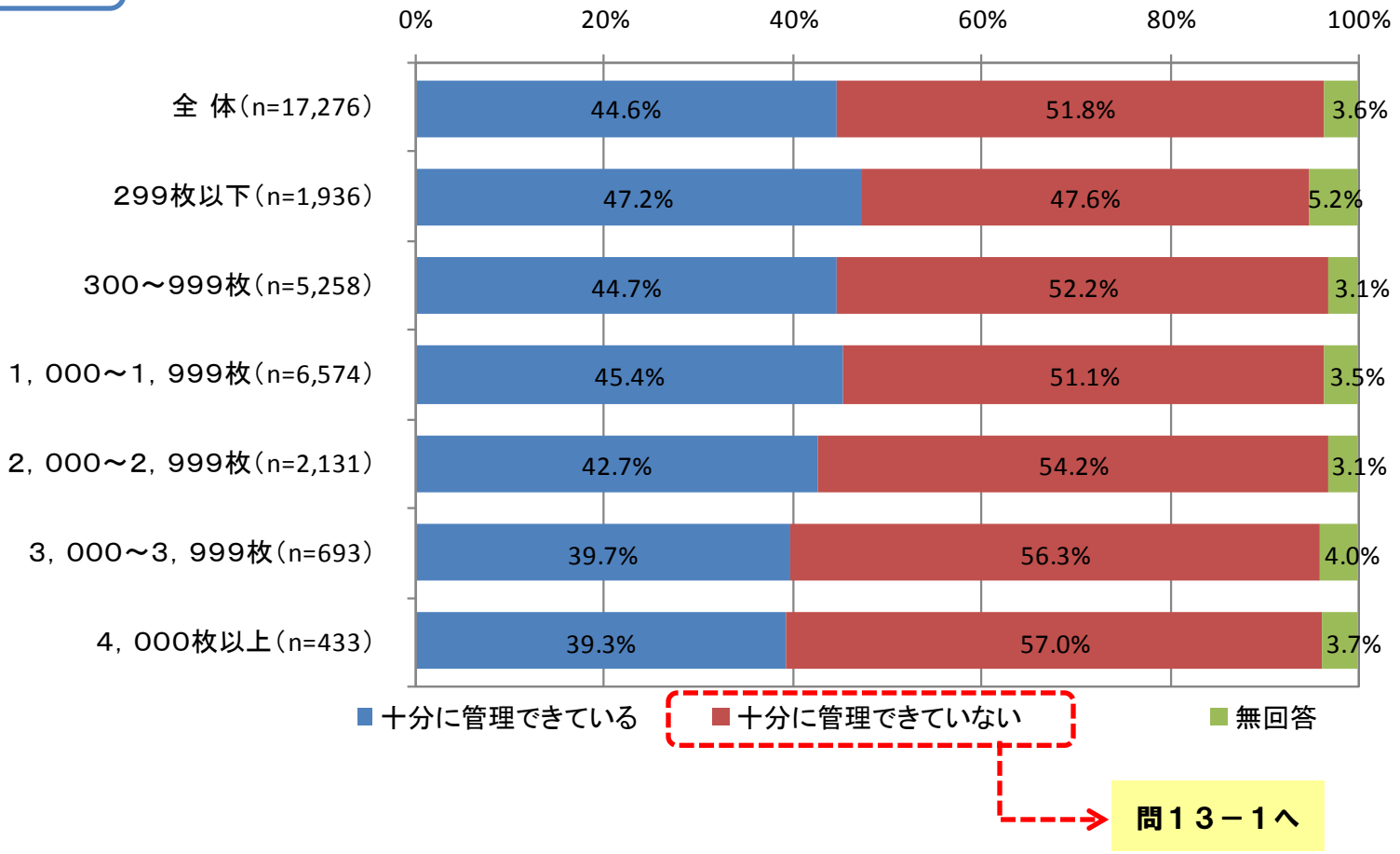
問１２　安全性に関する情報の入手・伝達・活用の体制について、最も当てはまるものに○をつけてください。（2/2）

薬剤師数別（常勤換算）　（単数回答）



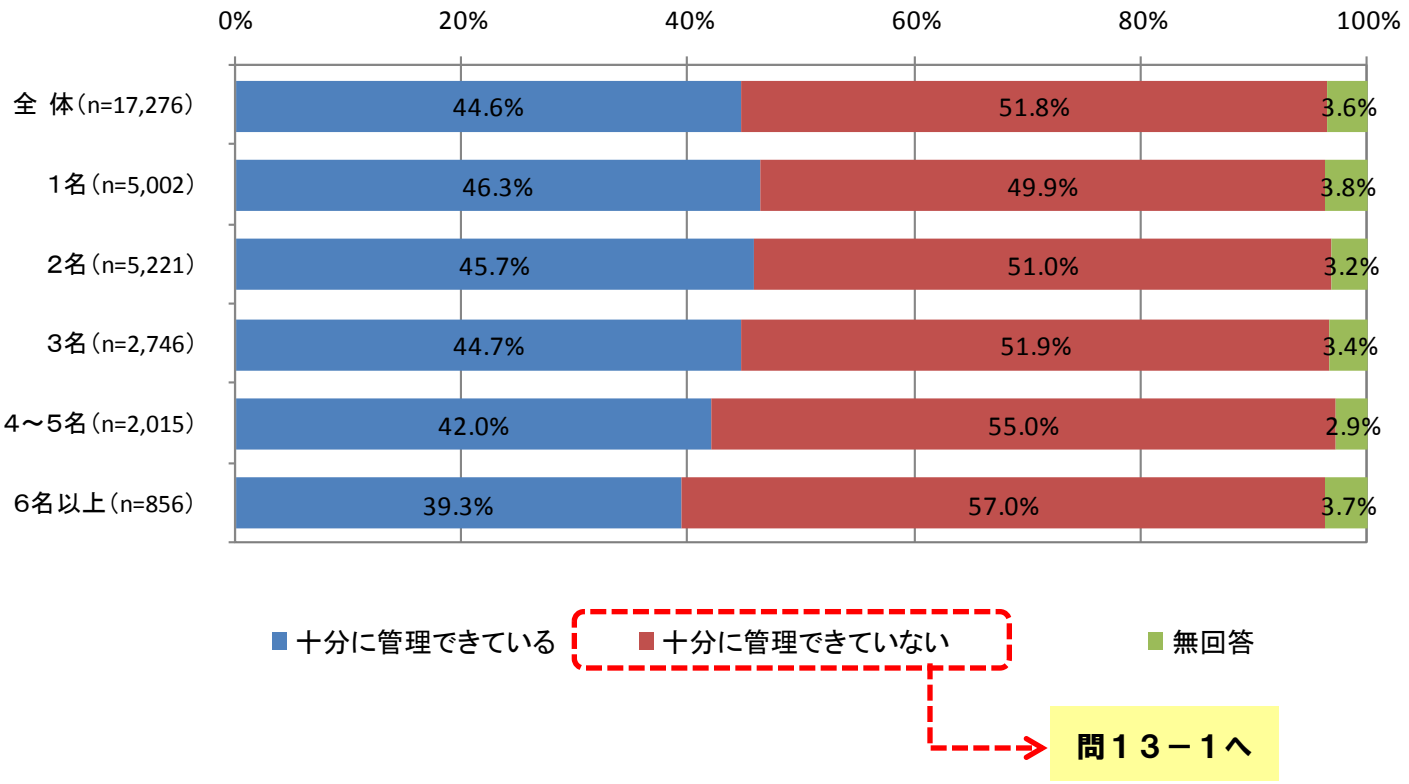
問１３　貴薬局で常時在庫している医薬品の安全性情報の管理について、十分にできていると思いますか。（1/3）

処方箋応需枚数/月 別　（単数回答）



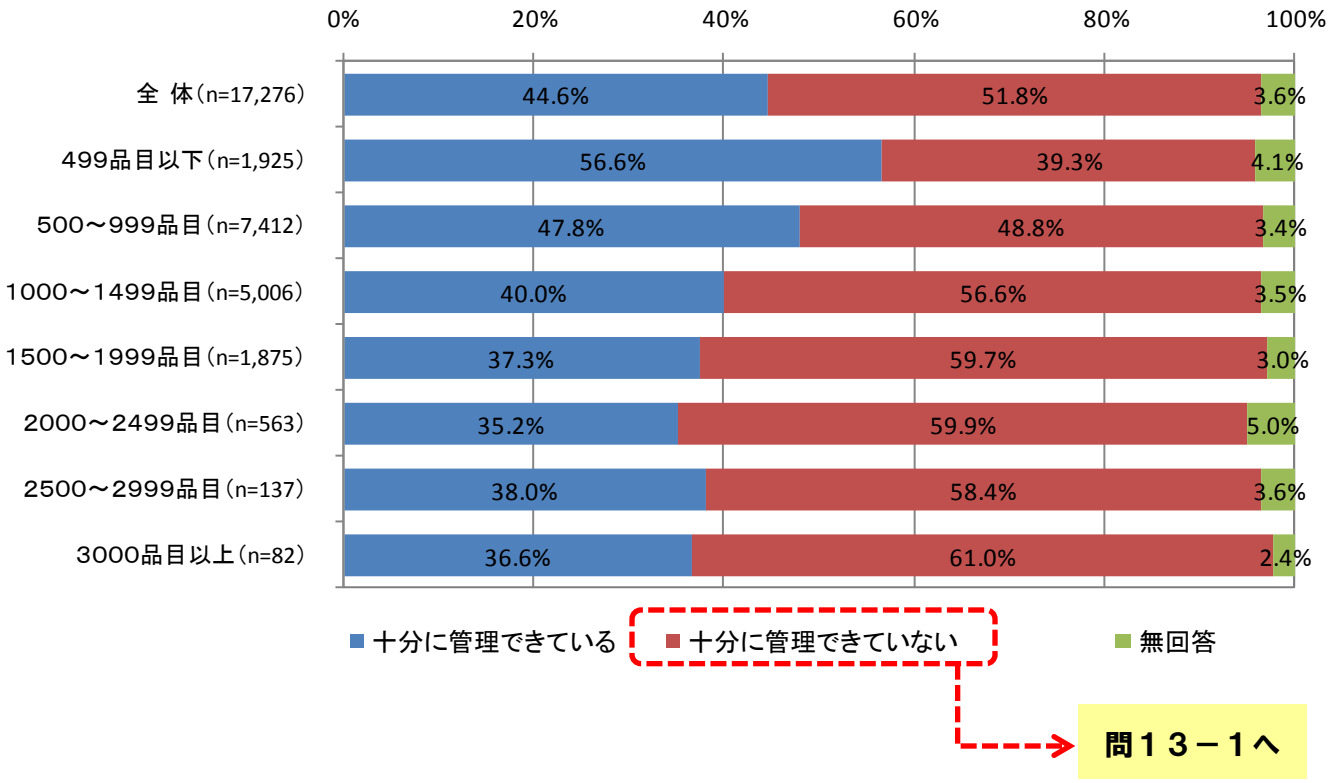
問１３　貴薬局で常時在庫している医薬品の安全性情報の管理について、十分にできていると思いますか。（2/3）

薬剤師数別（常勤換算）　（単数回答）



問１３　貴薬局で常時在庫している医薬品の安全性情報の管理について、十分にできていると思いますか。（3/3）

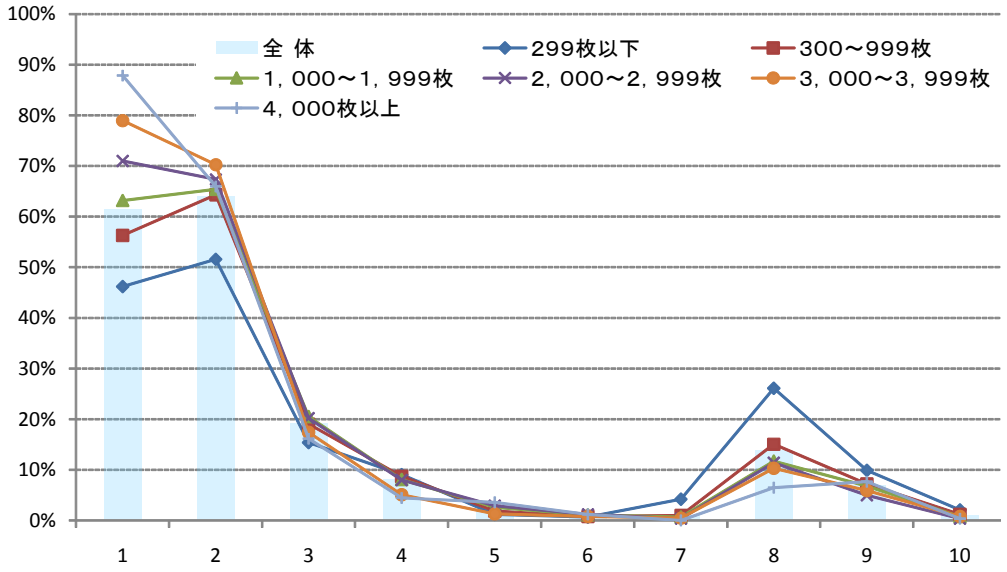
常時在庫医療用医薬品数別　（単数回答）



問１３－１　十分に管理できていないと思う理由をお答えください。（1/3）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：常時在庫している医薬品の安全性情報の管理について「十分に管理できていない」と思う施設

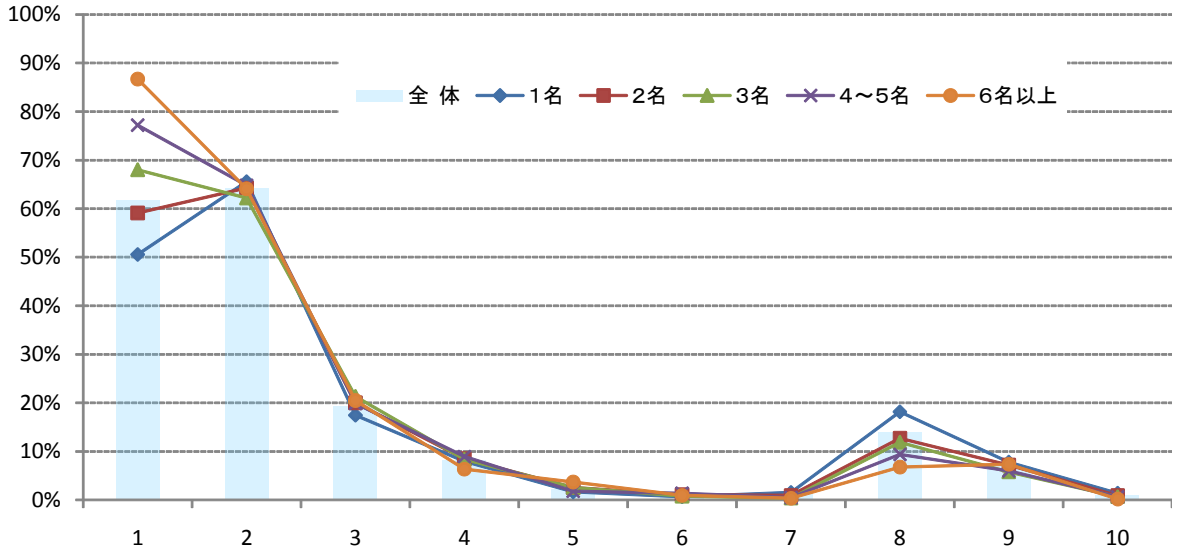


	調査数	扱う医薬品の数が多いため	調剤業務で手いっぱいであり、人員不足のため	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）から十分に情報提供されないため	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）から十分に情報提供されないため	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）に要求しても情報が提供されないため	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）に要求しても情報が提供されないため	安全性情報の管理は処方する病院・診療所等に任せているため	インターネットや電子メールを活用できていないため	その他	無回答
全　体	8,942	61.6%	64.1%	19.2%	8.1%	2.2%	0.9%	1.1%	14.0%	7.0%	1.0%
２９９枚以下	922	46.2%	51.6%	15.4%	9.1%	1.2%	0.7%	4.2%	26.1%	9.9%	2.1%
３００～９９９枚	2,745	56.3%	64.3%	19.1%	8.7%	1.9%	0.8%	1.0%	15.1%	7.2%	1.2%
１，０００～１，９９９枚	3,357	63.2%	65.4%	20.5%	8.1%	2.6%	1.1%	0.7%	11.7%	6.8%	0.8%
２，０００～２，９９９枚	1,156	71.0%	67.4%	20.2%	8.0%	2.9%	1.2%	0.4%	11.4%	5.0%	0.4%
３，０００～３，９９９枚	390	79.0%	70.3%	17.4%	5.1%	1.3%	0.8%	0.5%	10.3%	5.9%	0.8%
４，０００枚以上	247	87.9%	66.0%	16.2%	4.5%	3.6%	1.2%	0.0%	6.5%	7.7%	0.4%

問１３－１　十分に管理できていないと思う理由をお答えください。（2/3）

薬剤師数別（常勤換算）

（複数回答）　集計対象：常時在庫している医薬品の安全性情報の管理について「十分に管理できていない」と思う施設

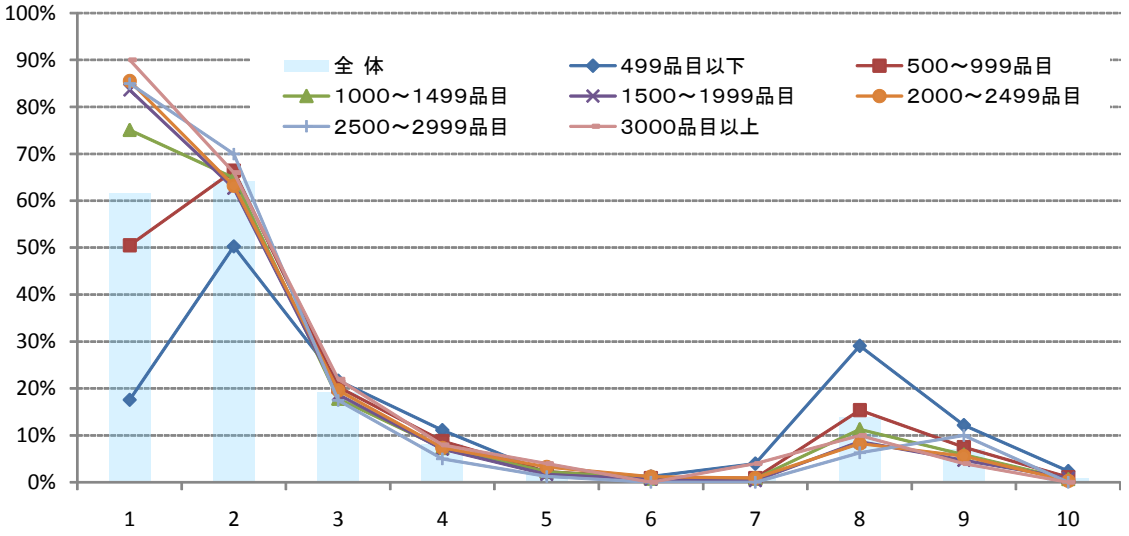


	調査数	扱う医薬品の数が多いため	調剤業務で手いっぱいであり、人員不足のため	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）から十分に情報提供されないため	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）から十分に情報提供されないため	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）に要求しても情報が提供されないため	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）に要求しても情報が提供されないため	安全性情報の管理は処方する病院・診療所等に任せているため	インターネットや電子メールを活用できていないため	その他	無回答
全　体	8,942	61.6%	64.1%	19.2%	8.1%	2.2%	0.9%	1.1%	14.0%	7.0%	1.0%
１名	2,496	50.6%	65.6%	17.5%	8.0%	1.7%	0.7%	1.6%	18.2%	7.8%	1.4%
２名	2,665	59.1%	64.3%	20.0%	8.5%	2.6%	1.1%	1.0%	12.7%	7.2%	0.9%
３名	1,425	68.0%	62.2%	21.3%	8.4%	2.6%	0.8%	0.4%	11.9%	5.8%	0.7%
４～５名	1,109	77.2%	64.8%	19.9%	9.0%	1.8%	1.4%	0.5%	9.4%	6.0%	0.7%
６名以上	488	86.7%	64.1%	20.5%	6.4%	3.7%	1.0%	0.4%	6.8%	7.4%	0.2%

問１３－１　十分に管理できていないと思う理由をお答えください。(3/3)

常時在庫医療用医薬品数別

（複数回答）　集計対象：常時在庫している医薬品の安全性情報の管理について「十分に管理できていない」と思う施設



	調査数	扱う医薬品の数が多いため	調剤業務で手いっぱいであり、人員不足のため	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）から十分に情報提供されないため	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）から十分に情報提供されないため	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）に要求しても情報が提供されないため	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）に要求しても情報が提供されないため	安全性情報の管理は処方する病院・診療所等に任せているため	インターネットや電子メールを活用できていないため	その他	無回答
全　体	8,942	61.6%	64.1%	19.2%	8.1%	2.2%	0.9%	1.1%	14.0%	7.0%	1.0%
４９９品目以下	756	17.6%	50.3%	21.7%	11.1%	2.0%	1.3%	4.0%	29.1%	12.2%	2.4%
５００～９９９品目	3,619	50.5%	66.4%	20.3%	8.8%	2.3%	1.0%	0.9%	15.4%	7.5%	1.1%
１０００～１４９９品目	2,832	75.1%	64.9%	17.8%	7.3%	2.3%	0.8%	0.8%	11.3%	5.9%	0.7%
１５００～１９９９品目	1,119	83.6%	62.7%	18.7%	7.1%	1.7%	0.7%	0.4%	8.7%	4.7%	0.9%
２０００～２４９９品目	337	85.5%	63.2%	19.6%	7.4%	3.3%	1.2%	0.9%	8.3%	5.6%	0.3%
２５００～２９９９品目	80	85.0%	70.0%	17.5%	5.0%	1.3%	0.0%	0.0%	6.3%	10.0%	0.0%
３０００品目以上	50	90.0%	66.0%	22.0%	8.0%	4.0%	0.0%	4.0%	10.0%	4.0%	0.0%

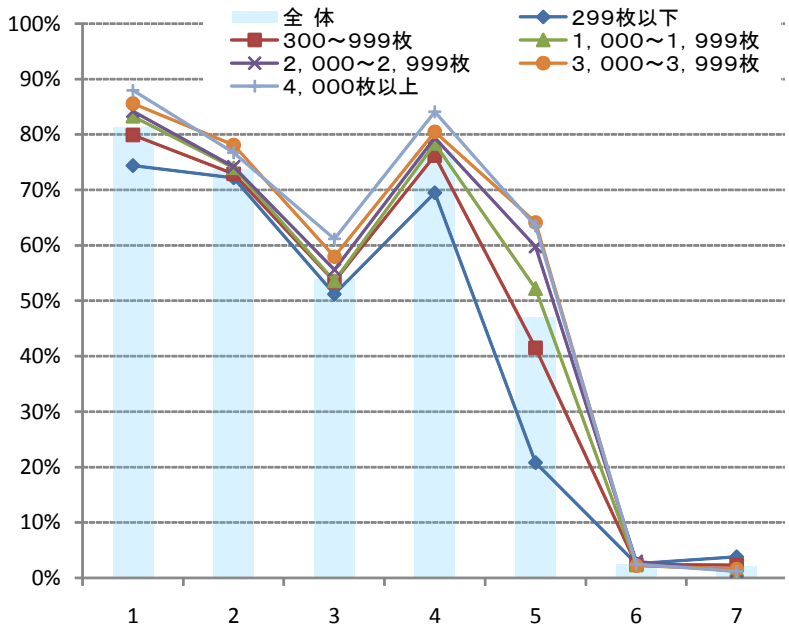
Ⅰ　安全性情報全般に関する調査

３　調剤（処方監査）について

問１４　より良い処方監査を行うために、必要と考えることは何ですか。

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）

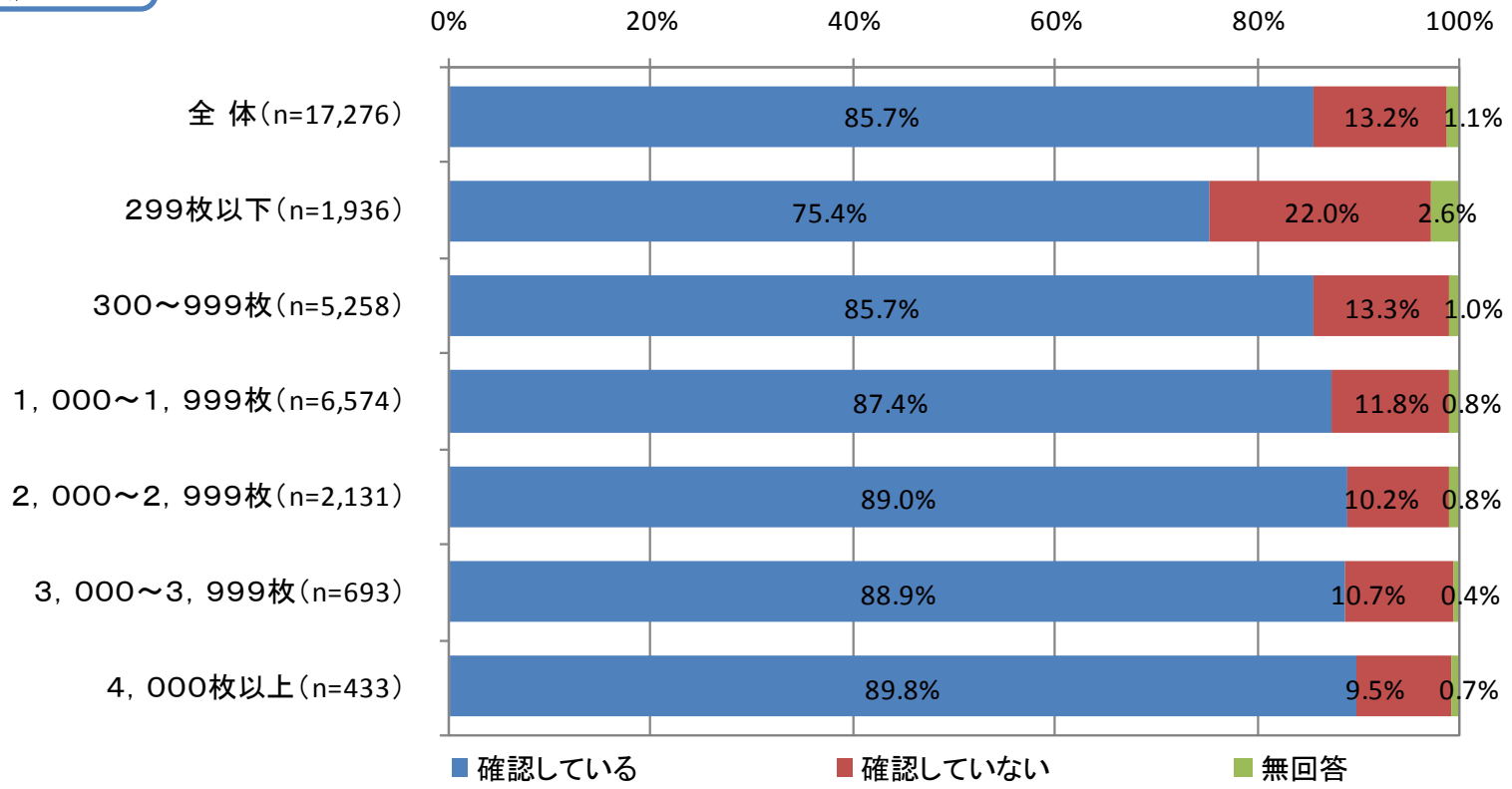


	調査数	最新の医薬品の安全性情報の把握	患者の疾患名に関する情報の把握	患者の臨床検査値に関する情報の把握	患者の服用履歴（入院時の服用履歴等も含む）に関する情報の把握	十分な人員の確保	その他	無回答
全　体	17,276	81.3%	73.6%	53.8%	76.8%	47.0%	2.4%	2.1%
２９９枚以下	1,936	74.4%	72.2%	51.2%	69.5%	20.8%	2.6%	3.8%
３００～９９９枚	5,258	79.9%	72.9%	53.5%	76.2%	41.5%	2.4%	2.3%
１，０００～１，９９９枚	6,574	83.3%	74.0%	53.6%	78.4%	52.2%	2.3%	1.5%
２，０００～２，９９９枚	2,131	84.2%	74.2%	55.6%	79.4%	59.8%	3.0%	1.2%
３，０００～３，９９９枚	693	85.6%	78.1%	58.0%	80.5%	64.2%	2.2%	1.6%
４，０００枚以上	433	88.0%	76.7%	61.2%	84.1%	63.5%	2.5%	1.2%

問１５　患者のおくすり手帳について、複数冊所持していないかを確認していますか。

処方箋応需枚数/月 別

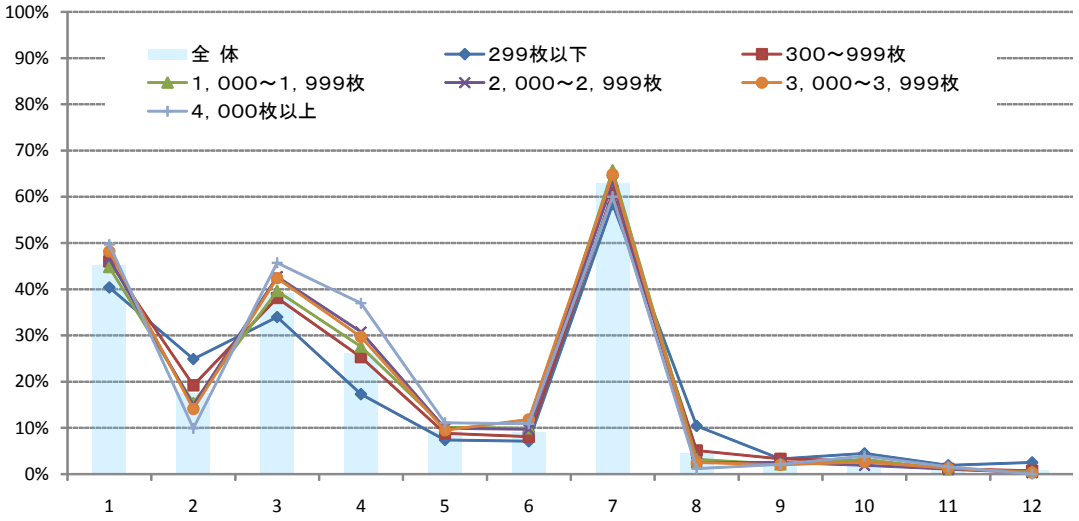
（単数回答）



問１６　おくすり手帳等の情報から、自薬局では普段取り扱っていない医薬品を患者が使用していることが分かった場合、当該医薬品の禁忌・注意・相互作用等の安全性に関する情報をどこから得ていますか。

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）
※３つまで

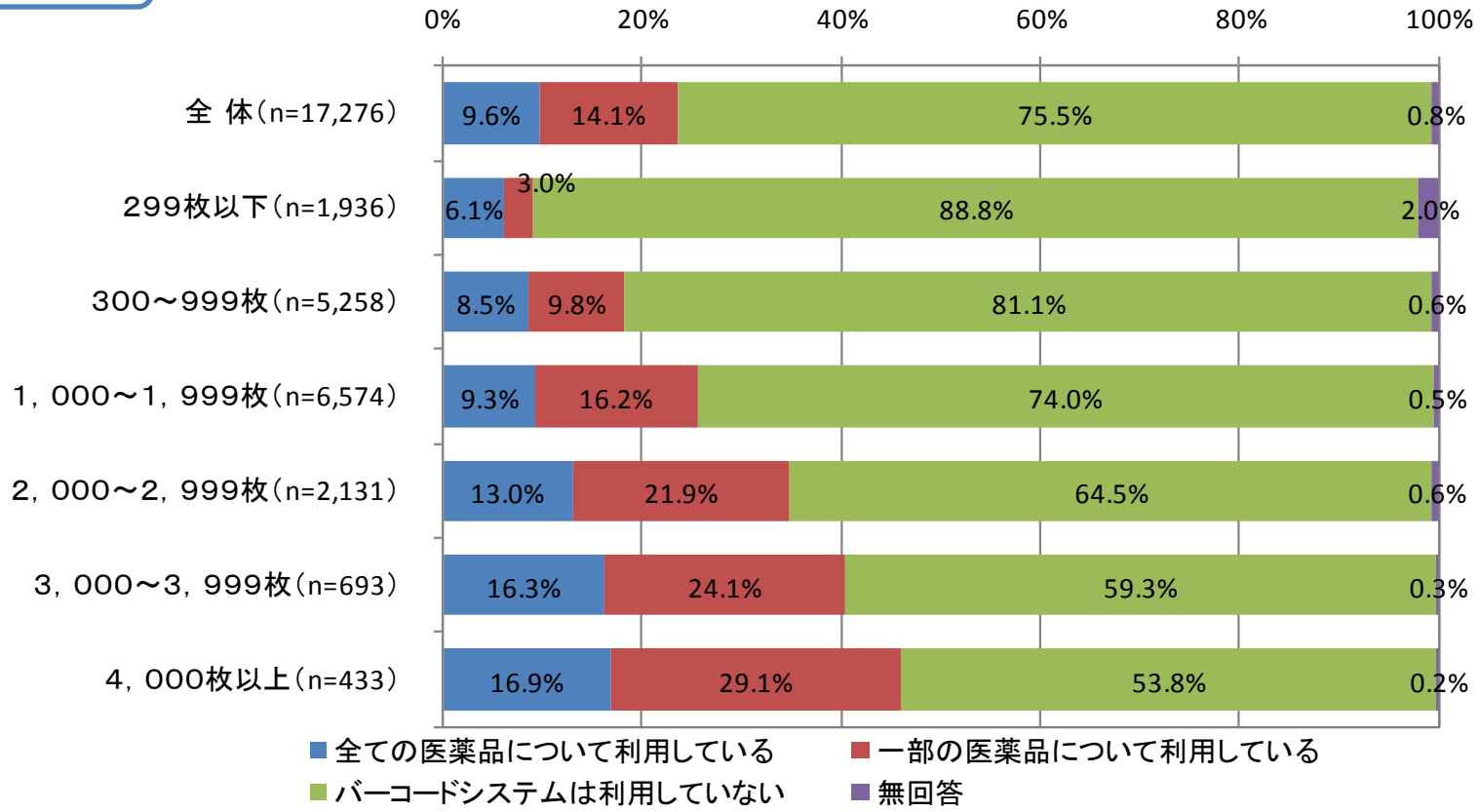


	調査数	製薬企業（MRや問い合わせ窓口）への問い合わせ	医薬品卸販売業者（MSや問い合わせ窓口）への問い合わせ	製薬企業のホームページ	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	市販の電子版の医薬品集	市販の医薬品集、治療指針等の書籍	薬剤師会等の医薬情報センターへの問い合わせ	薬局外の管理部門等（チェーン形態の場合、その本部等）への問い合わせ	その他	情報収集していない	無回答
全　体	17,276	45.2%	17.5%	39.0%	26.2%	9.3%	9.1%	62.8%	4.4%	2.6%	3.1%	1.2%	0.8%
２９９枚以下	1,936	40.4%	24.9%	34.0%	17.3%	7.4%	7.1%	58.4%	10.4%	3.3%	4.5%	1.9%	2.5%
３００～９９９枚	5,258	46.0%	19.2%	38.1%	25.3%	8.8%	8.1%	60.8%	5.1%	3.3%	2.9%	1.2%	0.7%
１，０００～１，９９９枚	6,574	44.8%	15.4%	39.6%	27.6%	10.1%	9.9%	65.7%	3.2%	2.1%	3.2%	1.0%	0.5%
２，０００～２，９９９枚	2,131	46.6%	14.9%	42.7%	30.8%	9.9%	9.7%	63.2%	2.5%	2.5%	1.9%	1.1%	0.3%
３，０００～３，９９９枚	693	48.2%	14.1%	42.4%	29.7%	9.5%	11.8%	64.8%	2.5%	2.0%	2.6%	1.3%	0.3%
４，０００枚以上	433	49.7%	9.9%	45.7%	37.0%	11.1%	10.9%	60.0%	1.2%	2.1%	3.9%	1.6%	0.0%

問１７　調剤時にバーコードを利用した調剤過誤防止システム等を利用した確認を行っていますか。

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）



問１８　医薬品の適正用使用に関して、ご意見があればご自由にご記入ください。

主な意見

- 服用患者に適切な医療を提供し、副作用発生後にも副作用被害救済制度でサポートするためにも、薬剤師が確実にチェックを行わなければならない。日本薬剤師会の会報にあるような、制度を利用できなかった事例なども定期的に配信されればよいかと考える。
- 保険薬局では、適応外処方に関する情報や海外での医薬品の使用成績の情報などが収集しづらい。
- 最近は、高齢で認知症の患者さんが増えており、間違った服用法や薬を紛失しては「薬が足りない」といったクレームもある。家族の中には無関心な人もおり、現場の薬局では、対応に苦慮している。適正使用のためにどのような対応ができるのかについてのヒントになる事例報告の情報提供もこれからの高齢社会には必要だと思う。
- お薬手帳への記載について、ジェネリック名のみとなっている場合、相互作用のチェック時に手間がかかりすぎ、十分な監査が出来ない事がある。先発名の記載や本来の一般名への統一がされると良いと思う。
- 調剤過誤防止のため、監査時に調剤レコーダーによる撮影記録、窓口業務においては、防犯ビデオによる映像と音声の記録を共にハードディスクに180日程度保存している。

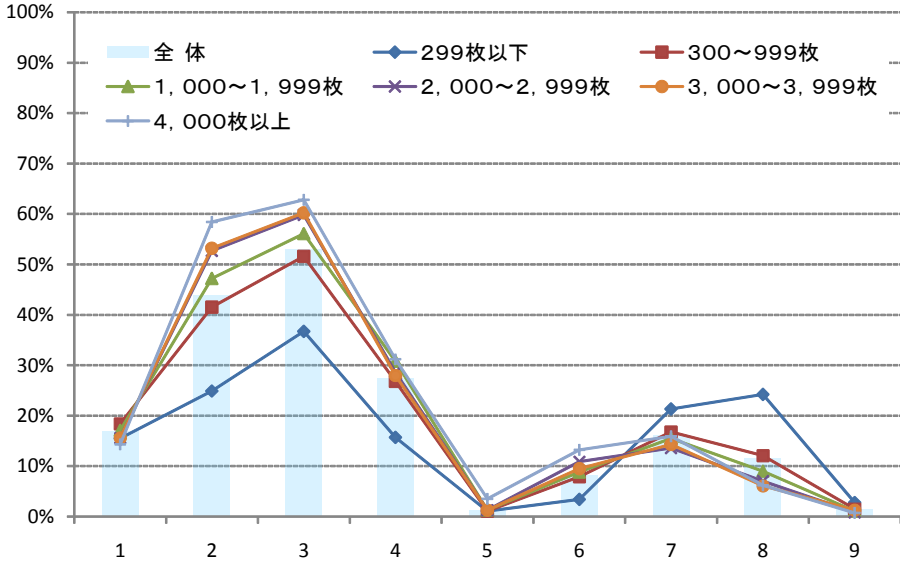
Ⅰ　安全性情報全般に関する調査

４　近隣の病院・診療所・他の薬局との連携について

問１９　貴薬局において、病院の薬剤部（科）や診療所等と連携（薬薬連携）して実施している取組みはありますか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）



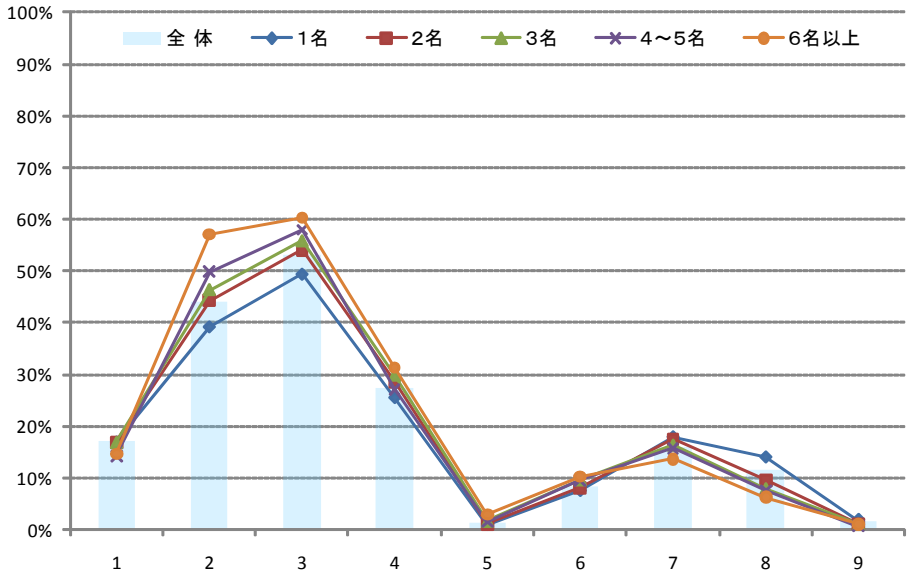
	調査数	処方元の病院・診療所からの、検査値や病名などの患者情報の入手	病院・診療所の採用薬に関する情報の共有	病院・診療所への後発品の処方変更情報の提供	病院・診療所との勉強会の開催	退院時カンファレンスへの参加	病院・診療所との、入手した医薬品安全性情報の共有	その他	特になし	無回答
全　体	17,276	17.0%	44.0%	53.1%	27.4%	1.3%	8.3%	16.1%	11.5%	1.5%
２９９枚以下	1,936	15.5%	24.9%	36.7%	15.7%	1.1%	3.4%	21.3%	24.2%	2.8%
３００～９９９枚	5,258	18.4%	41.5%	51.6%	26.8%	1.1%	7.9%	16.8%	12.1%	1.5%
１，０００～１，９９９枚	6,574	17.1%	47.2%	56.1%	30.8%	1.3%	8.8%	15.5%	9.0%	1.1%
２，０００～２，９９９枚	2,131	15.6%	52.7%	59.8%	28.6%	1.3%	10.9%	13.6%	7.0%	0.8%
３，０００～３，９９９枚	693	15.6%	53.2%	60.2%	28.0%	1.3%	9.5%	14.3%	6.1%	1.3%
４，０００枚以上	433	14.3%	58.4%	62.8%	31.2%	3.5%	13.2%	15.9%	6.2%	0.7%

問１９
入手方法へ

問１９　貴薬局において、病院の薬剤部（科）や診療所等と連携（薬薬連携）して実施している取組みはありますか。（2/2）

薬剤師数別（常勤換算）

（複数回答）



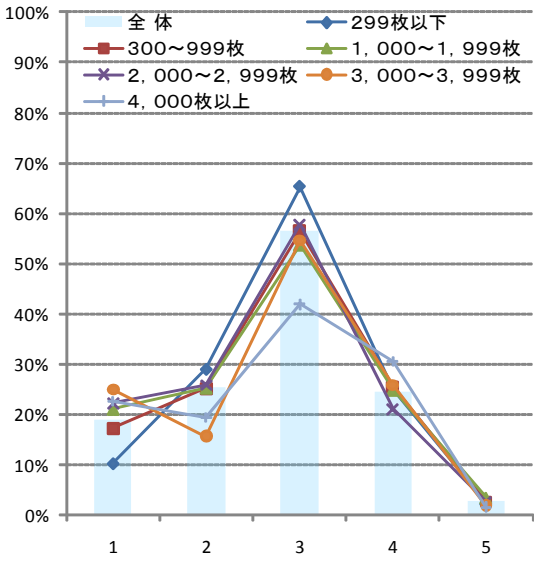
	調査数	処方元の病院・診療所からの、検査値や病名などの患者情報の入手	病院・診療所の採用薬に関する情報の共有	病院・診療所への後発品の処方変更情報の提供	病院・診療所との勉強会の開催	退院時カンファレンスへの参加	病院・診療所との、入手した医薬品安全性情報の共有	その他	特になし	無回答
全 体	17,276	17.0%	44.0%	53.1%	27.4%	1.3%	8.3%	16.1%	11.5%	1.5%
1名	5,002	16.9%	39.2%	49.4%	25.5%	0.9%	7.5%	17.9%	14.0%	1.9%
2名	5,221	16.9%	44.3%	54.1%	28.6%	1.1%	8.1%	17.5%	9.6%	1.1%
3名	2,746	16.9%	46.4%	55.8%	29.9%	1.7%	9.7%	16.4%	8.0%	1.1%
4～5名	2,015	14.3%	49.9%	58.0%	27.1%	1.5%	9.6%	15.7%	7.6%	0.7%
6名以上	856	14.7%	57.1%	60.3%	31.3%	3.0%	10.3%	13.7%	6.3%	1.1%

問１９
入手方法へ

問１９（処方元の病院・診療所からの、検査値や病名などの患者情報を入手している場合）　入手方法

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：処方元の病院・診療所からの、検査値や病名などの患者情報の入手を実施している施設



	調査数	カルテ情報の共有	処方箋に記入された検査値や病名などの確認	おくすり手帳に記入された検査値や病名などの確認	その他	無回答
全 体	2,943	18.9%	25.3%	56.4%	24.7%	2.9%
299枚以下	300	10.3%	29.0%	65.3%	25.0%	2.3%
300～999枚	968	17.3%	25.2%	56.5%	25.5%	2.7%
1，000～1，999枚	1,122	21.1%	25.3%	53.7%	24.9%	3.5%
2，000～2，999枚	332	22.3%	25.9%	57.8%	21.1%	2.7%
3，000～3，999枚	108	25.0%	15.7%	54.6%	25.9%	1.9%
4，000枚以上	62	22.6%	19.4%	41.9%	30.6%	1.6%

問２０　近隣の病院・診療所、他の薬局または介護施設との、医薬品処方や患者情報等に関する情報共有・連携について、具体的な取り組みの事例があればご紹介ください。

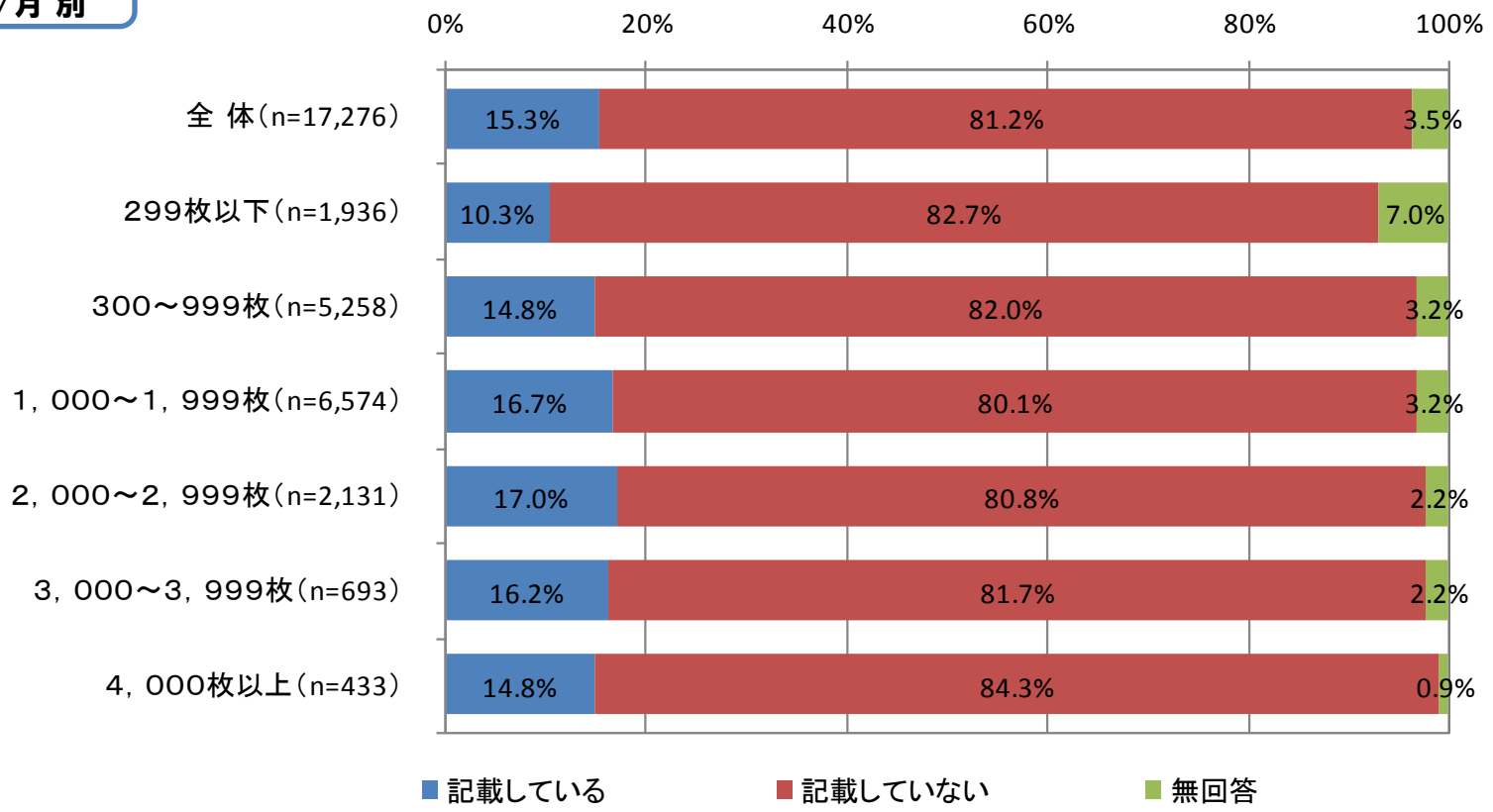
主な意見

- 地域病院の採用医薬品は、情報を入手し次第、地域薬剤師会のホームページにアップロードしている。各薬局の備蓄薬品についても同ホームページにデータを掲載している。
- 訪問薬剤管理指導を行う上で、毎朝、訪問看護ステーションでのミーティングに参加している(患者情報の共有、カルテ情報の閲覧)。
- 一般名処方について、調剤した医薬品名を手帳型シールで病院に毎日もっていき、製薬メーカーといずれの医薬品で調剤されたか、処方医師がわかるようカルテに貼るよう依頼している。
- 外来がん化学療法について連携を行っている。病院よりレジメン情報、病態、院内での服薬説明等の情報提供を受け、実際にその情報を用い薬局で服薬説明し、有効な情報、不足した情報を考察し、病院、薬局に対してフィードバックを行なっている。取り組み内容は、学会で発表し、広く情報を提供している。
- 週に一回、地域の医師や看護師、介護職員の参加する在宅ケア連絡会に出席している。
- 他院より処方の併用薬があり、併用注意と禁忌の場合は、必ず疑義照会をしている。継続的に服用している薬で、普段近隣医の処方する薬と作用する薬がある場合は、今回処方薬と問題がなくても電話にて連絡している。

問２１　PMDAの一般の皆様向け情報提供ホームページの周知について、厚生労働省から関係団体にご協力をお願いしておりますが、貴薬局で患者に提供している「薬剤情報提供書」には、PMDA一般の皆様向け情報提供ホームページについて記載されていますか。

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）



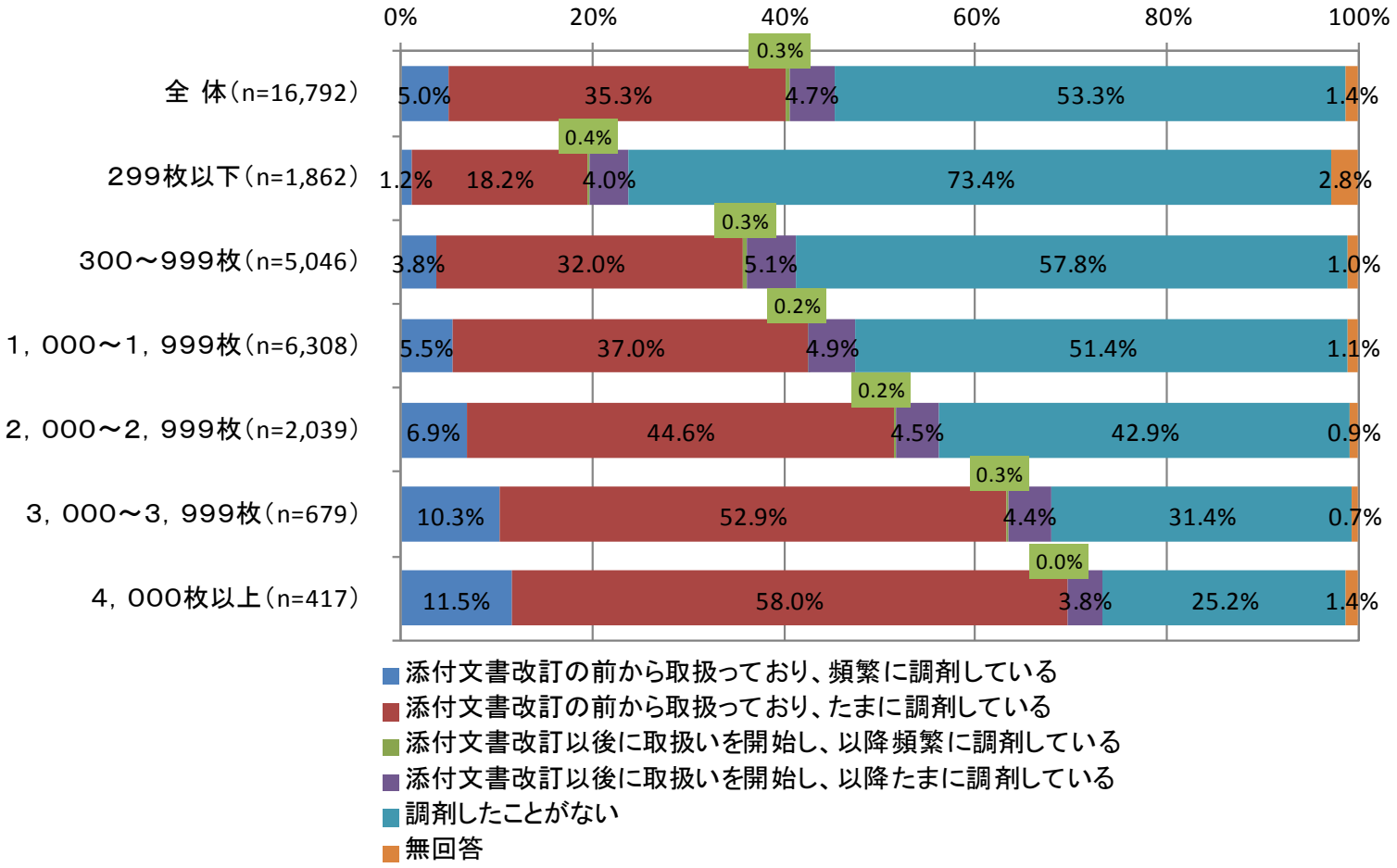
Ⅱ　個別の薬剤の事例に関する調査

事例１：アリスキレンフマル酸塩
（販売名：ラジレス錠150mg）

（１）　貴薬局で、ラジレスを調剤したことはありますか。

処方箋応需
枚数/月 別

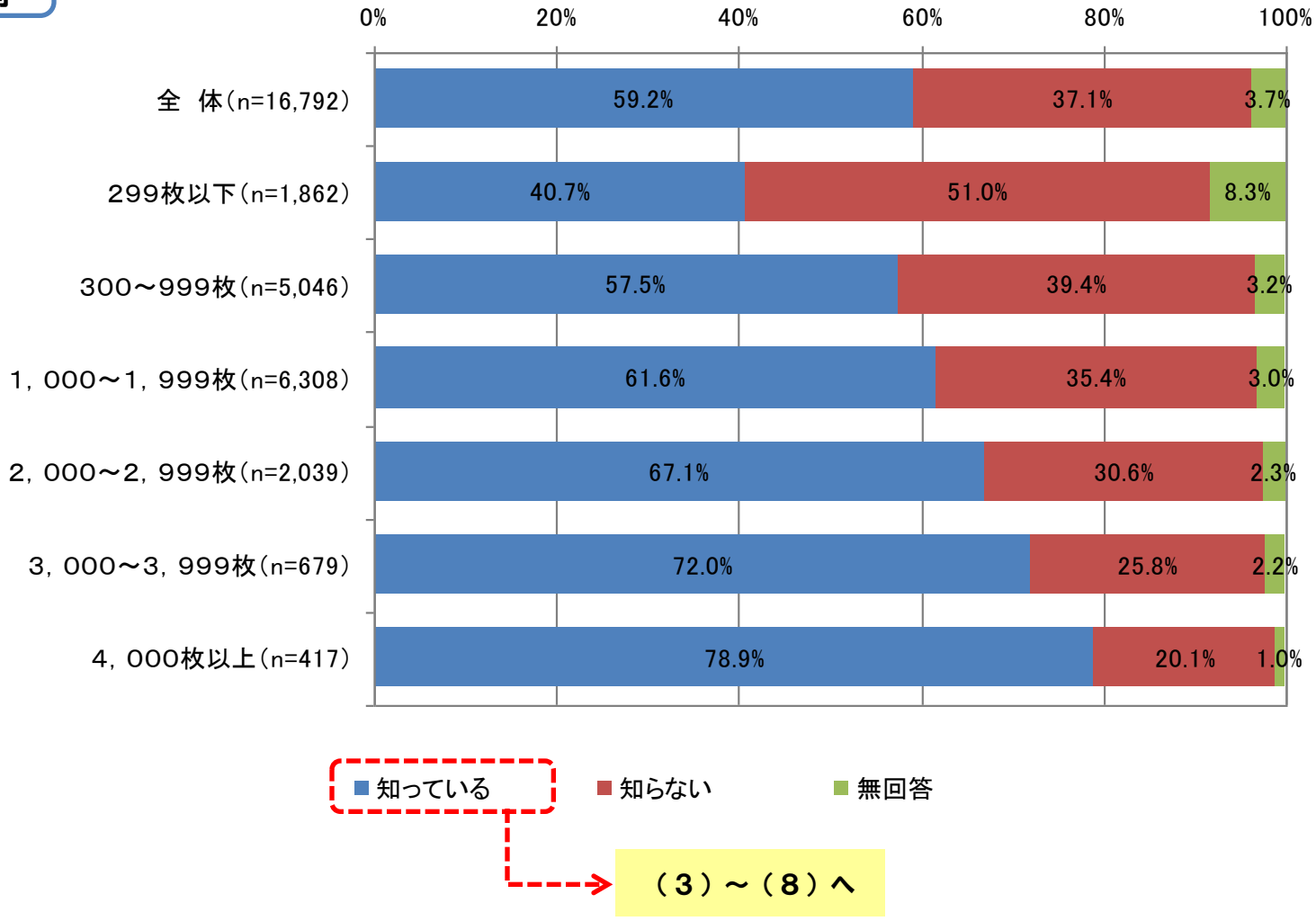
（単数回答）



（２）　ラジレスの添付文書が平成２４年６月５日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（1/4）

処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）

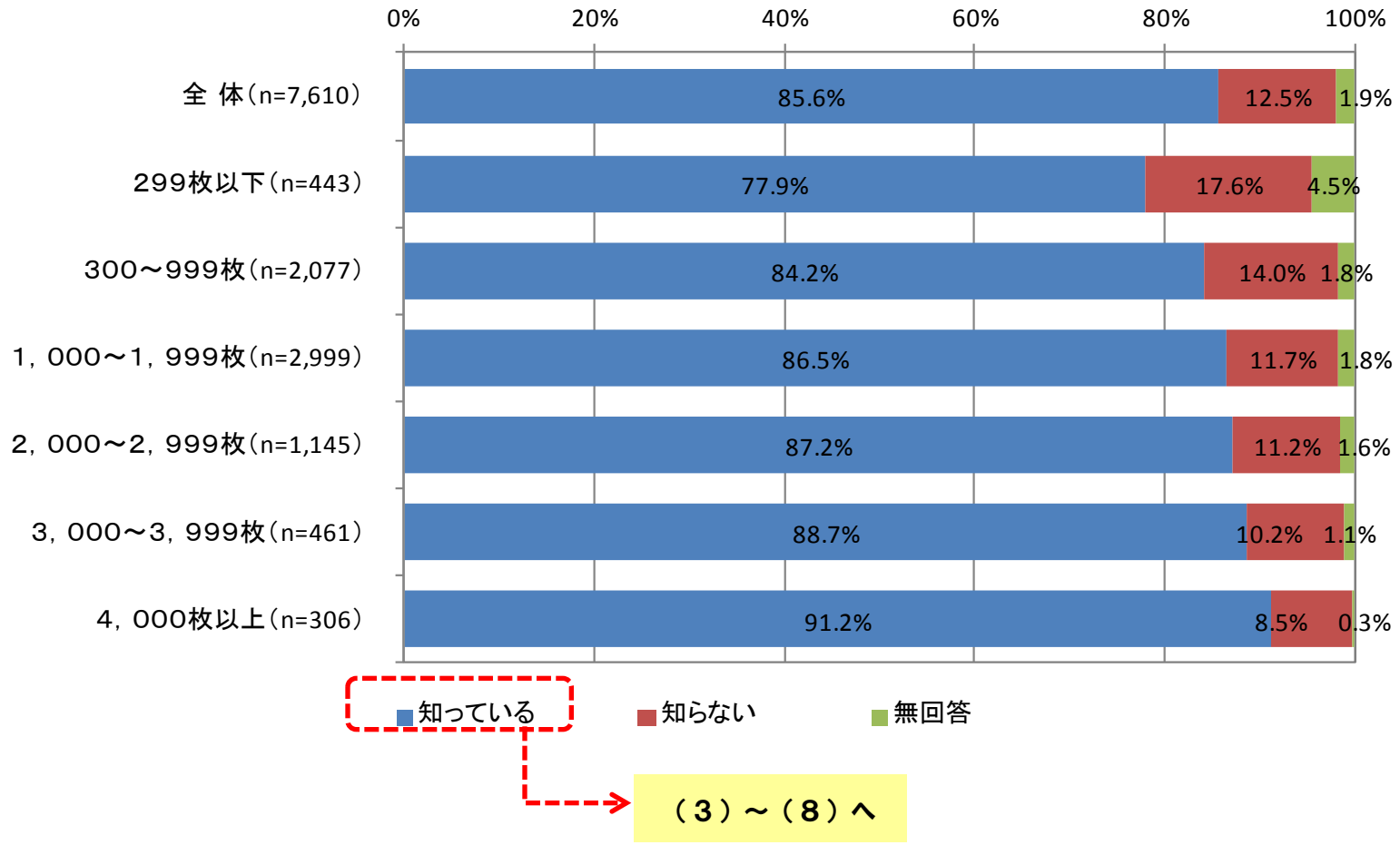


→ （３）～（８）へ

（２）　ラジレスの添付文書が平成２４年６月５日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（2/4）

処方箋応需枚数/月 別

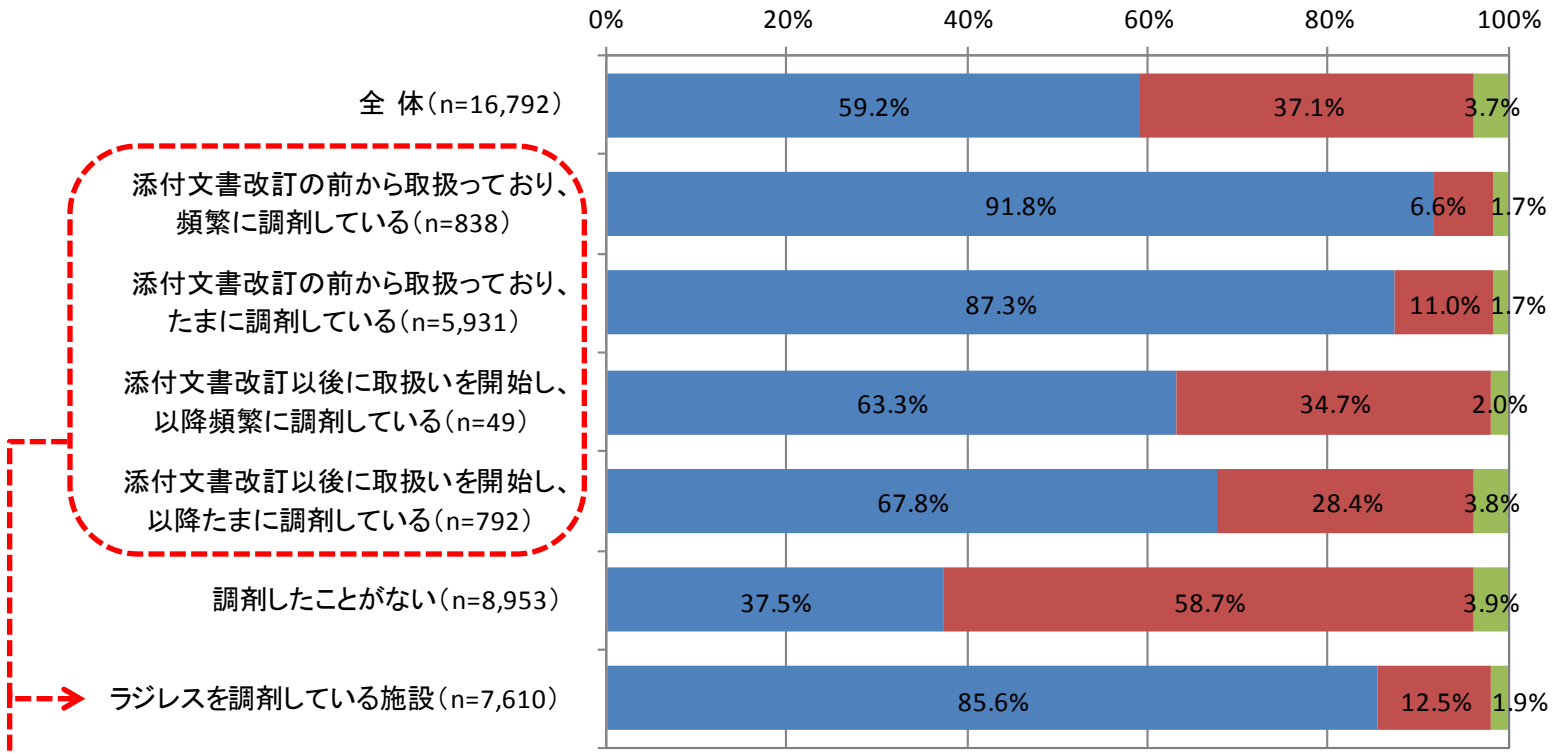
（単数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設



（３）～（８）へ

（２）　ラジレスの添付文書が平成２４年６月５日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（3/4）

(1) 取扱状況別　（単数回答）

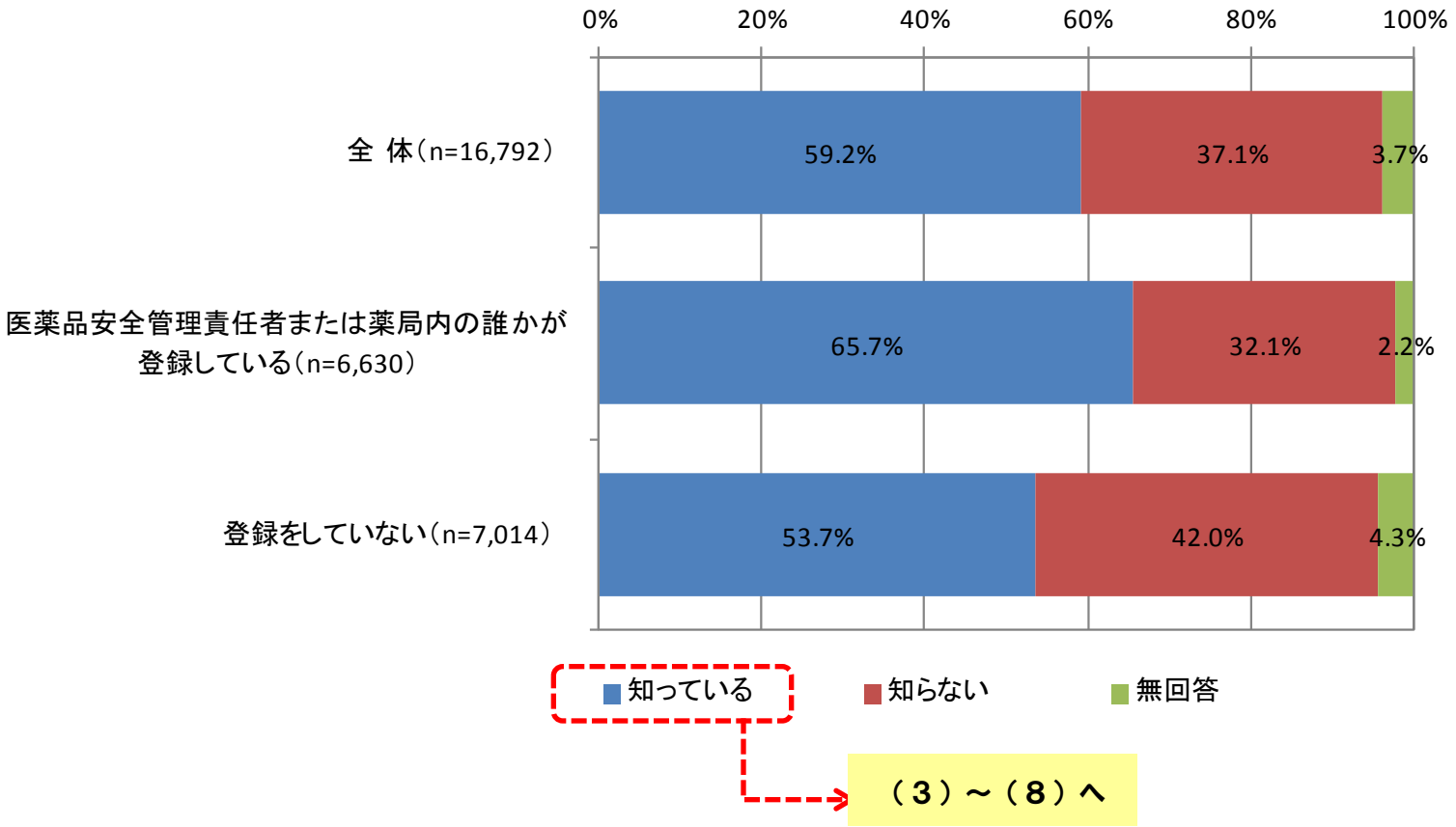


→ （３）～（８）へ

（２）　ラジレスの添付文書が平成２４年６月５日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（4/4）

問６・７
PMDAﾒﾃﾞｨﾅﾋﾞへの登録状況別

（単数回答）

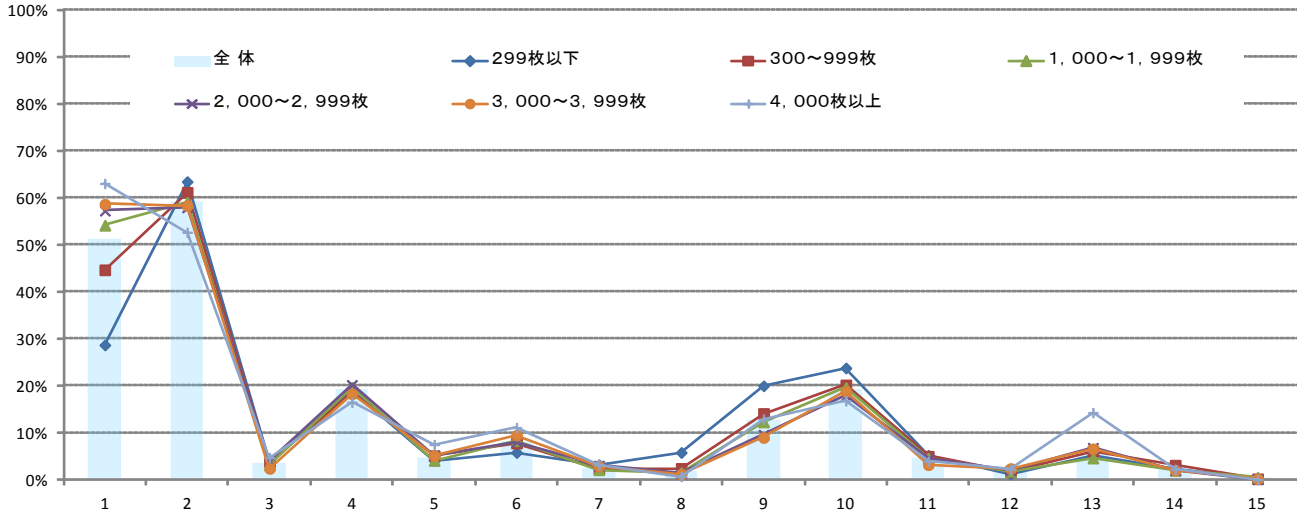


（３）　ラジレスの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。（1/3）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）
※３つまで

集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



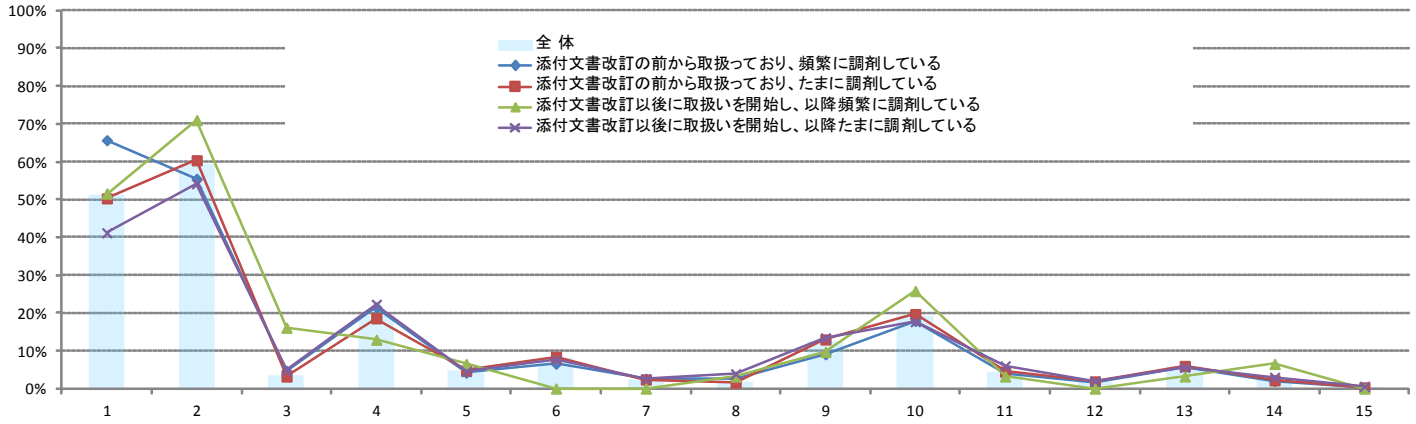
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	SafetyUpdate、日本製薬団体連合会発行）	DSU（Drug	知り合いの薬剤師・医師間での情報交換	新聞・業界紙等の報道	薬局外の管理部門等からの連絡（メール等）	その他	無回答
全　体	6,516	51.4%	59.4%	3.5%	19.2%	4.7%	8.1%	2.5%	1.9%	12.6%	19.4%	4.6%	1.8%	5.9%	2.3%	0.3%
２９９枚以下	345	28.7%	63.5%	4.1%	18.8%	4.1%	5.8%	3.2%	5.8%	20.0%	23.8%	5.2%	1.2%	5.2%	2.3%	0.3%
３００～９９９枚	1,749	44.7%	61.2%	3.8%	18.6%	5.1%	7.8%	2.3%	2.4%	14.1%	20.2%	5.0%	1.7%	6.1%	3.1%	0.2%
１，０００～１，９９９枚	2,594	54.2%	59.1%	3.1%	19.7%	4.1%	8.3%	2.1%	1.5%	12.3%	19.6%	4.6%	1.8%	4.6%	2.0%	0.5%
２，０００～２，９９９枚	999	57.3%	58.0%	3.9%	20.2%	5.2%	8.1%	3.0%	1.3%	9.6%	17.9%	4.5%	2.0%	6.8%	2.0%	0.1%
３，０００～３，９９９枚	409	58.7%	58.4%	2.4%	18.3%	5.1%	9.5%	2.9%	1.2%	9.0%	18.8%	3.2%	2.4%	6.6%	2.0%	0.2%
４，０００枚以上	279	63.1%	52.7%	4.7%	16.5%	7.5%	11.1%	3.2%	0.7%	12.9%	16.8%	3.9%	2.2%	14.3%	2.2%	0.0%

（３）　ラジレスの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。（2/3）

(1) 取扱状況別

（複数回答）
※３つまで

集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



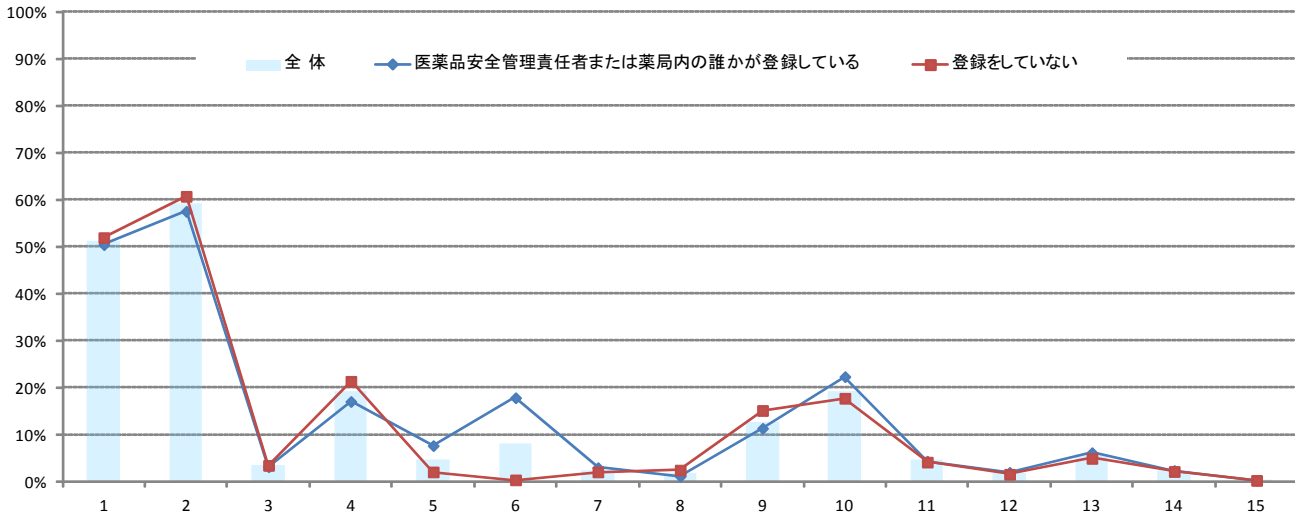
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	DSU（Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間での情報交換	新聞・業界紙等の報道	薬局外の管理部門等からの連絡（メール等）	その他	無回答
全　体	6,516	51.4%	59.4%	3.5%	19.2%	4.7%	8.1%	2.5%	1.9%	12.6%	19.4%	4.6%	1.8%	5.9%	2.3%	0.3%
添付文書改訂の前から取扱っており、頻繁に調剤している	769	65.7%	55.5%	4.7%	21.5%	4.2%	6.6%	2.6%	2.7%	9.1%	17.9%	3.9%	1.7%	5.6%	2.0%	0.1%
添付文書改訂の前から取扱っており、たまに調剤している	5,179	50.3%	60.4%	3.2%	18.6%	4.8%	8.4%	2.4%	1.6%	13.0%	19.7%	4.5%	1.9%	6.0%	2.2%	0.3%
添付文書改訂以後に取扱いを開始し、以降頻繁に調剤している	31	51.6%	71.0%	16.1%	12.9%	6.5%	0.0%	0.0%	3.2%	9.7%	25.8%	3.2%	0.0%	3.2%	6.5%	0.0%
添付文書改訂以後に取扱いを開始し、以降たまに調剤している	537	41.2%	54.2%	4.8%	22.3%	4.5%	7.6%	2.6%	3.9%	13.4%	17.7%	6.0%	2.0%	5.6%	3.0%	0.6%

（３）　ラジレスの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。（3/3）

問６・７
PMDAﾒﾃﾞｨﾅﾋﾞへの登録状況ﾞ別

（複数回答）
※３つまで

集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設

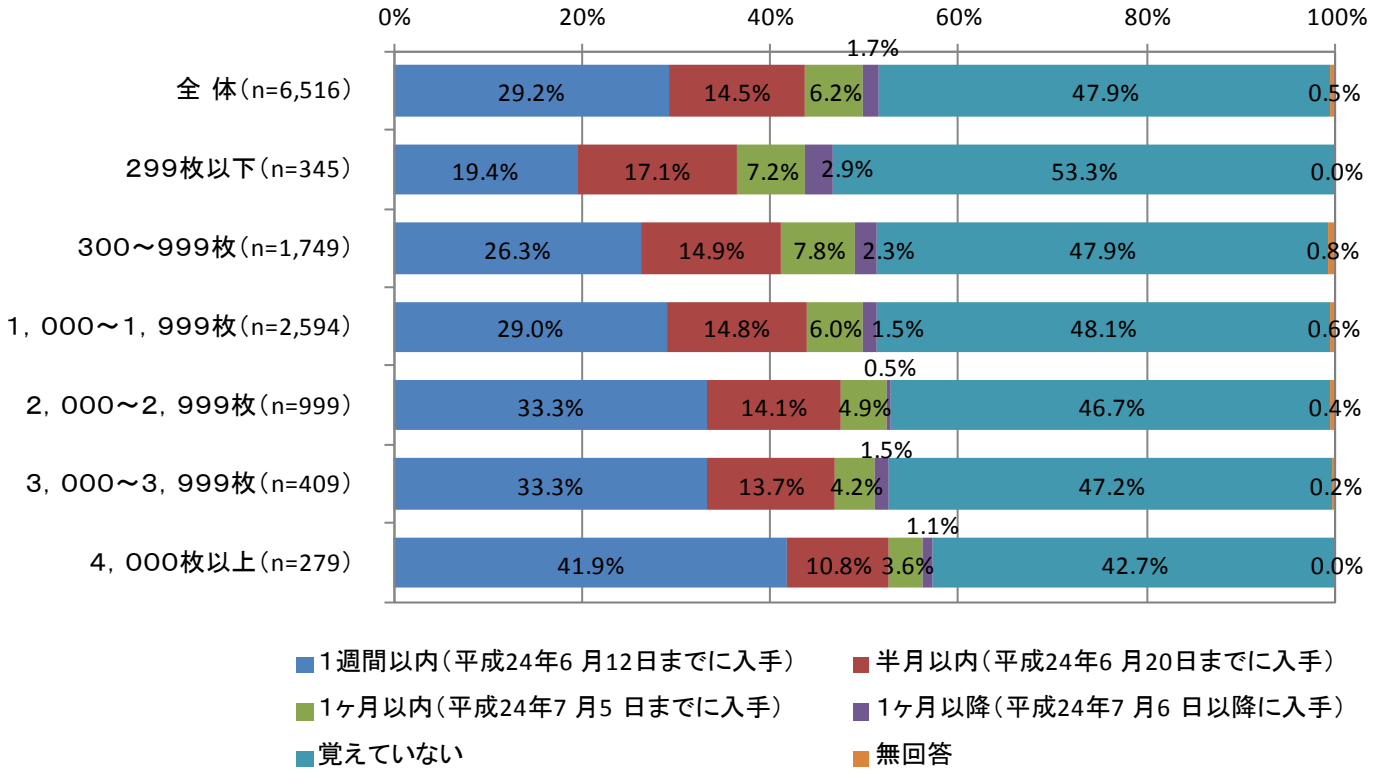


	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	SUDU（Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間での情報交換	新聞・業界紙等の報道	薬局外の管理部門等からの連絡（メール等）	その他	無回答
全　体	6,516	51.4%	59.4%	3.5%	19.2%	4.7%	8.1%	2.5%	1.9%	12.6%	19.4%	4.6%	1.8%	5.9%	2.3%	0.3%
医薬品安全管理責任者または薬局内の誰かが登録している	2,858	50.5%	57.6%	3.2%	17.1%	7.7%	17.9%	3.0%	1.2%	11.4%	22.4%	4.4%	2.0%	6.2%	2.4%	0.3%
登録をしていない	2,427	52.0%	60.8%	3.5%	21.4%	2.1%	0.4%	2.1%	2.5%	15.2%	17.8%	4.2%	1.6%	5.0%	2.2%	0.3%

（４）　最も早かった情報の入手時期はいつですか。（1/3）

処方箋応需枚数/月 別

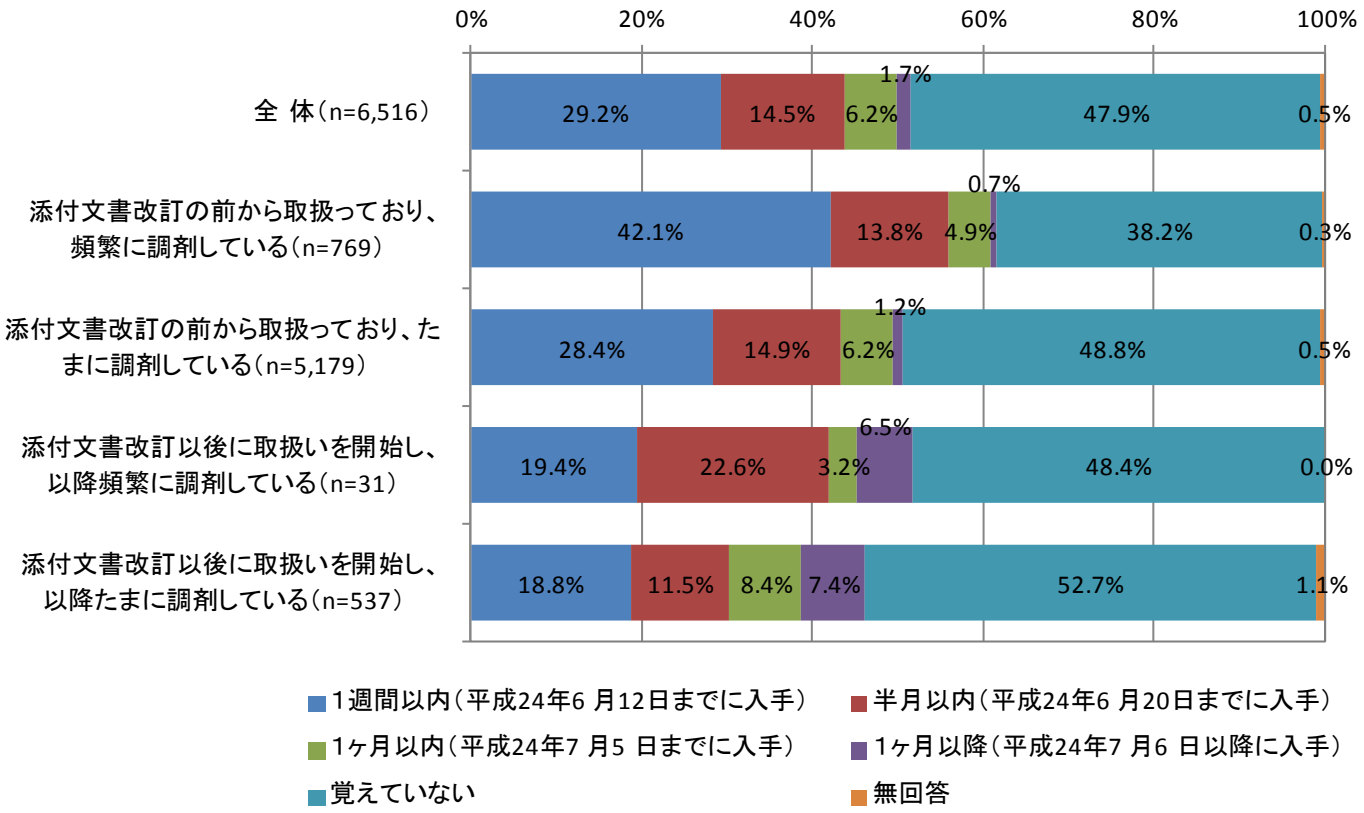
（単数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（４）　最も早かった情報の入手時期はいつですか。（2/3）

（1）取扱状況別

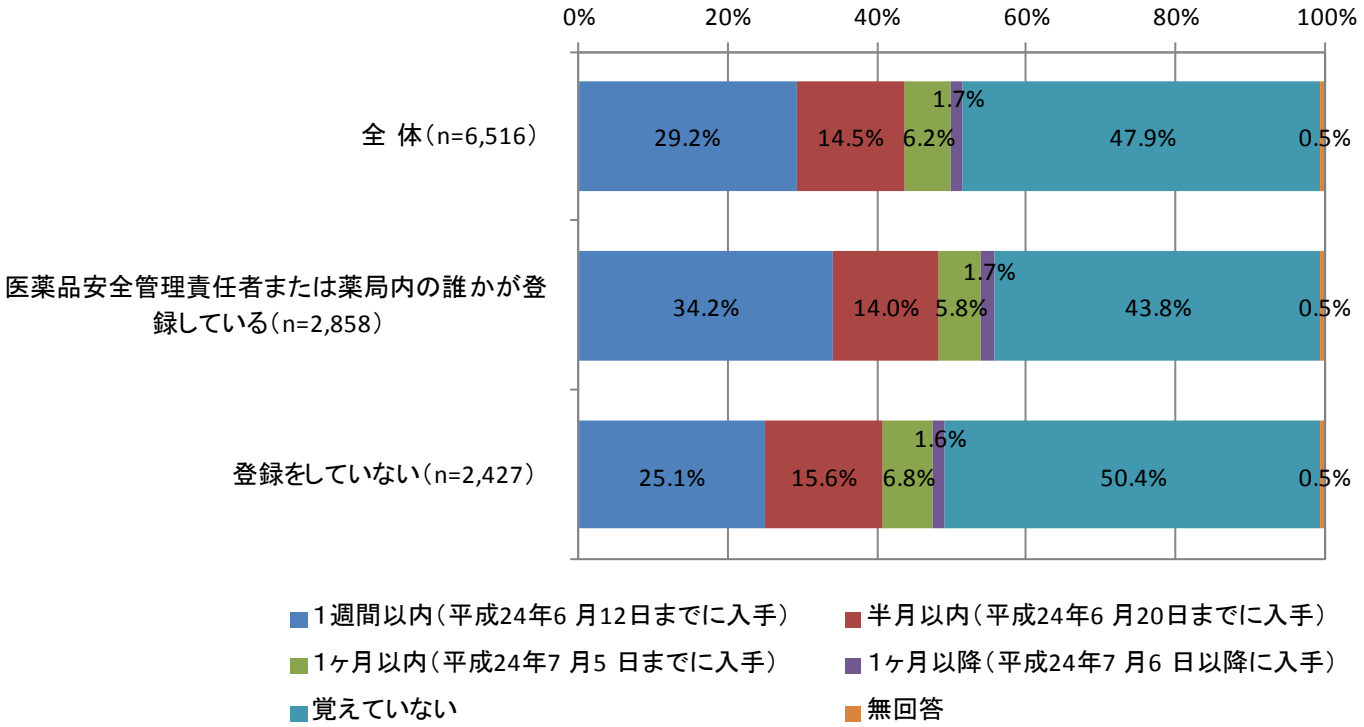
（単数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（４）　最も早かった情報の入手時期はいつですか。（3/3）

問６・７ PMDAﾒﾃﾞｨﾅﾋﾞへの登録状況別

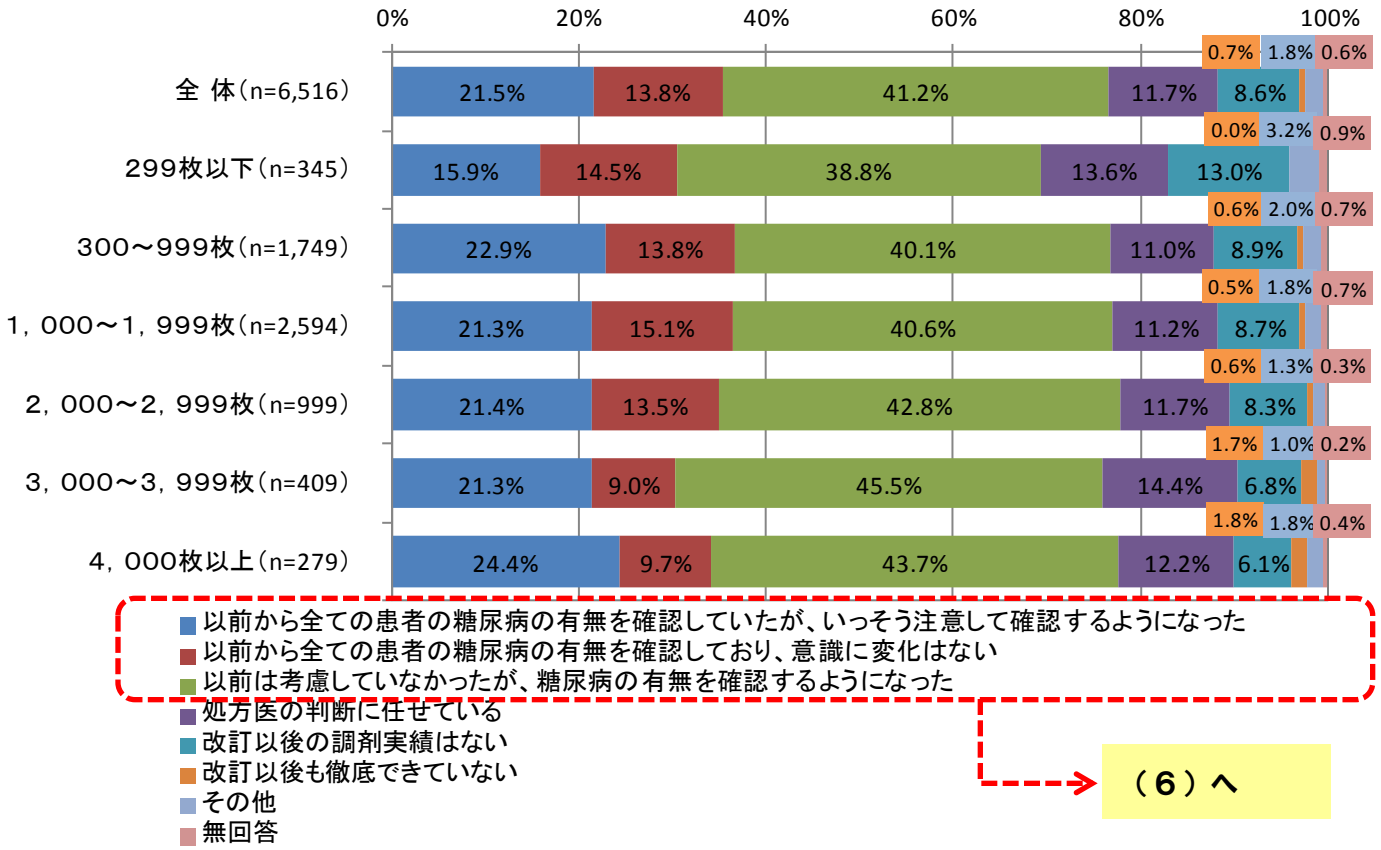
（単数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（５）　添付文書改訂以後、糖尿病患者におけるACEIまたはARBとの併用の危険性に対して、本剤の使用にあたっての患者からの糖尿病の既往の情報収集について、意識に変化はありましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

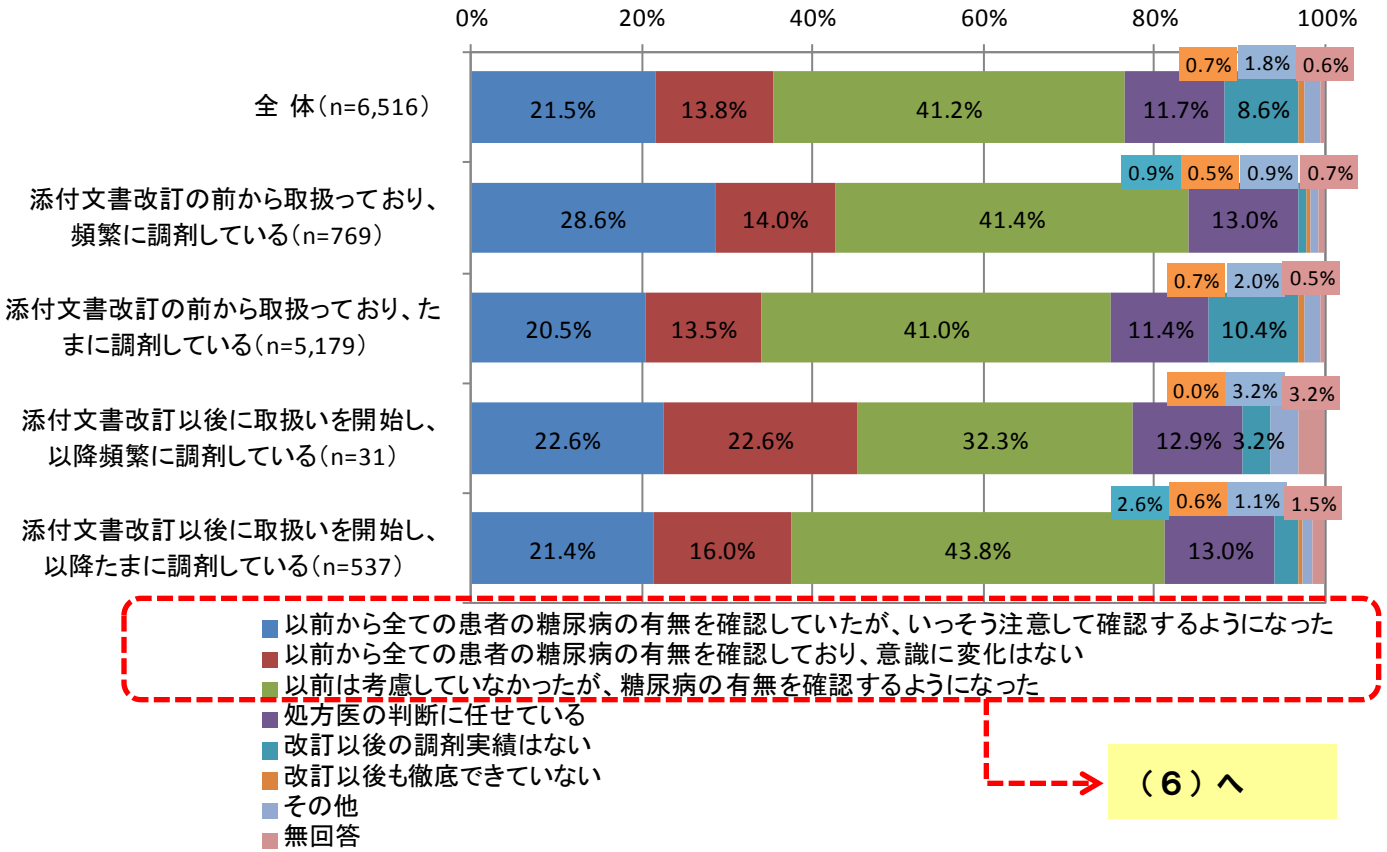
（単数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（６）へ

（５）　添付文書改訂以後、糖尿病患者におけるACEIまたはARBとの併用の危険性に対して、本剤の使用にあたっての患者からの糖尿病の既往の情報収集について、意識に変化はありましたか。（2/2）

(1) 取扱状況別　**（単数回答）**　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



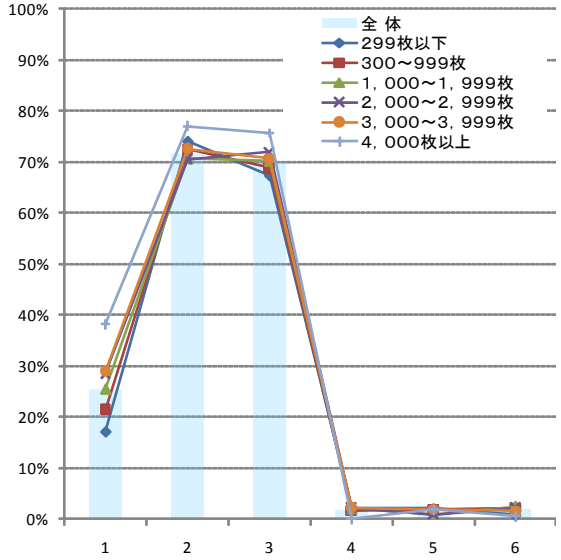
（６）へ

（６）　どのような確認を実施しましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）

集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設で、ラジレスの使用にあたっての患者からの糖尿病の既往歴の情報収集について、「以前から全ての患者の糖尿病の有無を確認していたが、いっそう注意して確認するよういなった」/「以前から全ての患者の糖尿病の有無を確認しており、意識に変化はない」/「以前は考慮していなかったが、糖尿病の有無を確認するようになった」施設

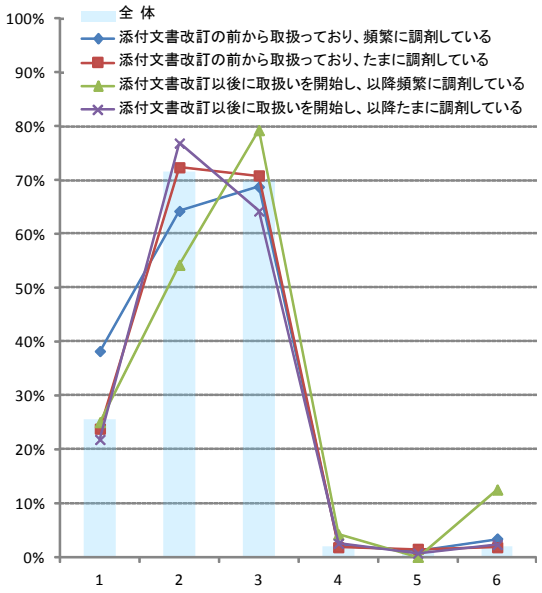


	調査数	処方医に疑義照会をする	投薬時に患者に糖尿病の有無を確認する	投薬記録等から糖尿病薬の服用の有無を確認する	連携している病院、診療所にて、処方箋やお薬手帳に、病名を記載してもらう	その他	無回答
全　体	4,988	25.5%	71.6%	70.0%	1.9%	1.3%	2.1%
２９９枚以下	239	17.2%	74.1%	67.4%	2.1%	2.1%	0.8%
３００～９９９枚	1,342	21.5%	72.4%	68.8%	1.7%	1.8%	2.2%
１，０００～１，９９９枚	1,998	25.5%	70.6%	70.1%	2.1%	1.0%	2.5%
２，０００～２，９９９枚	777	28.6%	70.5%	71.9%	2.3%	0.9%	2.3%
３，０００～３，９９９枚	310	29.0%	72.6%	70.6%	2.3%	1.9%	1.6%
４，０００枚以上	217	38.2%	77.0%	75.6%	0.0%	1.8%	0.5%

（６）　どのような確認を実施しましたか。（2/2）

(1) 取扱状況別

（複数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設で、ラジレスの使用にあたっての患者からの糖尿病の既往歴の情報収集について、「以前から全ての患者の糖尿病の有無を確認していたが、いっそう注意して確認するようにいなった」／「以前から全ての患者の糖尿病の有無を確認しており、意識に変化はない」／「以前は考慮していなかったが、糖尿病の有無を確認するようになった」施設

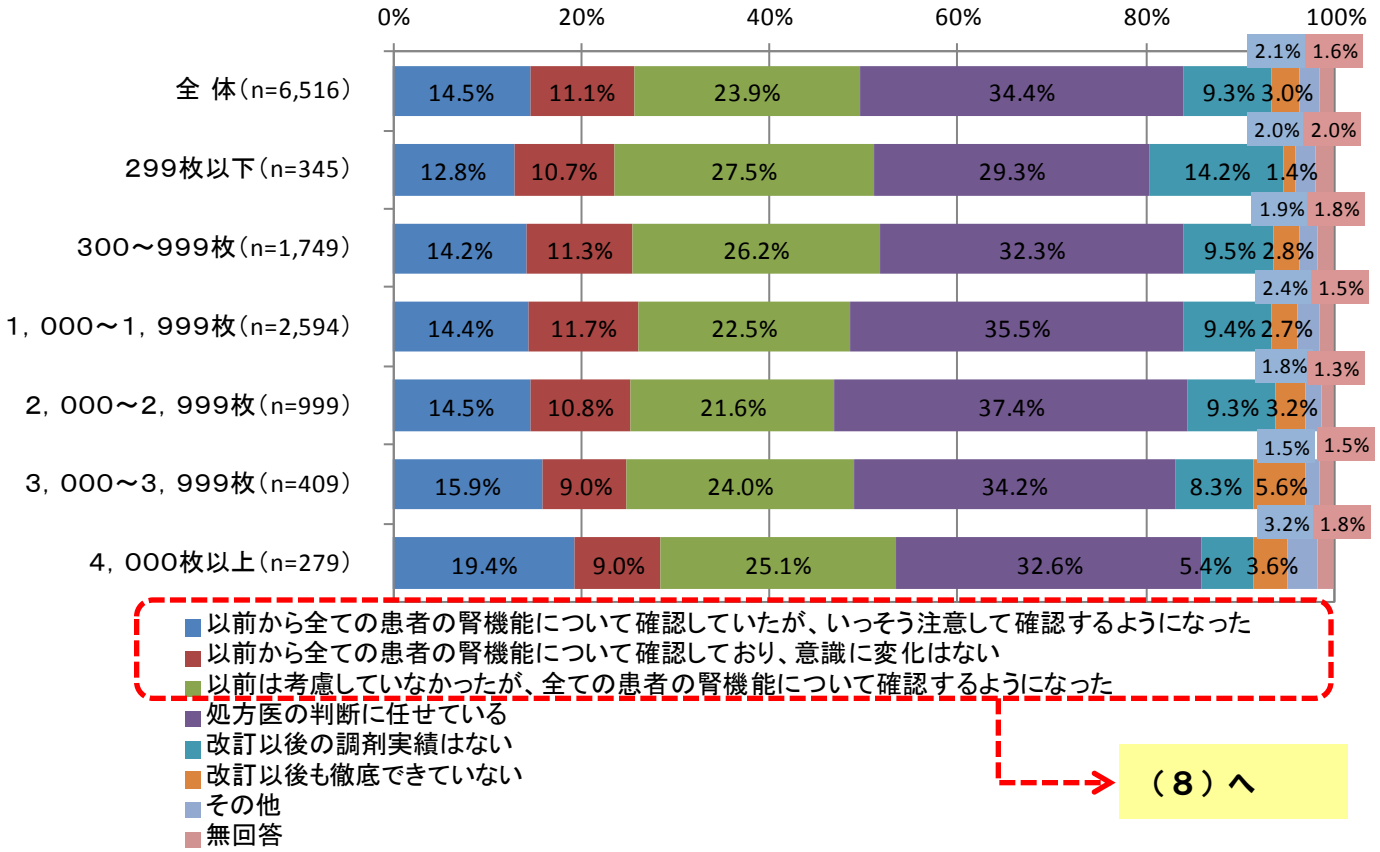


	調査数	処方医に疑義照会をする	投薬時に患者に糖尿病の有無を確認する	投薬記録等から糖尿病薬の服用の有無を確認する	連携している病院、診療所にて、処方箋やお薬手帳に、病名を記載してもらう	その他	無回答
全　体	4,988	25.5%	71.6%	70.0%	1.9%	1.3%	2.1%
添付文書改訂の前から取扱っており、頻繁に調剤している	646	38.2%	64.2%	68.7%	2.2%	1.1%	3.4%
添付文書改訂の前から取扱っており、たまに調剤している	3,882	23.8%	72.3%	70.8%	1.8%	1.5%	1.8%
添付文書改訂以後に取扱いを開始し、以降頻繁に調剤している	24	25.0%	54.2%	79.2%	4.2%	0.0%	12.5%
添付文書改訂以後に取扱いを開始し、以降たまに調剤している	436	21.8%	76.8%	64.2%	2.5%	0.7%	2.3%

（７）　添付文書改訂以後、本剤の使用にあたって、患者の腎機能の確認方法に変化はありましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

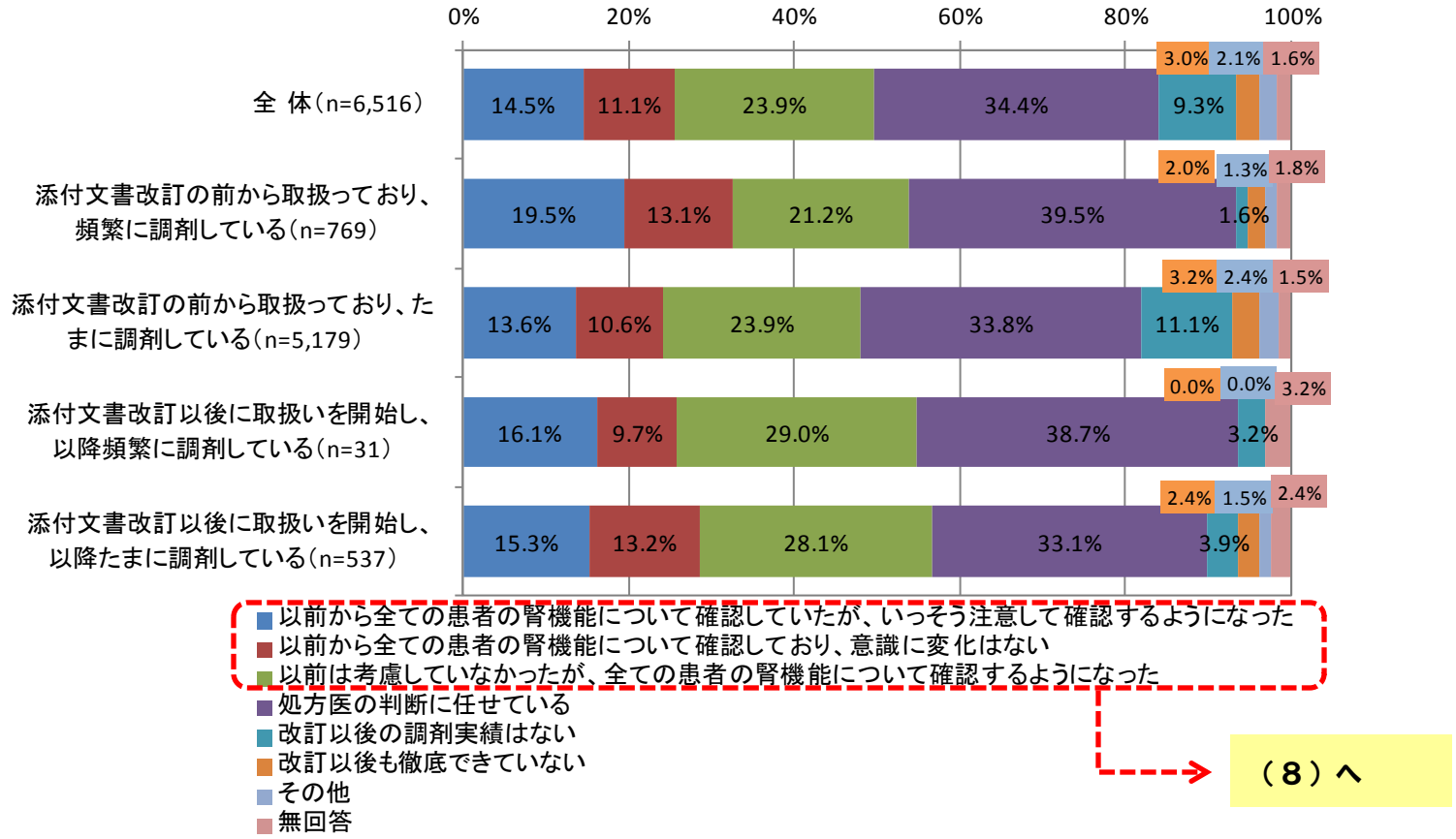
（単数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（８）へ

（７）　添付文書改訂以後、本剤の使用にあたって、患者の腎機能の確認方法に変化はありましたか。（2/2）

(1) 取扱状況別　**（単数回答）**　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設

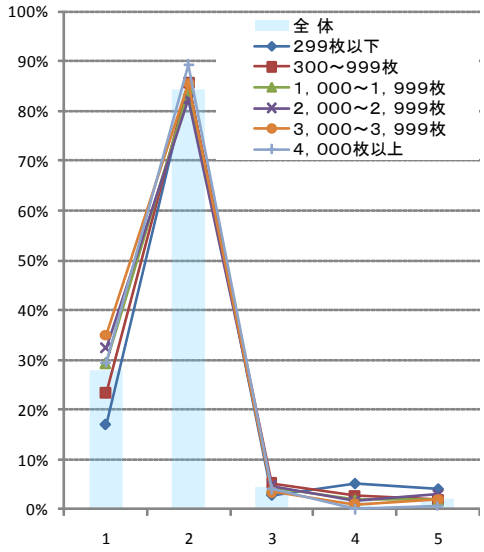


（８）へ

（８）　どのような確認を実施しましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設で、ラジレスの使用にあたっての患者の腎機能の確認方法について、「以前から全ての患者の腎機能について確認していたが、いっそう注意して確認するようになった」/「以前から全ての患者の腎機能について確認しており、意識に変化はない」/「以前は考慮していなかったが、全ての患者の腎機能について確認するようになった」施設

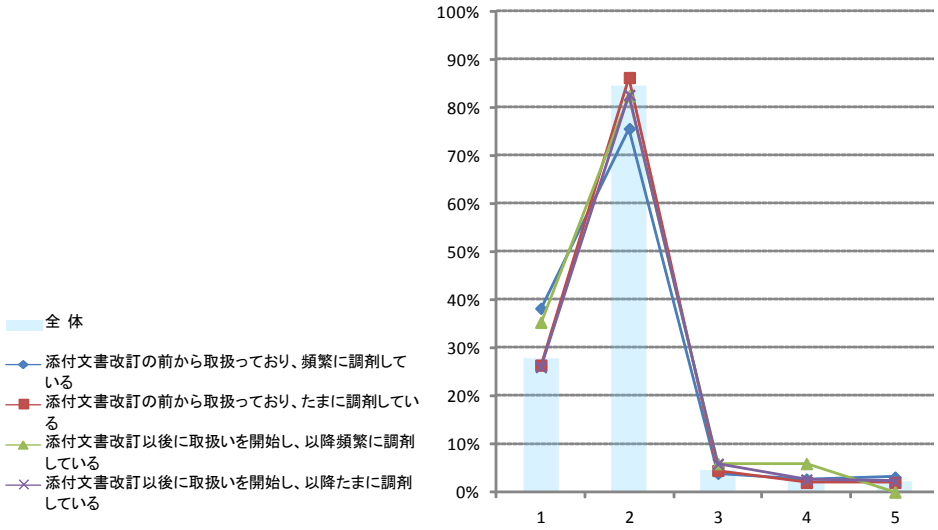


	調査数	処方医に疑義照会する	投薬時に患者さんに腎機能検査の結果を確認する	連携している病院、診療所にて、処方箋やおくすり手帳に、検査値や検査結果を記載してもらう	その他	無回答
全　体	3,228	27.9%	84.4%	4.5%	2.2%	2.2%
２９９枚以下	176	17.0%	85.8%	2.8%	5.1%	4.0%
３００～９９９枚	903	23.4%	85.6%	5.3%	2.7%	1.9%
１，０００～１，９９９枚	1,260	29.3%	84.0%	4.3%	1.9%	1.9%
２，０００～２，９９９枚	469	32.4%	82.3%	4.7%	1.7%	3.0%
３，０００～３，９９９枚	200	35.0%	85.5%	3.5%	1.0%	2.0%
４，０００枚以上	149	29.5%	89.3%	4.0%	0.0%	0.7%

（８）　どのような確認を実施しましたか。（2/2）

（1）取扱状況別

（複数回答）　集計対象：ラジレスを調剤している施設のうち、平成24年6月5日のラジレスの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設で、ラジレスの使用にあたっての患者の腎機能の確認方法について、「以前から全ての患者の腎機能について確認していたが、いっそう注意して確認するようになった」/「以前から全ての患者の腎機能について確認しており、意識に変化はない」/「以前は考慮していなかったが、全ての患者の腎機能について確認するようになった」施設



	調査数	処方医に疑義照会する	投薬時に患者さんに腎機能検査の結果を確認する	連携している病院、診療所にて、処方箋やおくすり手帳に、検査値や検査結果を記載してもらう	その他	無回答
全　体	3,228	27.9%	84.4%	4.5%	2.2%	2.2%
添付文書改訂の前から取扱っており、頻繁に調剤している	414	38.2%	75.6%	3.9%	2.7%	3.1%
添付文書改訂の前から取扱っており、たまに調剤している	2,493	26.4%	86.2%	4.5%	2.0%	2.0%
添付文書改訂以後に取扱いを開始し、以降頻繁に調剤している	17	35.3%	82.4%	5.9%	5.9%	0.0%
添付文書改訂以後に取扱いを開始し、以降たまに調剤している	304	26.0%	82.6%	5.9%	2.6%	2.3%

（９）　この事例にように処方医との連携が重要なケースで、何か工夫されていることはありますか。

主な意見

- 新しい薬品が採用または、処方されたときに、勉強会を行い、安全対策が必要な場合は、適宜検討を行った上で、調剤を行うようにしている。
- 使用薬剤の患者一覧表（この場合はラジレス錠）を印刷して、近隣の処方医には該当患者の名前を連絡し、次回診察時に医師に確認を依頼する。また、薬歴簿にも次回来店時に確認するようにメモを添付し、服薬指導薬剤師が確認漏れしないよう注意している。
- 主要な処方箋応需元の病院へは、情報を入手した時点で再度情報をまとめて提供を行い、該当薬剤を服用中の患者カルテに注意喚起の文言を記載する、もしくは処方変更を促す依頼文書などを再度情報提供するようにしている。
- 薬剤を投与する薬剤師が、処方元医療機関の医師に常に疑義照会が出来るように専門電話回線を設け、迅速に疑義照会が出来るようにしている。また、医師と薬剤師による週一回の勉強会を行っており、少しでも医師と薬剤師が使用医薬品に対し共通の認識を持てるように日々研鑽している。

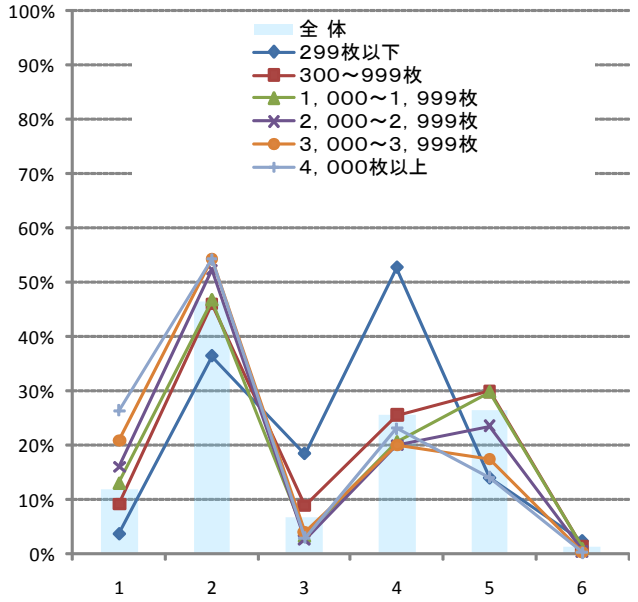
Ⅱ　個別の薬剤の事例に関する調査

事例２：イブプロフェン
（販売名：ﾌﾞﾙﾌｪﾝ錠・顆粒，ユニﾌﾟﾛﾝ坐剤，ｲﾌﾞ（OTC）等）

（１）　貴薬局で、イブプロフェンを取り扱っていますか。

処方箋応需枚数/月 別

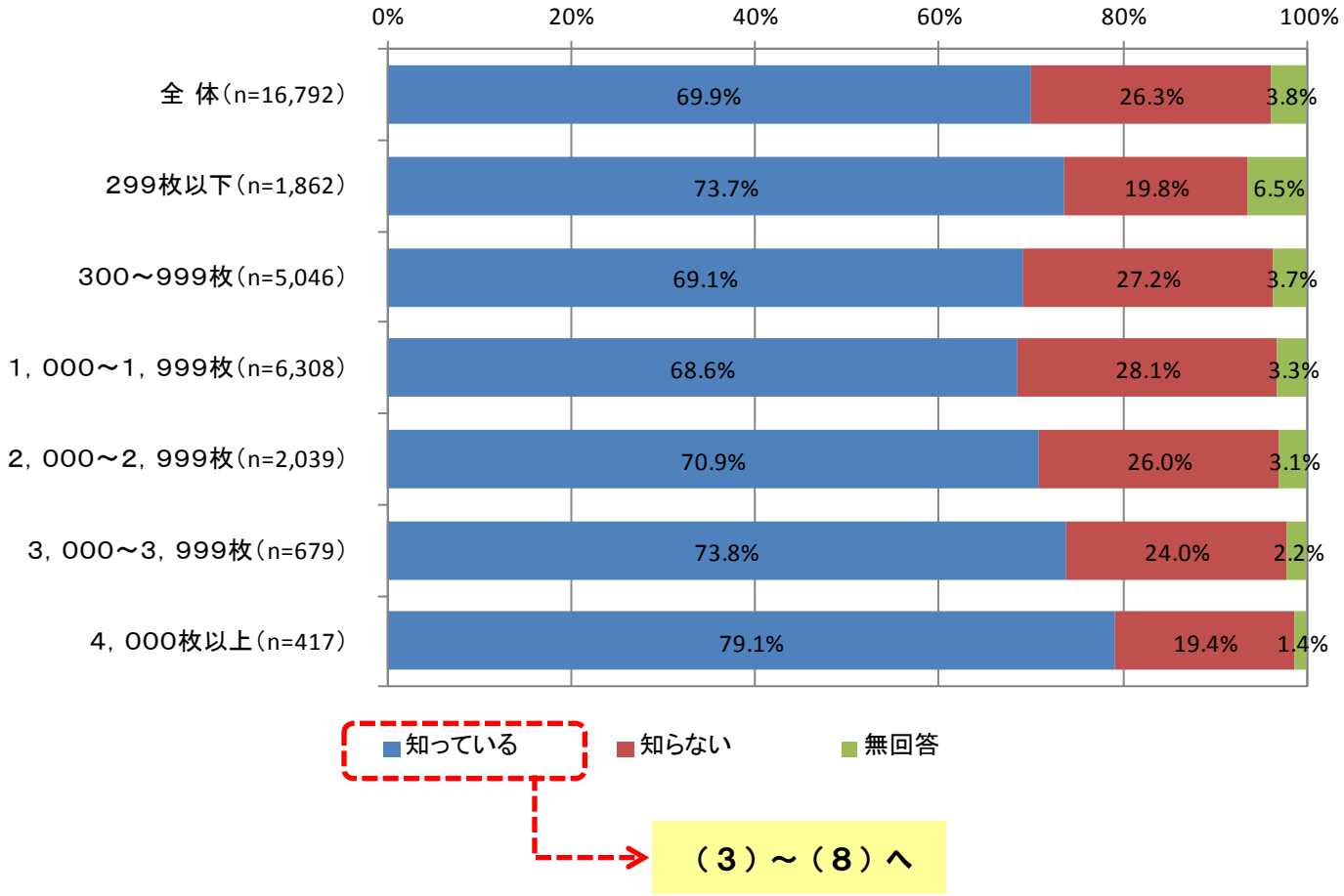
（複数回答）



	調査数	医療用を頻繁に調剤している	医療用をたまに調剤している	OTCを取扱っており、頻繁に販売している	OTCを取扱っており、たまに販売している	医療用の調剤もOTCの販売もしたことがない	無回答
全　体	16,792	11.8%	46.4%	6.6%	25.7%	26.3%	1.2%
２９９枚以下	1,862	3.6%	36.4%	18.4%	52.7%	13.9%	2.3%
３００～９９９枚	5,046	9.1%	46.0%	8.8%	25.5%	29.9%	1.2%
１，０００～１，９９９枚	6,308	13.0%	46.7%	3.3%	20.6%	29.8%	1.0%
２，０００～２，９９９枚	2,039	16.0%	52.3%	2.6%	20.0%	23.5%	0.5%
３，０００～３，９９９枚	679	20.8%	54.3%	4.0%	20.0%	17.4%	0.3%
４，０００枚以上	417	26.4%	54.2%	2.9%	23.0%	14.1%	0.2%

（２）　イブプロフェンの添付文書が平成２４年４月２４日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（1/4）

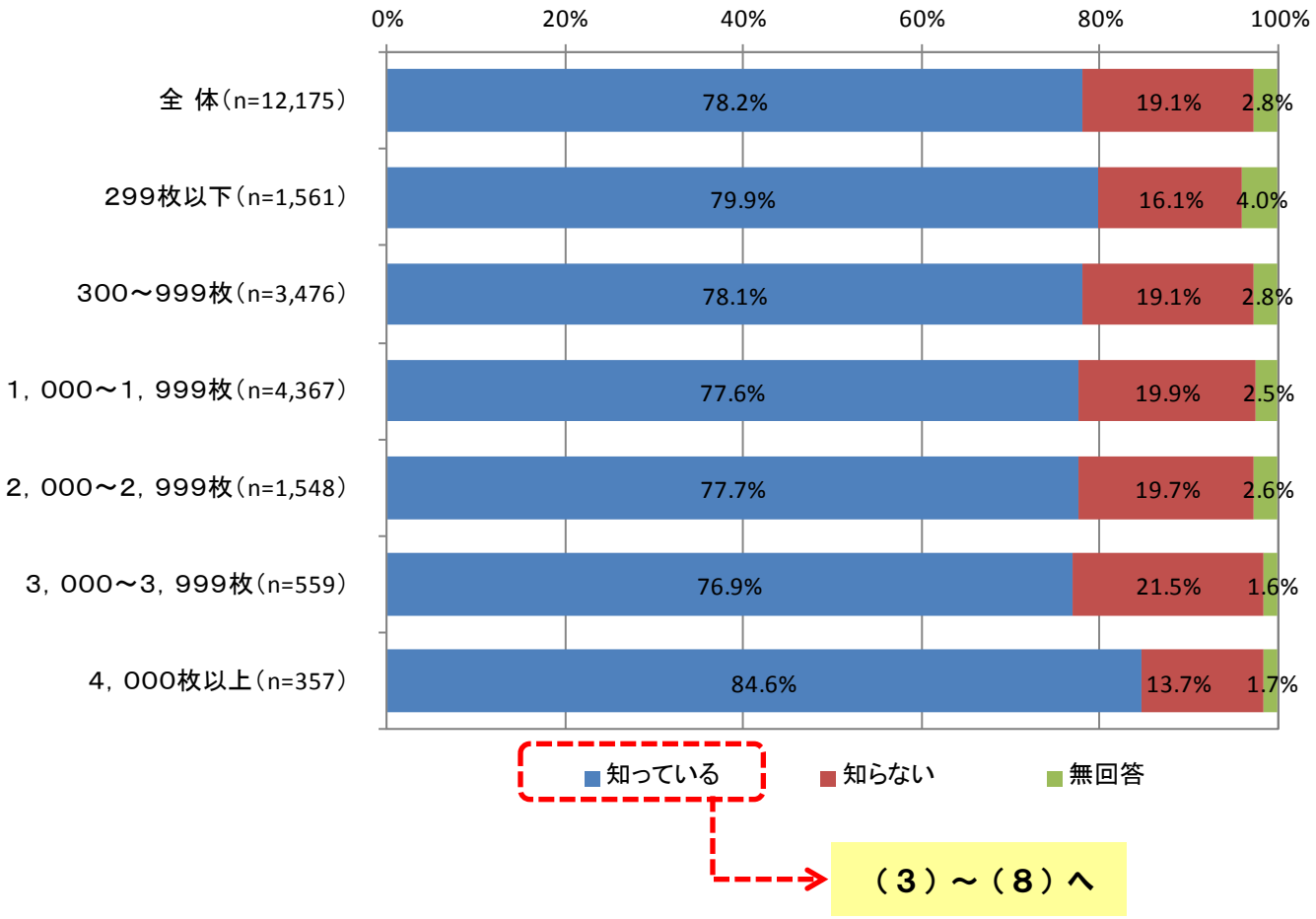
処方箋応需枚数/月 別　（単数回答）



（２）　イブプロフェンの添付文書が平成２４年４月２４日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（2/4）

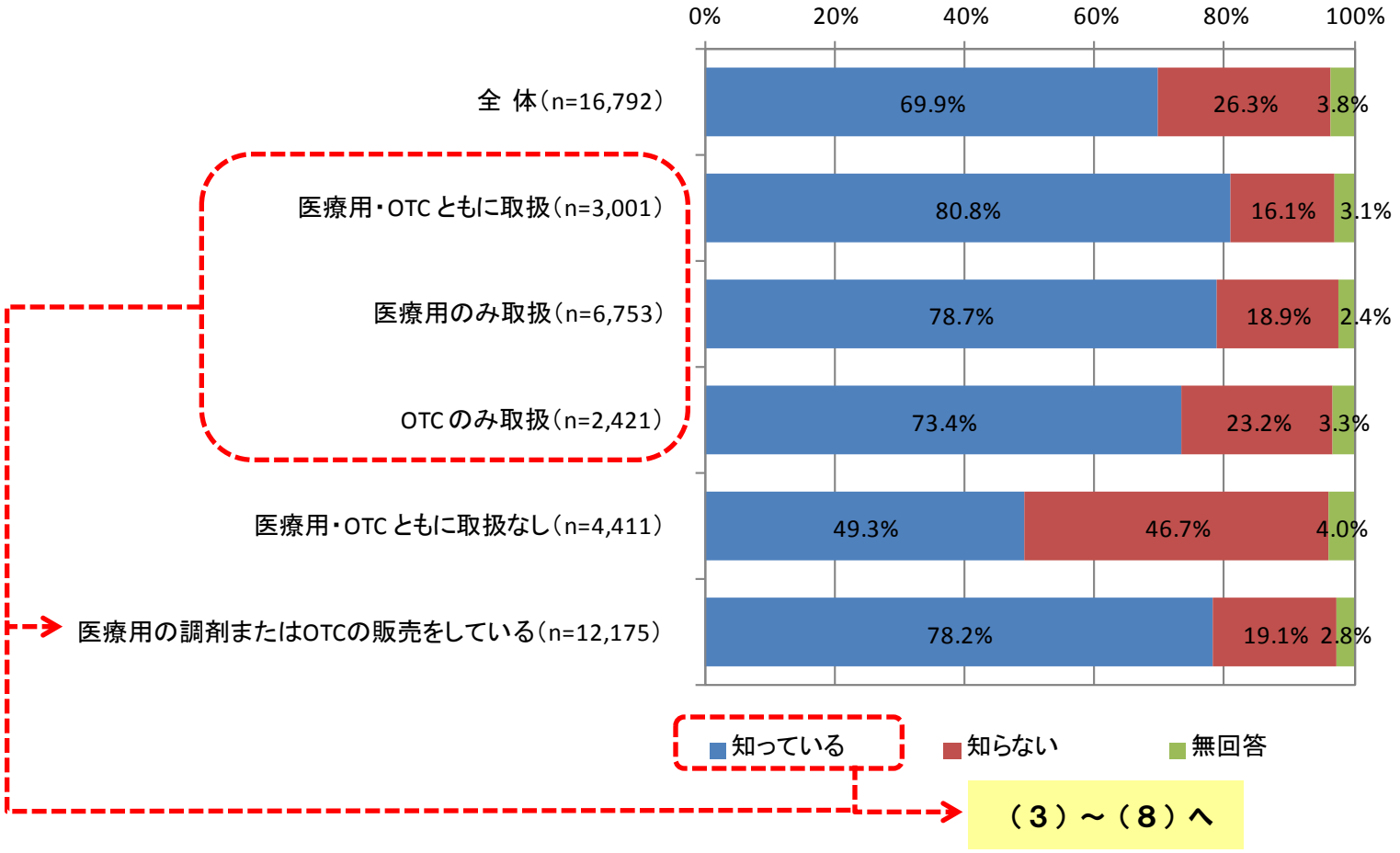
処方箋応需枚数/月 別

（単数回答）　　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設



（２）　イブプロフェンの添付文書が平成２４年４月２４日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（3/4）

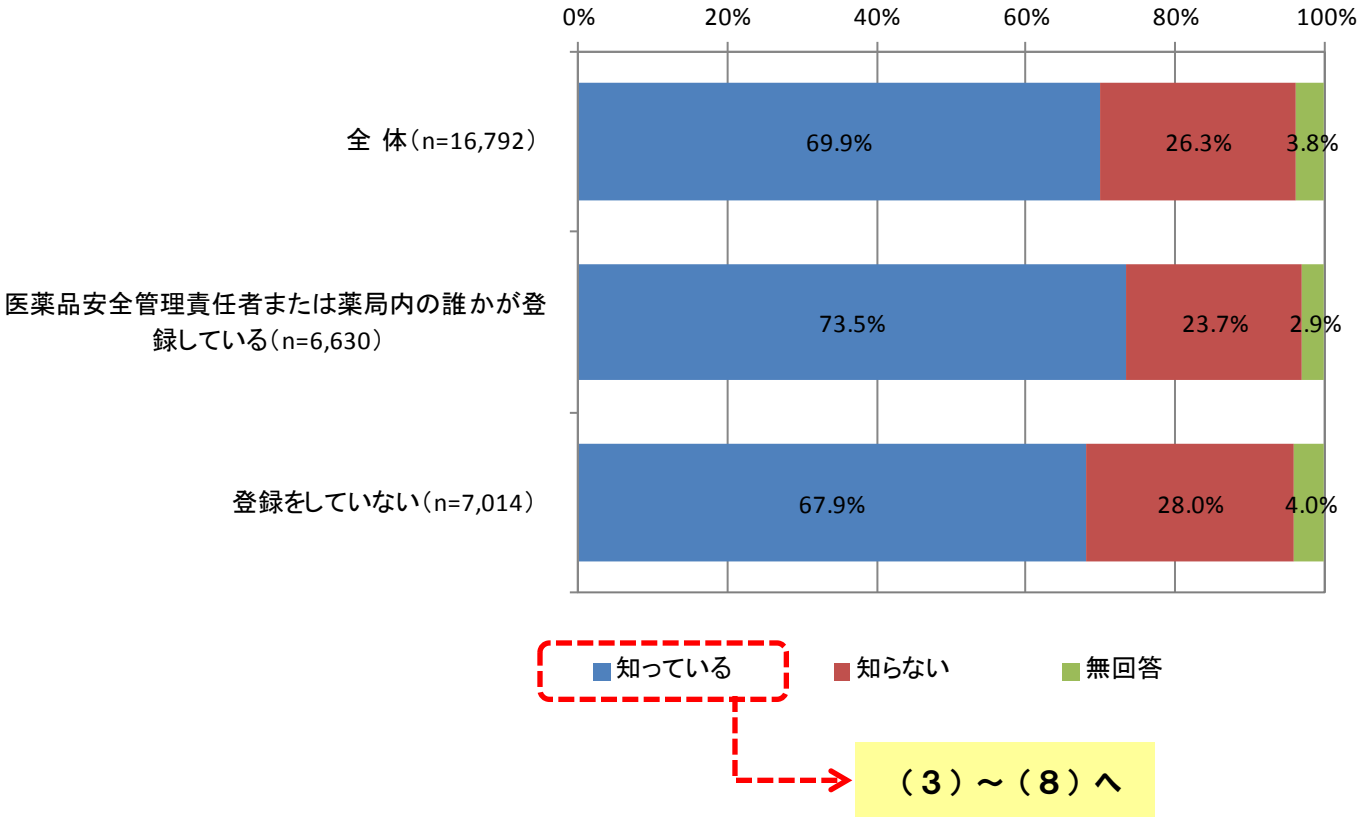
(1) 取扱状況別　（単数回答）



（２）　イブプロフェンの添付文書が平成２４年４月２４日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。（4/4）

問６・７
PMDAﾒﾃﾞｨﾅﾋﾞへの登録状況別

（単数回答）

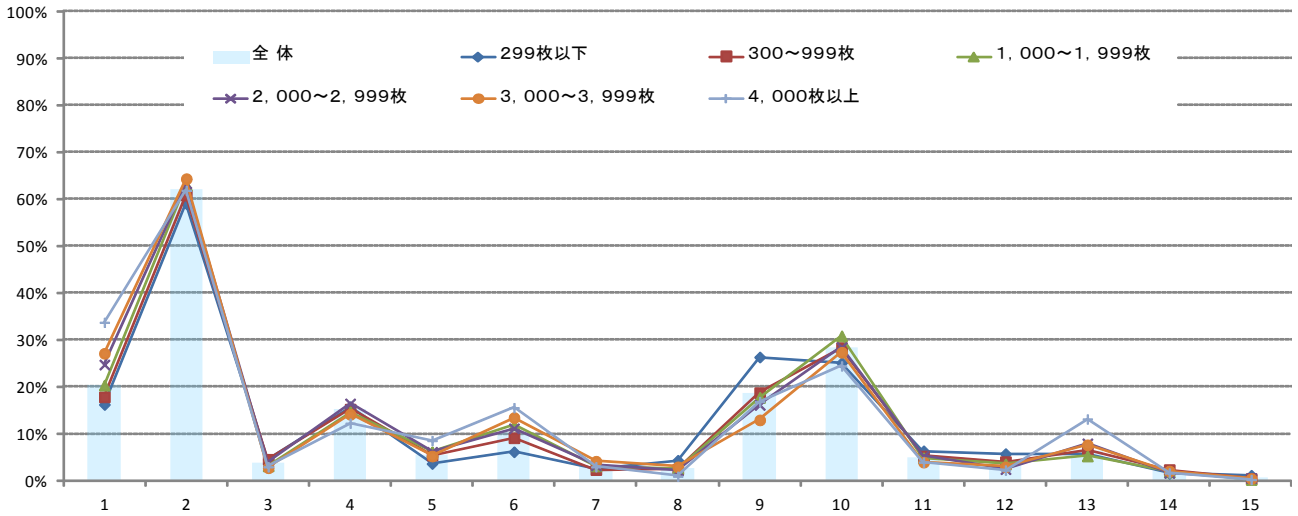


（３）　イブプロフェンの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。（1/3）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）
※３つまで

集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



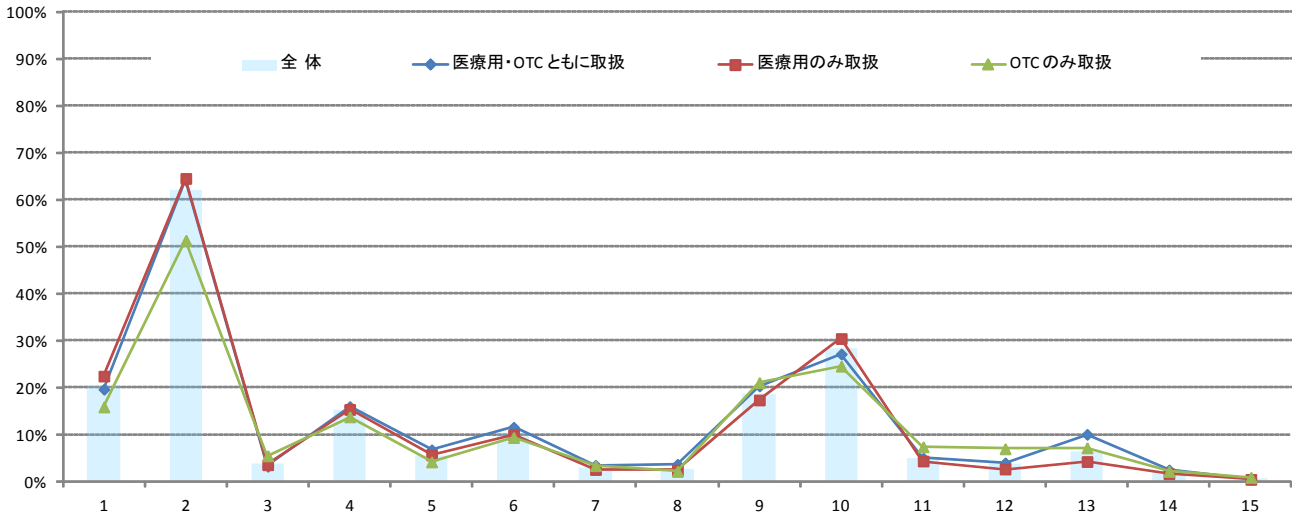
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	SUDS（Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間での情報交換	新聞・業界紙等の報道	薬局外の管理部門等からの連絡（メール等）	その他	無回答
全　体	9,517	20.5%	62.0%	3.9%	15.3%	5.7%	10.3%	3.0%	2.8%	18.8%	28.5%	5.1%	3.8%	6.3%	2.0%	0.6%
２９９枚以下	1,248	16.3%	59.1%	4.6%	15.8%	3.7%	6.2%	2.6%	4.4%	26.4%	25.2%	6.4%	5.8%	5.6%	1.6%	1.2%
３００～９９９枚	2,714	17.9%	60.9%	4.6%	15.3%	5.5%	9.2%	2.4%	2.5%	18.8%	28.4%	5.3%	4.1%	6.6%	2.4%	0.5%
１，０００～１，９９９枚	3,390	20.4%	63.0%	3.2%	14.7%	6.2%	11.9%	3.2%	2.7%	17.8%	30.9%	4.9%	3.6%	5.3%	1.9%	0.3%
２，０００～２，９９９枚	1,203	24.8%	63.4%	4.1%	16.5%	6.2%	11.2%	3.3%	2.2%	16.2%	28.5%	5.3%	2.5%	8.0%	1.7%	0.6%
３，０００～３，９９９枚	430	27.2%	64.4%	2.8%	14.2%	5.3%	13.5%	4.2%	3.0%	13.0%	27.4%	4.0%	3.0%	7.7%	2.1%	0.5%
４，０００枚以上	302	33.8%	61.9%	3.0%	12.3%	8.6%	15.6%	3.0%	1.0%	16.9%	24.5%	4.0%	2.3%	13.2%	1.7%	0.3%

（３）　イブプロフェンの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。（2/3）

(1) 取扱状況別

（複数回答）
※３つまで

集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



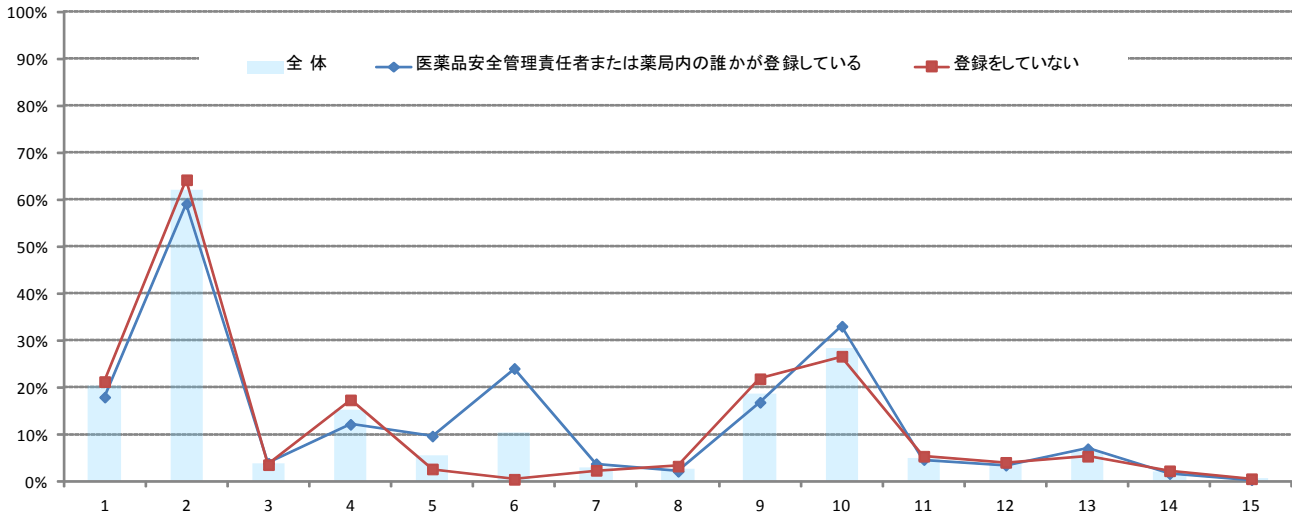
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	DSU（Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間での情報交換	新聞・業界紙等の報道	薬局外の管理部門等からの連絡（メール等）	その他	無回答
全　体	9,517	20.5%	62.0%	3.9%	15.3%	5.7%	10.3%	3.0%	2.8%	18.8%	28.5%	5.1%	3.8%	6.3%	2.0%	0.6%
医療用・OTC ともに取扱	2,425	19.7%	64.2%	3.3%	16.0%	6.8%	11.6%	3.5%	3.7%	20.4%	27.2%	5.0%	4.0%	10.1%	2.5%	0.5%
医療用のみ取扱	5,314	22.5%	64.6%	3.6%	15.4%	5.7%	10.0%	2.6%	2.5%	17.4%	30.5%	4.4%	2.7%	4.3%	1.7%	0.5%
OTC のみ取扱	1,778	15.9%	51.4%	5.5%	13.8%	4.2%	9.4%	3.4%	2.2%	21.1%	24.6%	7.4%	7.0%	7.2%	2.2%	0.9%

（３）　イブプロフェンの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。（3/3）

問６・７ PMDAﾒﾃﾞｨﾅﾋﾞへの登録状況ﾞ別

（複数回答）
※３つまで

集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設

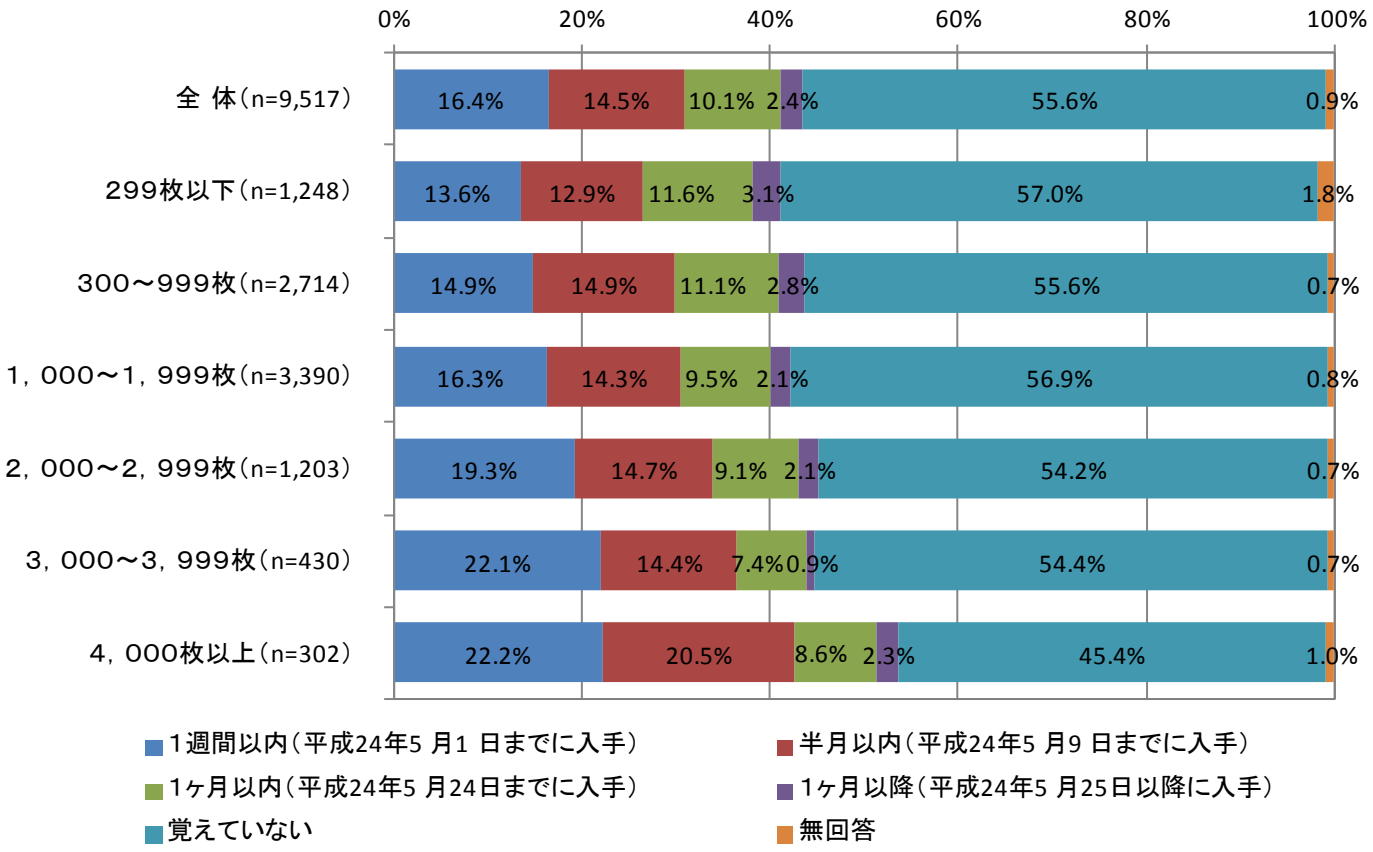


	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外のホームページ	レセコンシステム	医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）	DSU（Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間での情報交換	新聞・業界紙等の報道	薬局外の管理部門等からの連絡（メール等）	その他	無回答
全　体	9,517	20.5%	62.0%	3.9%	15.3%	5.7%	10.3%	3.0%	2.8%	18.8%	28.5%	5.1%	3.8%	6.3%	2.0%	0.6%
医薬品安全管理責任者または薬局内の誰かが登録している	3,904	18.0%	59.2%	3.9%	12.2%	9.7%	24.1%	3.8%	2.2%	16.9%	33.1%	4.7%	3.5%	7.0%	1.7%	0.4%
登録をしていない	3,875	21.3%	64.3%	3.6%	17.4%	2.7%	0.5%	2.4%	3.3%	21.9%	26.7%	5.4%	4.1%	5.4%	2.3%	0.6%

（４）　最も早かった情報の入手時期はいつですか。（1/3）

処方箋応需枚数/月 別

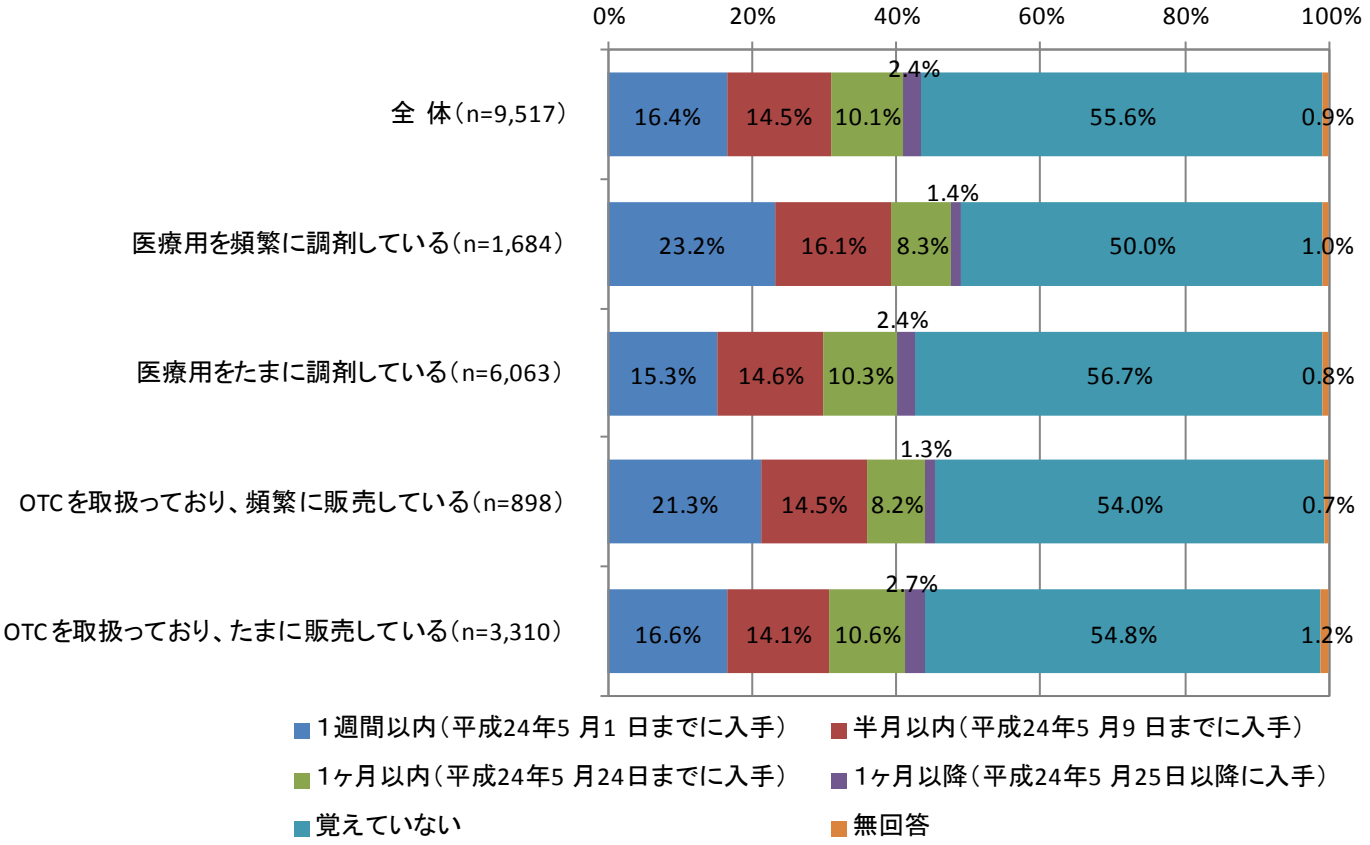
（単数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（４）　最も早かった情報の入手時期はいつですか。（2/3）

(1) 取扱状況別

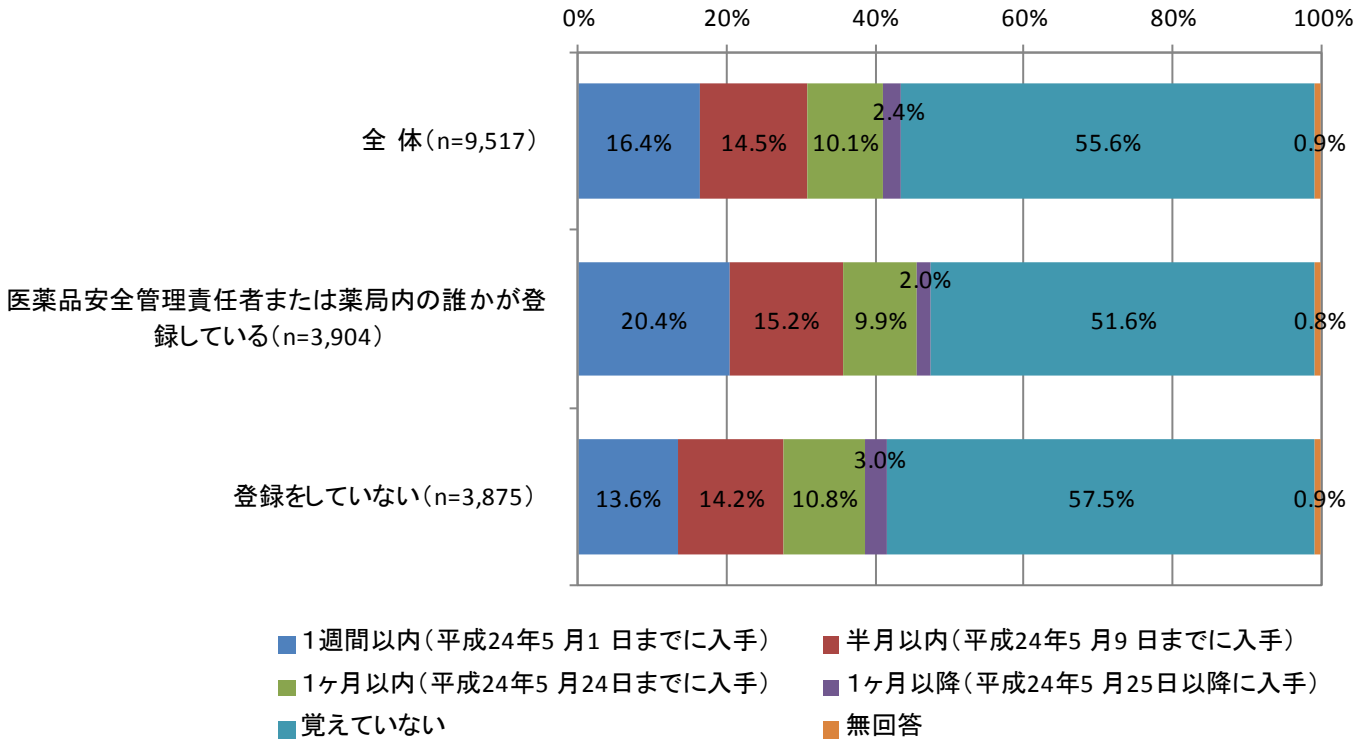
（単数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（４）　最も早かった情報の入手時期はいつですか。（3/3）

問６・７ PMDAﾒﾃﾞｨﾅﾋﾞへの登録状況別

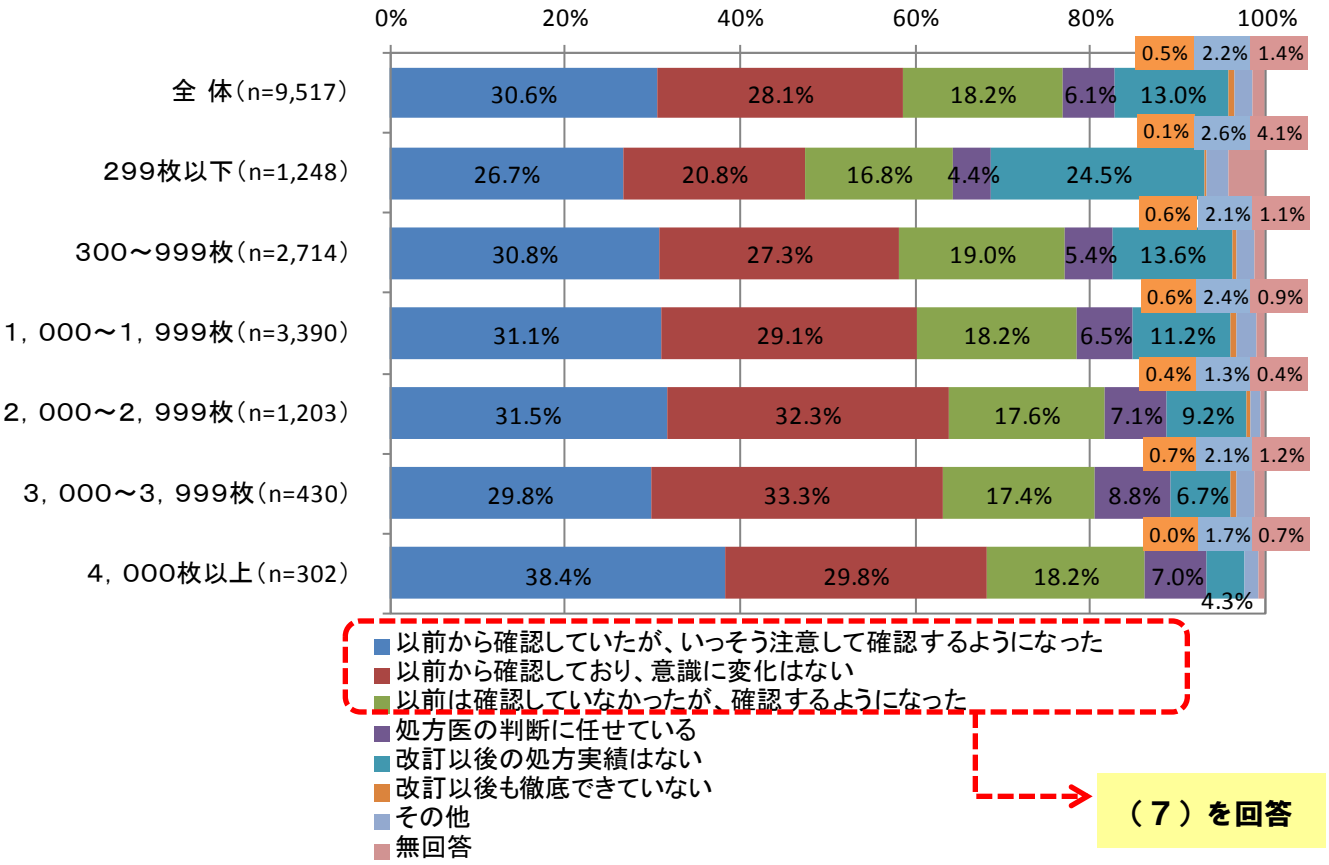
（単数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（５）　添付文書改訂以後、医療用イブプロフェンの調剤時の妊娠の有無の確認について、意識に変化はありましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

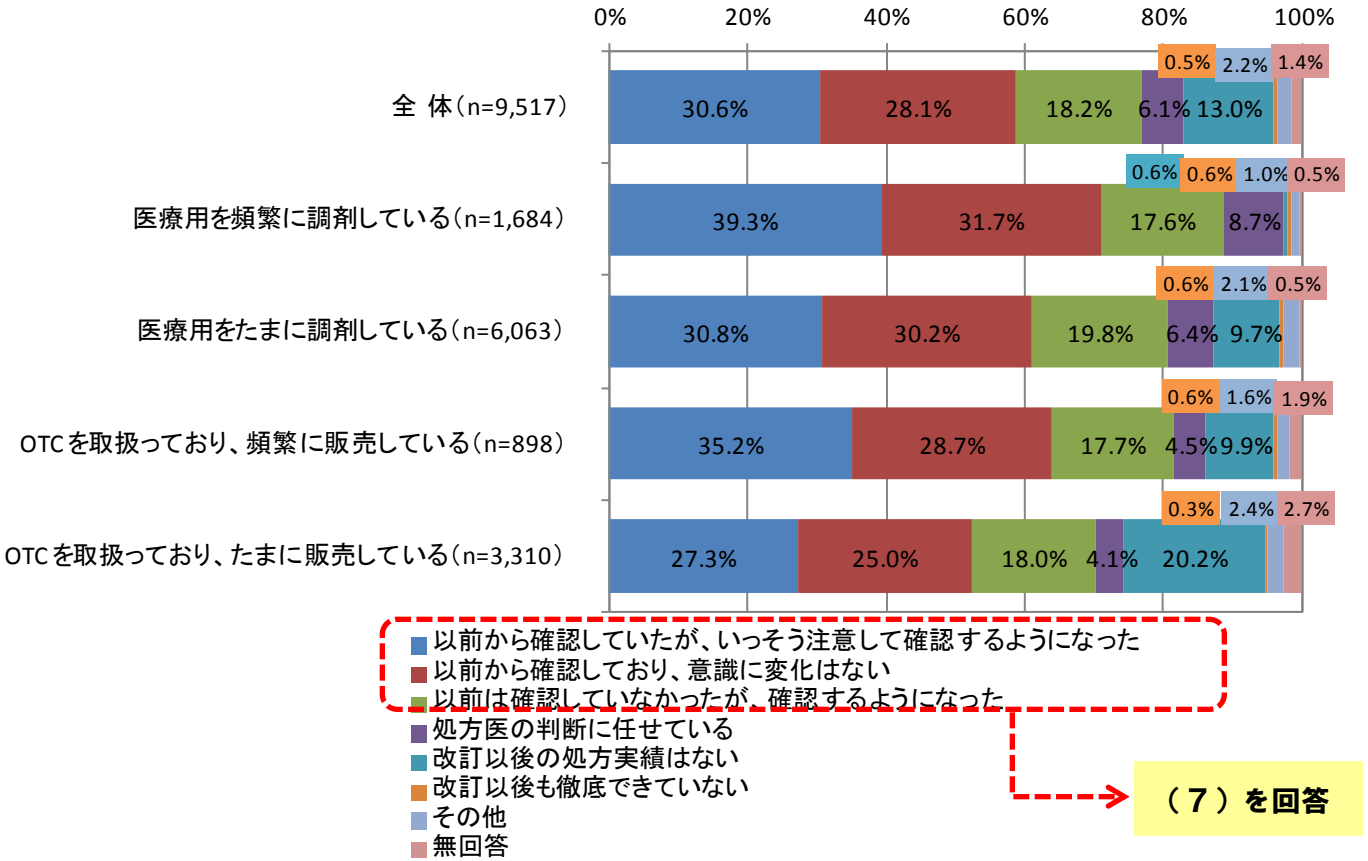
（単数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（７）を回答

（５）　添付文書改訂以後、医療用イブプロフェンの調剤時の妊娠の有無の確認について、意識に変化はありましたか。（2/2）

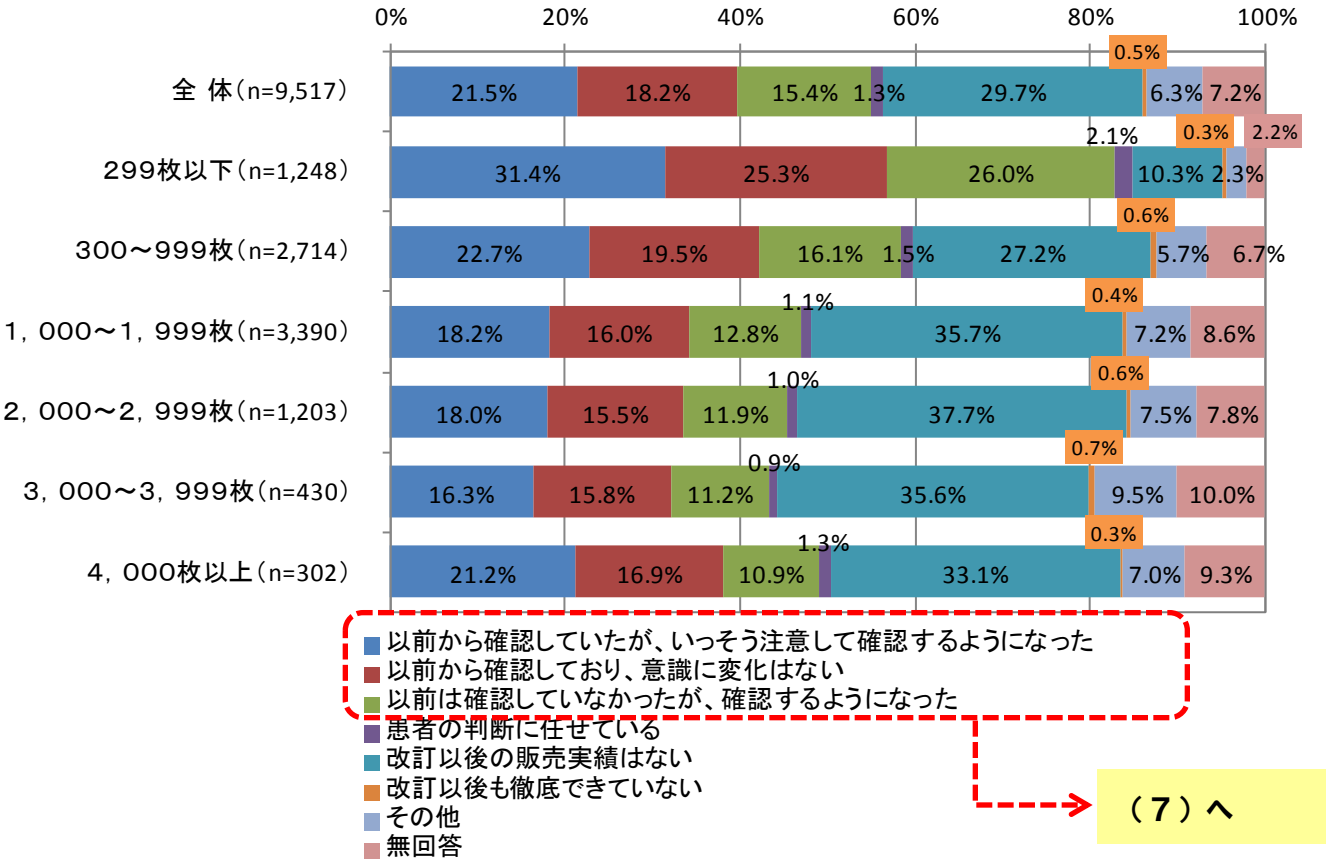
(1) 取扱状況別　**（単数回答）**　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（６）　添付文書改訂以後、イブプロフェン配合のＯＴＣの販売時の妊娠の有無の確認について、意識に変化はありましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

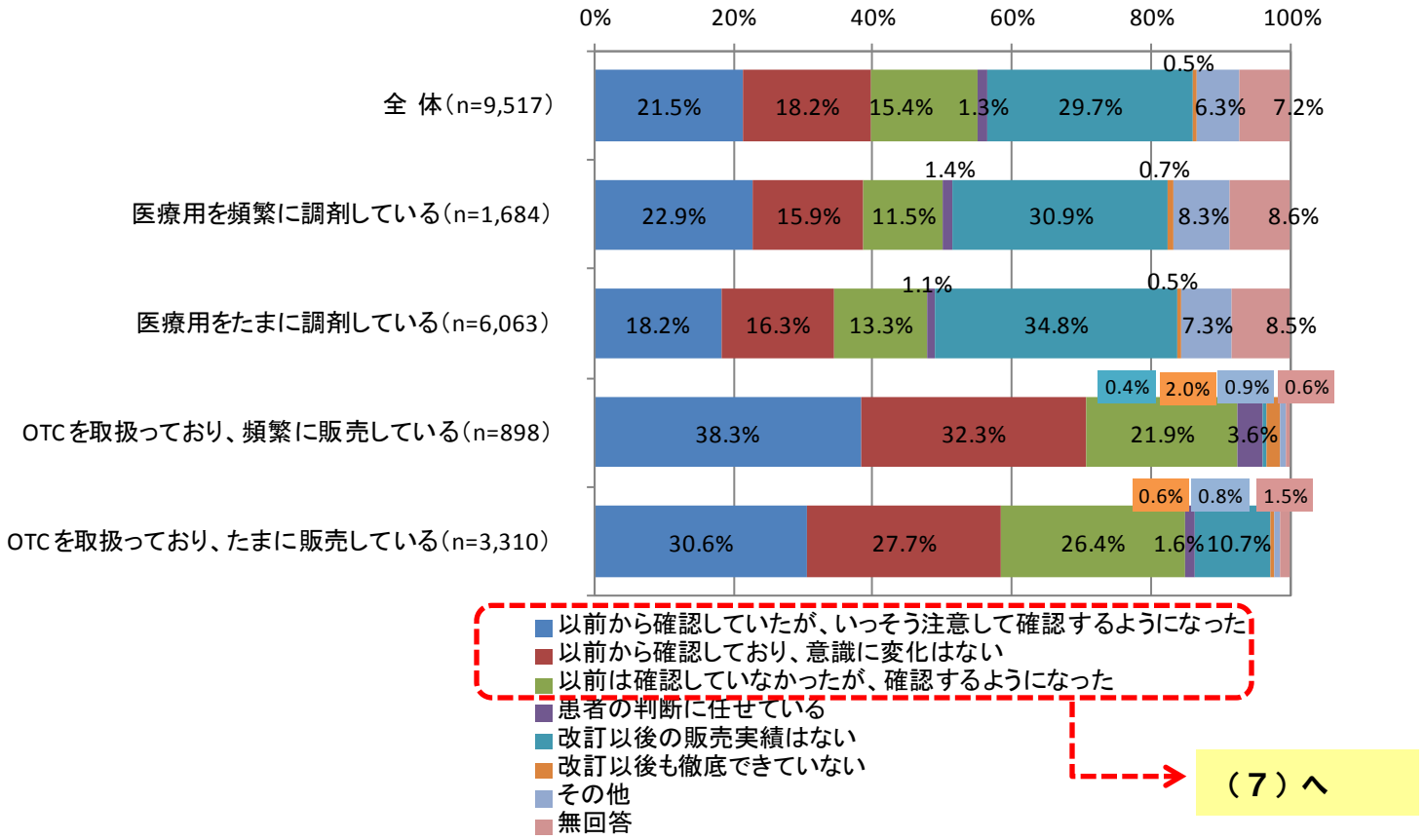
（単数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設



（７）へ

（６）　添付文書改訂以後、イブプロフェン配合のＯＴＣの販売時の妊娠の有無の確認について、意識に変化はありましたか。（2/2）

(1) 取扱状況別　**（単数回答）**　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設

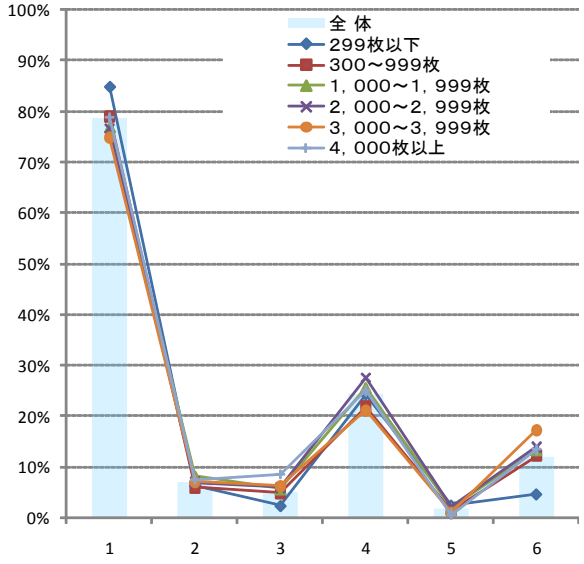


（７）へ

（７）　どのような確認方法を実施しましたか。（1/2）

処方箋応需枚数/月 別

（複数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設で、医療用イブプロフェン/イブプロフェン配合のOTCの販売時の妊娠の有無の確認について、「以前から確認していたが、いっそう注意して確認するようになった」/「以前から確認しており、意識に変化はない」/「以前は確認していなかったが、確認するようになった」施設

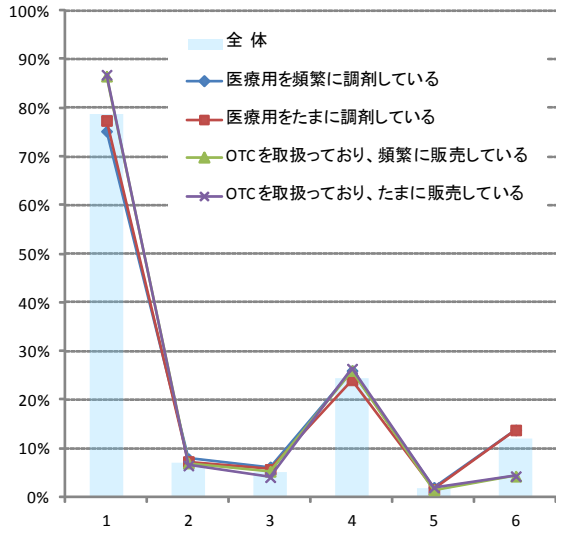


	調査数	投薬時・販売時に、妊娠の有無を直接伺う	掲示を工夫するなど、妊娠中である旨の申告を促す策を講じる	「おなかに赤ちゃんがいます」のキーホルダーの所持を確認する	患者の容姿を注意深く観察している	その他	無回答
全　体	8,183	78.7%	7.1%	5.1%	24.4%	1.8%	11.9%
２９９枚以下	1,117	84.9%	6.3%	2.4%	24.4%	2.5%	4.7%
３００～９９９枚	2,342	79.0%	6.0%	4.9%	21.9%	1.5%	12.2%
１，０００～１，９９９枚	2,857	76.8%	8.2%	5.7%	25.6%	1.9%	13.4%
２，０００～２，９９９枚	1,038	76.6%	7.0%	6.0%	27.6%	2.1%	14.0%
３，０００～３，９９９枚	365	74.8%	7.1%	6.3%	21.1%	1.1%	17.3%
４，０００枚以上	268	78.7%	7.5%	8.6%	25.0%	0.7%	13.4%

（７）　どのような確認方法を実施しましたか。（2/2）

（1）取扱状況別

（複数回答）　集計対象：イブプロフェンの調剤またはOTCの販売をしている施設のうち、平成24年4月24日のイブプロフェンの添付文書の改訂の内容を「知っている」施設で、医療用イブプロフェン/イブプロフェン配合のOTCの販売時の妊娠の有無の確認について、「以前から確認していたが、いっそう注意して確認するようになった」/「以前から確認しており、意識に変化はない」/「以前は確認していなかったが、確認するようになった」施設



	調査数	投薬時・販売時に、妊娠の有無を直接伺う	掲示を工夫するなど、妊娠中である旨の申告を促す策を講じる	「おなかに赤ちゃんがいます」のキーホルダーの所持を確認する	患者の容姿を注意深く観察している	その他	無回答
全　体	8,183	78.7%	7.1%	5.1%	24.4%	1.8%	11.9%
医療用を頻繁に調剤している	1,537	75.2%	7.9%	6.2%	26.0%	2.0%	13.8%
医療用をたまに調剤している	5,116	77.4%	7.3%	5.7%	24.1%	1.6%	13.8%
OTC を取扱っており、頻繁に販売している	868	86.5%	7.0%	5.3%	26.0%	1.5%	4.3%
OTC を取扱っており、たまに販売している	2,966	86.8%	6.5%	4.1%	26.4%	2.0%	4.3%

（８）　この事例にように患者とのコミュニケーションが重要なケースで、何か工夫されていることはありますか。

主な意見

- 対象患者に対し漏れの無いよう情報を提供し、服薬指導・相談を行っている。注意喚起の必要な事例については、指針に沿って過去に調剤し、継続服用中の患者を含め、対象薬剤を服用している全ての患者に情報提供を行い、健康被害の有無確認等を行なっている。
- 特にOTCでは、店頭のPOPに注意事項を提示し、患者自身に注意を喚起している。
- 6ヶ月来局していない患者は、問診表の書き直しを求めている。3ヶ月来局していない患者には、記載事項に変更がないか口頭で確認する。混雑時や患者が急いでいる時は、処方薬に照らし合わせ、必要事項に絞って依頼することが現実である。
- 問診表を記入しやすいように工夫している。妊娠の可能性のある患者には必ず記入してもらうようしている。また、薬歴についても使えるツールを駆使して漏れが生じないように心がけている。
- 来局の度に、少しずつ嗜好や生活習慣、体質、既往歴などを聞き出している。副作用を説明することで、患者から説明した副作用以外の気になる症状の相談が出てくることが重要である。